

豊中市 健康づくり・食育推進計画 年次報告書

令和 6 年度(2024 年度)版

豊中市
Toyonaka City

■本報告書について

本市では、平成 25 年(2013 年)に「豊中市健康づくり計画」、平成 30 年(2018 年)に「第 3 期豊中市食育推進計画」を策定し、健康づくりや食育を推進してきました。

この 2 つの計画は、ともに令和 5 年度(2023 年度)に計画期間が終了し、令和 6 年度(2023 年度)からは「豊中市健康づくり・食育推進計画」として、より効果的かつ実効性のある計画として展開しています。

すべての市民が住み慣れた地域で、生涯いきいきと心身ともに健康で豊かに暮らすことができるよう、「みんなでつくる健康、すこやかに過ごせるまち とよなか」を本計画の基本理念とし、すべての世代にわたる健康づくりと食育の取組みを進めるとともに、社会全体が相互に支えあいながら、健康づくりを実践しやすい環境づくりに努めることとしています。そして、健康づくり・食育の取組みを進めることがひいては健康寿命の延伸につながっていくという考え方から、計画全体を支える目標を「健康寿命の延伸」とし、7つの分野別(栄養・食生活、身体活動、運動、たばこ、アルコール・薬物、歯や口の健康、疾病予防・健康管理、こころの健康・つながり)別に取組みを進めています。

本計画の進捗管理として年度ごとの事業進捗状況の確認をすとしており、本書は健康づくり・食育に関する令和 6 年度(2024 年度)の取組みをまとめたものです。

目次

1. 健康づくり・食育推進計画 取組分野一覧	4
2. 数値目標一覧	5
3. 進捗状況	8
4. 分野別 主な取組みの実施状況	9
5. 各事業の進行状況(事業一覧)	11

1. 健康づくり・食育推進計画 取組分野一覧

基本理念	みんなでつくる健康、すこやかに過ごせるまち とよなか	
基本目標	健康寿命の延伸	
基本方針	(1) 誰ひとり取り残さない健康づくり (2) 生活習慣病の発症・重症化予防と健康状態の改善	
分野別 取組み	分野とめざす姿	行政等の取組みテーマ
	1. 栄養・食生活 ▶食を楽しみ、大切にし、すこやかな食生活を送る	a. 次世代の基本的な食習慣の形成 b. 心身の健康につながる食生活 c. 安全・安心な食 d. 持続可能な食
	2. 身体活動・運動 ▶いつでも・だれでも・どこでも、ライフスタイルにあった運動に取り組み、継続できる	a. 日常生活で体を動かし、習慣的に運動・スポーツをする人を増やす b. 運動やスポーツを習慣的に行う子どもを増やす c. 運動に親しむための環境づくり・歩きたくなるまちづくり
	3. たばこ ▶たばこの害について正しく知り、やめたいときに相談でき、望まない煙を吸わない・吸わせない	a. 喫煙をやめたい人がやめられる、周囲の人に吸わせない b. 特に健康への影響が高い人(20歳未満、妊産婦など)が喫煙をしない c. 受動喫煙のないまちづくり
	4. アルコール・薬物 ▶アルコールの害について正しく知り、適切な飲酒を心がける ▶くすりの使用について正しく知る	a. 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人を減らす b. 特に健康への影響が高い人(20歳未満、妊産婦など)が飲酒をしない c. 薬物乱用、くすりの不適切な使用をなくす
	5. 歯や口の健康 ▶歯や口の健康について正しく知って、セルフケア ▶歯科健診で健口(けんこう)を維持する	a. むし歯のない子どもを増やす b. 歯周病を有する人を減らす c. 口の機能を正しく獲得し保持できる人を増やす d. かかりつけ歯科医をもち、定期的な歯科健診を受ける人を増やす
	6. 疾病予防・健康管理 ▶自分で健康管理する(知る・受診する) ▶いきいきとした生活を送るための行動をとる ▶すこやかに成長する・育てる	a. けんしんを受け、自分の健康状態について把握している人を増やす b. 生活習慣病を発症しない・重症化させない c. 生活機能の維持・向上 d. 地域で適切に受診する人を増やす e. 感染症に備える f. 次世代(妊娠・出産・子ども)の健康づくり
	7. こころの健康・つながり ▶地域や様々な場所(場面)で人とつながる ▶自分に合った方法でこころの健康を保つ ▶心身の不調に気づいたら、相談する・寄り添う	a. 社会参加や居場所があることで人とつながる b. こころの不調への対応 c. 女性特有の悩みや健康課題への対応

本計画では、

7つの分野別に取り組みを進めます。ライフコースに合わせた取組みとして、世代【次世代(妊娠・出産、子ども:おおむね15歳まで)、就労世代(おおむね16～64歳)、高齢世代(65歳以上)】を大きく3つに分けてとらえ、特に、子ども・女性・高齢者については重点的に取り組みます。

2. 数値目標一覧

※幼年期:0～5 歳、少年期:6～15 歳とする。

指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和16年度)
基本目標		
健康寿命の延伸(平均寿命と健康寿命の差の縮小)	男性1.9歳 女性4.0年 (令和2年度)	縮小

1 栄養・食生活			
肥満の子どもの減少	少年期	1.6%	減少
肥満者(BMI25以上)の減少	20～60歳代男性	27.9%	25%以下
	40～60歳代女性	13.6%	12%以下
若い女性のやせ(BMI18.5未満)の減少	20～30歳代女性	16.9%	15%以下
低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の減少	65歳以上	25.5%	23%以下
朝食を食べる頻度が週に2～3回以下の人の減少	幼年期	0.5%	減少
	少年期	5.3%	減少
	16～39歳	25.5%	23%以下
塩分を控えた食事を心がけている人の増加	16～39歳	55.0%	61%以上
	40～64歳	71.3%	75%以上
主食・主菜・副菜がそろった食事を1日2回以上とっている人の増加	16～39歳	42.9%	47%以上
	40～64歳	49.5%	54%以上
	65歳以上	68.9%	増加
食育に関心を持っている人の増加	幼年期の保護者	88.7%	90%以上
	少年期の保護者	90.6%	増加
	16歳以上	71.9%	79%以上
災害時に活用できる保存食や飲料をまったく常備していない人の減少	16歳以上	14.2%	13%以下
食べ残しを減らす努力をいつもしている人の増加	16歳以上	67.3% (参考値)	74%以上

2 身体活動・運動			
定期的に運動している人の増加(1日30分以上を週2回以上、1年以上継続)	16～64歳	20.7%	23%以上
	65歳以上	23.2%	25%以上
運動やスポーツを習慣的に行っていない子どもの減少(1週間の総運動時間(体育授業を除く)が60分未満)	小学5年生男子	10.7%	減少
	小学5年生女子	15.5%	
	中学2年生男子	6.5%	
	中学2年生女子	16.0%	

3 たばこ		
20歳以上の喫煙率の減少	11.4%	8%以下
妊娠中に喫煙している人をなくす	1.1%	0%
受動喫煙の機会を有する人の減少	42.2%	38%以下

指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和16年度)
----	----------------	-----------------

4 アルコール・薬物

生活習慣病のリスクを高める量(一日当たりの純アルコール摂取量)を飲酒している人の減少	男性(40g以上)	9.1%	減少
	女性(20g以上)	9.5%	
妊娠中に飲酒している人をなくす		0.5%	0%

5 歯や口の健康

むし歯のない子どもの増加	3歳児	91.0%	増加
	12歳児	88.9%	90%以上
40歳以上で歯周病の症状を有する人の減少		35.6%	32%以下
50歳以上における咀嚼良好者の増加		70.6%	78%以上
歯間ブラシ・デンタルフロスを使用している人の増加	16～64歳	72.9%	80%以上
	65歳以上	64.1%	71%以上
かかりつけ歯科医をもっている人の増加	幼年期	54.0%	59%以上
	少年期	76.8%	84%以上
	16～64歳	47.7%	52%以上
	65歳以上	65.4%	72%以上
定期的な歯科健診を受けている人の増加	幼年期	59.8%	66%以上
	16～64歳	58.3%	64%以上
	65歳以上	62.7%	69%以上

6 疾病予防・健康管理

内科健診・人間ドック受診率の増加			60.7%	65%以上
がん検診受診率の増加	胃がん	40～69歳	42.8%	45%以上
	肺がん	40～69歳	36.2%	40%以上
	大腸がん	40～69歳	42.6%	45%以上
	子宮がん	20～69歳 女性	40.4%	45%以上
	乳がん	40～69歳 女性	48.4%	50%以上
骨粗しょう症検査受診率の増加			17.7%	増加
フレイルの認知度の増加			24.8% (令和3年度参考値)	35%以上
かかりつけ医を持っている人の増加	幼年期		90.3%	95%以上
	少年期		76.8%	84%以上
	16～64歳		39.5%	43%以上
	65歳以上		87.3%	96%以上
かかりつけ薬局を持っている人の増加	幼年期		40.2%	44%以上
	少年期		23.7%	26%以上
	16～64歳		18.3%	20%以上
	65歳以上		47.5%	52%以上
妊娠11週以下での妊娠届出率の増加			97.6%	100%

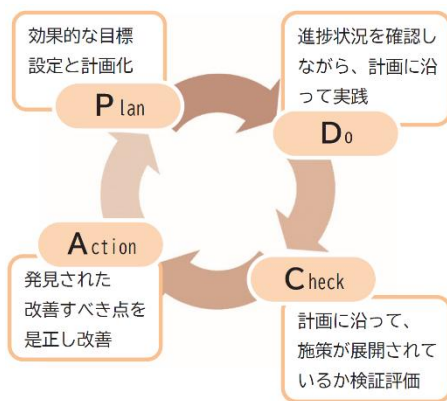
指標		現状値 (令和4年度)	目標値 (令和16年度)
乳幼児健康診査受診率の増加	4か月	97.0%	増加
	1歳6か月	98.1%	
	3歳6か月	95.1%	
妊娠・出産に満足している人の増加		80.2%	増加

7 こころの健康・つながり			
就業や地域活動など、何らかの社会活動をしている高齢者の増加	65歳以上男性	42.7%	47%以上
	65歳以上女性	38.8%	43%以上
過去1か月にストレスにより心身の不調があった人の減少		11.0%	減少
睡眠が十分とれていると感じる人の増加	20～59歳	71.2%	75%以上
	60歳以上	81.3%	89%以上
悩みやストレスについて、相談先がある人の増加		87.4%	増加
産後1か月時点での産後うつハイリスク者(EPDS 9点以上)の減少		8.5%	減少

3. 進捗状況

計画の推進にあたり、Plan（計画）・Do（実施）・Check（評価・検証）・Action（改善）の一連の流れによるPDCAサイクルによる進行管理を実施しています。

事業評価進捗状況については、各所管で事業評価指標と目標値を定め、実績や取組内容から評価をしています。評価はA、A'、B、Cの4段階です。

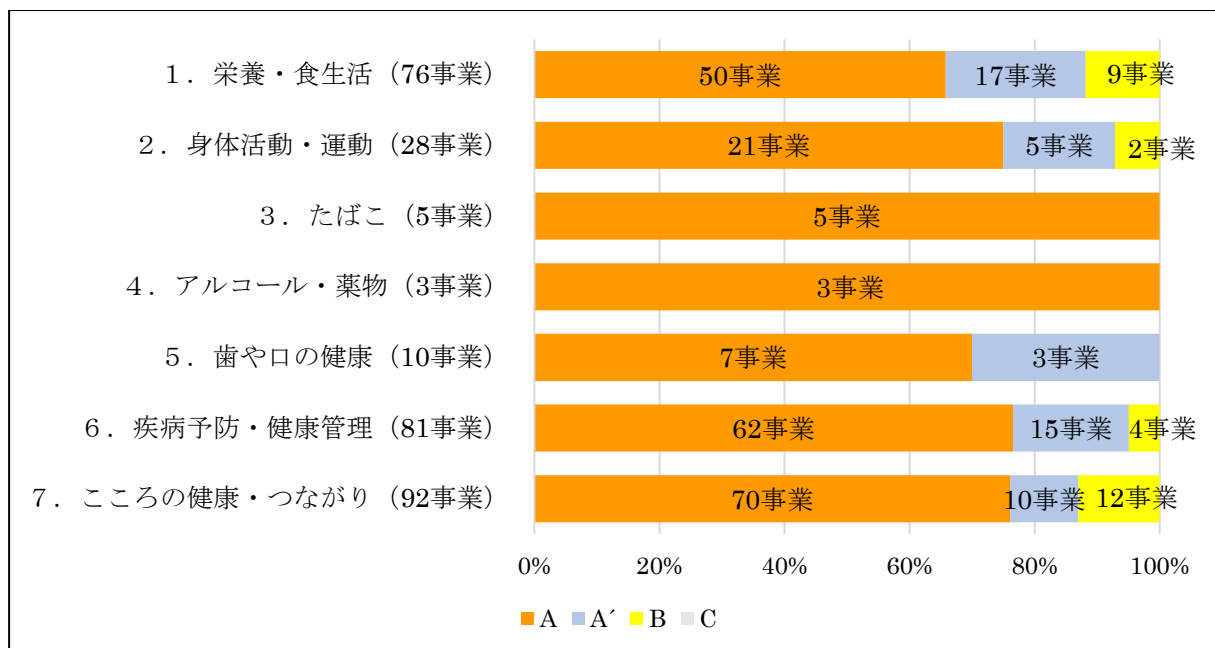


評価	
A	「めざす姿」や「取組テーマ」に沿って事業目標を達成できた。
A'	事業目標を達成できなかったが、改善に向けて対策をとっている、または改善傾向にあるもの。
B	事業目標を達成できず、改善に向けた対策を検討予定。
C	「めざす姿」や「取組テーマ」に沿って事業を進められなかった。

◆事業評価結果（全 295 事業）

A : 74% (218 事業)	A' : 17% (50 事業)	B : 9% (27 事業)	C : 0% (0 事業)
----------------------------	----------------------------	--------------------------	-------------------------

◆分野別内訳



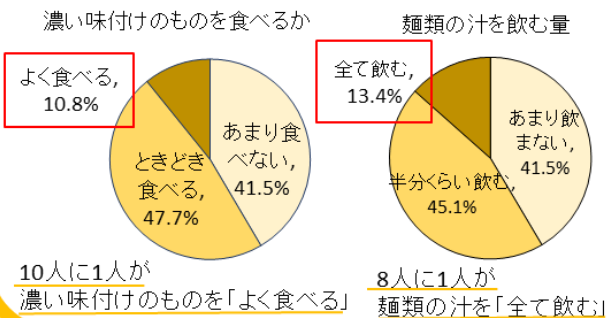
☞ C 評価の事業はなく、各事業計画の趣旨にそった形で実施できた。

4. 分野別 主な取組みの実施状況

健康を支える食育推進事業 塩分と健康に関するアンケート (健康推進課)

市民の皆様がどんなものから塩分をとっておられるのかを把握することと、アンケート回答を通じて減塩意識を高めていただくことを目的とした電子アンケートを実施しました。

(令和7年2月3日～2月28日実施。総回答数5,750件)



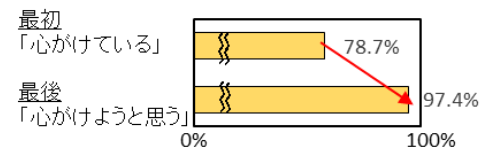
【取組分野】
栄養・食生活

拡充

【指標項目】

▶ 塩分を控えた食事を心がけている人の増加

アンケートの最初と最後での「塩分を控えた食事についての心がけ」の変化



アンケートの最後に「今後塩分を控えた食事を心がけようと思う(いつも+時々)」と答えた人は、9割以上になりました。

スポーツの日(体育の日)の事業 (スポーツ振興課)

スポーツの日に豊島体育館にて新体力テストを実施しました。老若男女140名の参加があり、多くの方がご自身の記録をみて喜んだり、悔しがったりしていました。スポーツの日の事業を通じて、運動を習慣的に行う市民が増えることを期待します。

【取組分野】
身体活動・運動

継続

【指標項目】

▶ 定期的に運動している人の増加
▶ 運動やスポーツを習慣的にやっていない子どもの減少



被保護者健康管理支援事業 (福祉事務所)

【取組分野】
疾病予防・健康管理

拡充

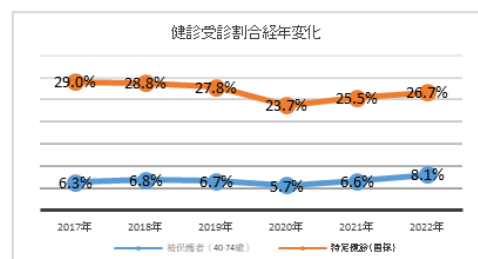
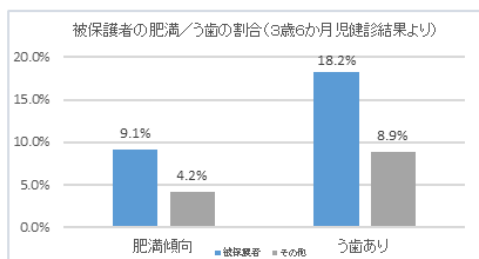
「(第3期)豊中市医療扶助の適正な実施に関する方針」に基づき、生活保護制度を利用している市民の各ライフコースに合わせた健康管理事業を展開しています。

令和6年度から特に生活習慣を獲得する世代であるこども世代からの保健指導を充実させています。成人期においてはけんしんの受診勧奨や健診受診後の保健指導を行っています。

また75歳以上の高齢者に対しては対象者全数にフレイルチェックを実施する等、「誰ひとり取り残さない健康づくり」をめざし生活保護制度利用者の健康の保持増進に向けて取り組んでいます。

【指標項目】

- ▶肥満のこどもの減少
- ▶虫歯のないこどもの増加
- ▶内科健診・人間ドック受診率の増加
- ▶がん検診受診率の増加
- ▶フレイル認知度の増加



(第3期)豊中市医療扶助の適正な実施に関する方針
<https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kenko/seiho/ryouuhijyotekisei.html>

とよなかこサポプロジェクト

(医療支援課)

様々な課題を抱える市民に気づき、適切に関わり、専門性の有無にかかわらず、それぞれの立場でできることから進んで行動を起こしていくことができるよう、「とよなかこサポプロジェクト」を立ち上げ、とよなかここのサポーターを養成しています。

研修実施の様子

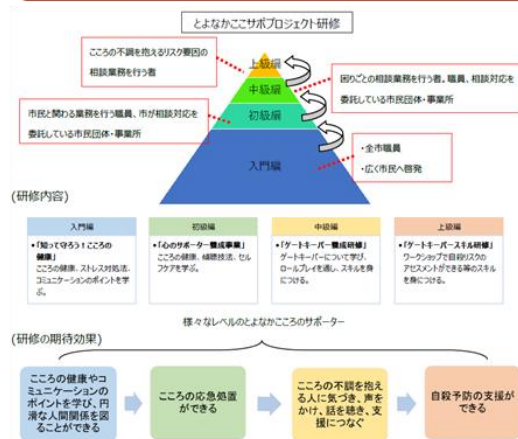


【取組分野】
こころの健康・つながり

継続

【指標項目】

- ▶「悩みやストレスについて、相談先がある人」の増加



5. 各事業の進行状況(事業一覧)

※所管名は令和6年度当時の名称

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ も も	女 性	
1	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	「食事バラン スガイド」の 啓発	おやこ保健 課	食育講座などにより食事バ ランスガイドの啓発を行っ ています。	—	—	全実施回数 85 回、全参加者数 703 人 (オンライン開催含む)	No2、3、4 の事業で、栄養士によ る正しい知識について普及啓発 を行いました。	A	No2、3、4 の事業で啓発に取り 組んでいる内容のため、本取 組みを独立させての記載を終 了します。	完了 ・ 廃止	●	●		●		
2	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	マタニティ・ クッキング	おやこ保健 課	妊娠中の食事と離乳食につ いて、簡単な調理実習を実 施しています。	参加者数	—	来所型の講座を再開し、オンラ インと併用。 実施回数 6 回 参加者数 41 人 (オンライン開催含む)	栄養士による妊娠期の食事と離 乳食についての講話と調理体験 の実施により正しい知識の習得、 個別相談を行いました。	A	調理実習を再開して通年実施 したのは R6 年度からのため、 R7 年度も実施します。R7 度か ら中部の新調理実習室が使用 できるようになりました。	継続	●			●	●	
3	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	離乳食講習会	おやこ保健 課	離乳食に関する知識・情報 を提供します。	参加者数	—	ごっくんクラス ・実施回数 30 回 参加者数 375 人 かみかみクラス ・実施回数 30 回 参加者数 196 人 (オンライン開催含む)	栄養士による離乳食についての 講話と体験の実施により正しい 知識の習得、個別相談を行いま した。	A	ネット等の情報が錯綜し混乱 している方が多い。正しい知 識を知るためにも相談場所と しての確保のためにも継続し て実施します。	継続	●			●		
4	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	幼児食講座	おやこ保健 課	幼児食に関する知識・情報 を提供しています。	参加者数	—	来所型の講座を再開し、オンラ インと併用。 実施回数 19 回 参加者数 91 人 (オンライン開催含む)	栄養士による幼児食についての 講話と体験の実施により正しい 知識の習得、個別相談を行いま した。	A	ネット等の情報が錯綜し混乱 している方が多い。正しい知 識を知るためにも相談場所と しての確保のためにも継続し て実施します。	継続	●			●		
5	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	給食（児童発 達支援センタ ー）	おやこ保健 課	通所事業を利用する児童が おいしく安全に、楽しく食 事をすることで心身両面の 発育を促します。子どもの 摂食機能にあった給食を提 供します。個々に適した食 形態への加工方法、食事介 助について、保護者に体験 していただいています。	—	—	毎日実施	給食を実施	A	引き続き安定した給食事業を 実施していきます。	継続	●			●		7-a
6	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	給食だよりの 配布（児童発 達支援センタ ー）	おやこ保健 課	給食予定献立、食育に関す る情報を掲載した給食だよ りを配布しています。	—	—	月 1 回配布	給食だよりを配布	A	引き続き事業を実施していき ます。	継続	●			●		
7	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	レシピの発行 （児童発達支 援センター）	おやこ保健 課	給食の中から、家庭で作り やすいようにアレンジした レシピを発行しています。	—	—	随時実施	レシピを発行	A	引き続き事業を実施していき ます。	継続	●			●		

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ ども	女 性	
8	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	摂食指導、栄 養指導（児童 発達支援セン ター）	おやこ保健 課	①個々の摂食機能、食事の 好みに合わせた食べ方、食 べさせ方について、保護者 に指導しています。 ②食に関する保護者からの 相談に対応しています。 ③保護者向けの食に関する 講座を開催しています。	—	—	随時実施	摂食・栄養に関する指導や講座を 実施	A	引き続き事業を実施してい きます。	継続	●			●		
9	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	菜園活動、調 理体験（児童 発達支援セン ター）	おやこ保健 課	①所内にある畑で野菜等を 栽培、収穫しています。 ②所内でとれた作物や、給 食の材料等を使って調理体 験をしています。	—	—	随時実施	菜園活動・調理体験を実施	A	引き続き事業を実施してい きます。	継続	●			●		7-a
10	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	はぐくみ教室	市立豊中病 院栄養管理 部	産科主体の「はぐくみ教室」 の中で、「妊娠前からはじ める妊産婦のための食生活 指針」に基づき妊娠中の栄 養・食事について指導を実 施しています。	—	—	—	「妊娠中の栄養・食事」につい ての情報提供を WEB 媒体で実施し ました。	A	引き続き WEB 媒体での情報提 供を実施していきます。	継続	●			●	●	
11	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	子育てに関す る講座等の開 催	こども事業 課	地域子育て支援センターで は親子・同年齢の子とも 一緒におやつを作り、作る 楽しさを実感し、家庭でも 親子のふれあう機会として 知らせる「おやつ講座」を 行っています。	実施回数	16 回	16 回	手作りおやつ講座を実施し、地域 の親子におやつを手作りして食 べることの楽しさや、食育の大切 さを感じてもらえるようにしま した。 園の技能職員が専門知識をもと に、参加者からの相談を受ける機 会にもなりました。	A	今後も継続していきます。	継続	●			●		
12	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	研修・会議関 係事業	こども事業 課	豊中市の教育・保育の内容 充実・向上のために研修会 を行います。研修では、食 育・運動等をテーマとした ものも開催します。	実施回数	2 回	2 回	運動遊び、子どもの発達や食育を テーマにした就学前施設職員向 けの研修を実施しました。	A	今後も継続していきます。	継続	●			●		
13	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	食育目標の作 成	こども事業 課	「豊中市立幼保連携型認定 こども園全体計画」の「食 育計画」に基づき、各公立 こども園の食育目標を作成 し、食育を進めます。	実施施設数	24 施設	24 施設	各園の実態に即した目標を立て、 年間を通じて食育に取り組みま した。	A	今後も継続していきます。	継続	●	●		●		

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ ども	女 性	
14	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	赤ちゃんサー クル「びよび よ」での離乳 食講座	公立こども 園	こども園給食をもとに、各 園の技能職員が離乳食の講 習を行っています。	実施回数	16 回	16 回	園の給食をもとに、保護者の離乳 食を進めるにあたっての悩みな どと一緒に考える機会となりま した。	A	今後も継続していきます。	継続	●			●		
15	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	給食（公立こ ども園）	公立こども 園	①おいしく、安全に、楽し く食事することで、心身 両面の発育を促していま す。 ②主食・主菜・副菜の揃っ た食事を提供しています。 ③季節の行事食を提供して います。	—	—	毎日実施	安全でバランスのとれた給食を 提供し、様々な食材を食べる機会 を提供しました。七夕、冬至、七 草がゆ、鏡開き、節分、ひな祭り の行事食を提供しました。	A	今後も継続していきます。	継続	●			●		
16	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	食に関する情 報発信「給食 の献立表」「給 食メニューの レシピ」「食育 だより」等の 配布、給食の 展示	公立こども 園 こども事業 課	①給食の予定献立表やレシ ピ、食べ物に関する情報な ど保護者に配付していま す。 ②当日の給食を展示し、お 迎え時に保護者が見られる ようにしています。	—	—	随時配布	給食予定献立表の中に各園での 食に関する情報（食材紹介や季節 の行事など）を記載し、当日の給 食を展示しました。給食で人気の あるレシピを自由に持ち帰れる ようにしました。	A	今後も継続していきます。	継続	●			●		
17	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	給食・弁当時 の指導	公立こども 園	①食前食後のあいさつを通 して食事への感謝や食べ物 を大事にすることを指導し ています。 ②正しい箸の持ち方等、食 事マナーを指導していま す。 ③給食の準備や片付けを通 して、自立に向けた支援を しています。 ④嫌いなものでも一口食べ てみることを促し、食べら れたという体験をすること 等により、偏食改善に繋が ています。 ⑤献立に使われた食材につ いて話題にしています。	—	—	毎日実施	食事前後のあいさつを通し、食べ 物への感謝、食べ物を作ってくれ る人への感謝、食べられることへ の感謝を指導しました。給食の食 材について話題にすること、配膳 に関わることで食への興味を引 き出すようにしました。 また、箸の使い方や食前の手洗 い、食後の歯磨きなど食に係わる 場面での生活指導を実施しまし た。	A	今後も継続していきます。	継続	●			●		

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価						対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ろ も		女 性
18	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	保育、教育の 中での食育	公立こども 園	①食に関する絵本や教材により、食品や栄養素などについて学んでいます。 ②クッキングや給食材料の下処理（玉ねぎの皮むき、さやえんどうのさやむき）などで実際に食品に触れ、調理する体験をします。	—	—	随時実施	食に関する絵本や3つの食品群のポスターなどにより栄養素について知る機会を設けました。 給食に使用する野菜の皮むき・すじ取り・ごますり・和え物を仕上げる・おにぎりをにぎる・おやつ作りなどを経験したり、食材を見る・触る（特に季節の野菜）、厨房の見学等を楽しむことで、食への興味を持てるようにしました。	A	今後も継続していきます。	継続	●			●		
19	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	保育、教育の 中で行う菜園 活動	公立こども 園	教育・保育の一環として菜園活動を行っています。野菜くず・落ち葉を活用した堆肥を使用し、ごみの減量、食の循環に取り組んでいる園もあります。	—	—	随時実施	季節の野菜や果物、稲の栽培を年間計画して取り組みました。落ち葉や給食の残さいを畑の肥料として利用し、収穫したものを給食の食材やクッキングに使用しました。	A	今後も継続していきます。	継続	●			●		1-d
20	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	学校における 「食に関する 指導の全体計 画」に基づく 食育の推進	学校給食課	各校の定める「食に関する指導の全体計画」に基づき、各教科や給食の時間における食に関する指導など学校教育全体を通して、食育の充実を推進します。	—	—	食育推進を進めるにあたり、各校の食に関する指導に係る全体計画作成の参考としてもらえるよう、「豊中市の小・中・義務教育学校における食育の基本的な考え方」を策定。 令和 6 年度より各校の全体計画を提出してもらうこととしました。 また、大阪府教育庁等から周知される食育に関する内容について各校へ周知を行いました。	③と同様	A	「食に関する指導の全体計画」については、自校の実状を踏まえて定期的に見直し、作成してもらえるよう、新たに年度当初に提出を依頼します。また、具体的な計画を作成するための情報提供や支援を行います。 食育に関する内容については引き続き周知を行います。	継続	●			●		1-b 1-c 1-d
21	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	小学校・中 学校給食運営	学校給食課	市内の小学校・義務教育学校・中学校に学校給食を提供します。	—	—	市内の小学校・義務教育学校・中学校に学校給食を提供しました。	③と同様	A	給食食材費高騰の影響があるが、引き続き公費も活用しながら学校給食の質と量を保ち、栄養バランスの取れた給食の提供を目指します。	継続	●			●		1-b 1-c 1-d
22	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	学校給食週間	学校給食課	「全国学校給食週間」と定められた 1 月 24 日～30 日に、各地の郷土料理や世界の料理などを取り入れた特別の献立を出すことにより、改めて食に感謝する気持ちや食の大切さを考える取組みを行っています。	—	—	小学校・義務教育学校（前期課程）→1 月 21 日～24 日の 4 日間 中学校・義務教育学校（後期課程）→1 月 24 日、1 月 27～29 日の 4 日間で特別メニューを提供。	「全国学校給食週間」にちなみ、豊中市立学校 55 校にて、特別メニューを提供しました。大阪・関西万博開催にちなみ、大阪の郷土料理や世界の国の料理としてカナダ・スウェーデン料理を提供しました。	A	R6 年度は学校給食週間メニューの提供日が小学校と中学校でずれが生じたため、R7 年度は全国学校給食週間の中で、小学校・中学校で実施日を出るだけ合わせて提供します。	継続	●			●		1-d

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組む 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ ども	女 性	
23	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	給食の献立表 等の配信・発 行	学校給食課	市ホームページへ献立表や 食育だより、食育イベント 等の報告、お弁当づくり冊 子等を掲載しています。ま た、学校給食課公式イン スタグラムにおいて、小・中 学校の日々の献立や調理の 様子だけでなく、毎月食育の日（毎月 19 日）にちなんだ食育の情 報提供を開始、栄養教諭等による食育活動の発信や、走井学校 給食センター職員「キュウシ ョクレンジャー」による給食にま つわる投稿を実施しました。	—	—	③と同様	A ⁺	ホームページをより見やす くするため内容を精査し、学校 給食課公式インスタグラム等 の SNS を活用した学校給食の 情報発信を進めます。	継続	●	●		●			1-b 1-c 1-d
24	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	教室向け給食 だより等の発 行	学校給食課	毎月、教室向けに給食だ より「もぐもぐ」（小学校・義 務教育学校（前期課程））、 食育メモ（小学校・義務教 育学校（前期課程））、食育 だより（中学校・義務教育 学校（後期課程））、献立カ レンダー（栄養・食品に関 する説明入り）を作成し、 食育動画を配信していま す。	—	—	③と同様	A ⁺	今年度も引き続き実施しま す。	継続	●			●			1-b 1-c 1-d
25	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	1 年生給食開 始事前指導	学校給食課	新 1 年生の給食開始に伴 い、栄養士・調理員及び学 校給食従事員が、児童の給 食への関心を高めるために 学校を訪問し、配膳作業の 補助を行っています。	回数	—	給食従事員が担任の指示により、 補助業務を行っています。	B	補助に入れる人員の確保が難 しいです。新任の担任（学校 給食の対応が初めて）など、 補助がどうしても必要なクラ スにのみと縮小を検討してい ます。	縮小	●			●			
26	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	学校給食セン ター職員によ る学校訪問	学校給食課	学校給食センター職員が市 内の公立小学校・義務教育 学校（前期課程）を訪問し、 児童を対象に給食の話をす ることで、交流を図ってい ます。	回数	—	③と同様	A ⁺	希望する学校にのみ訪問して きたが、今後は訪問する学 校を絞り、事業効果（残菜率 の減少）などが見える形で検 証できるように進めていき たいです。	縮小	●			●			
27	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	児童の社会見 学の受け入れ	学校給食課	学校調理員、栄養教諭等 との交流を深め、給食がで きるまでを見学することで 関心を高めています。	回数	—	調理員が調理の説明をし、体験 コーナーでは釜や手洗いの体 験。栄養教諭等はプロジェク ターを使い学校給食の説明 を行っています。	A ⁺	次年度も継続して受け入れ たいです。	継続	●			●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世 代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い も	女 性	
28	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	給食センター 食育イベント	学校給食課	少年期の子どもと保護者に 給食センターでレッツクッ キング、センター探検ツア ーを行い、給食の大切さや 理解を深めています。	人数	—	・レッツクッキング 3日間開催：29組・65名参加 ・レッツ探検 3日間で6回開催：143組・349 名参加	学校給食の実施がない夏季休業 期間中に実施しました。 ・レッツクッキング 調理員と児童・保護者が一緒に給 食メニューを作りました。 ・レッツ探検 普段入ることができない調理場 に入って、機械を間近に見、道具 に実際に触れる体験	A	次年度、走井学校給食センタ ーは施設工事(LEDに交換)の ため開催中止します。 原田南学校給食センターでの みレッツ探検を開催します。	縮小	●			●		
29	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	給食の試食会 の実施	学校給食課 各小学校P T A	保護者等による給食の試食 と、栄養教諭等による講話 を実施しています。	回数	—	各小学校でPTA主催の試食会を 21校行いました。 中学校では10校(12回)実施 しました。	学校で、保護者に学校給食を喫食 してもらい、豊中市の学校給食に ついての説明を行うことで、給食 への理解を深めました。	A	次年度も継続して対応してい きたいです。	継続	●	●		●		
30	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	給食センター の見学の受入 れ(市民向け)	学校給食課	給食センターの様子を見学し 、学校給食への理解を深め ています。	回数	—	給食センターで、PTA主催の試 食会を12回行いました。また、 市民及び他市からの視察も含 め、12回施設見学を行いました 。	給食センターの見学通路で、調理 員が調理についての説明を行いま す。体験コーナーにある釜に触 れたり、手洗い体験を行います。 また、栄養教諭等がプロジェク ターを使い学校給食の説明を行っ ています。	A	次年度も継続して対応してい きたいです。	継続	●	●	●	●		
31	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	くらしの教員 セミナー	くらし支援 課	小中学校技術家庭科教員対 象の消費者問題啓発講座 (年2～3回)を実施して います。	—	—	15人	学校における子どもの消費者教 育の推進を図るために、小・中 学校の技術・家庭科の教員を対 象に、「しっかり学ぼう！ネットと 契約」をテーマに詳しく学習しま した。	A	小・中学校の先生の集まる機 会が少なく、もっと多くの先 生方に参加していただきたい が、伝えるすべがないです。 対応策として、毎月行われる 認定研究会で呼びかけを行いま す。	継続	●			●		
32	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	くらしのノート 事業	くらし支援 課	消費者教育資料集（技術・ 家庭科副読本）「くらしの ノート」を作成し、学校現 場で活用してもらい、消費 者教育を推進しています。 小学生用では健康な食生活 について啓発しています。	—	—	小学生：4200冊 中学生：4400冊	消費者教育資料集（技術・家庭科 副読本）「くらしのノート」を作 成し、学校現場で活用を推進しま した。豊中市健康づくり・食育推 進計画に関する記述があります。	A	デジタル化が推進されている ことを承知しているが、現場 の先生が使用するにあたって 紙の方が扱いやすいため、電 子化に踏み切れていません。 また、闇バイトの発生などの 社会状況に応じて掲載内容を その都度変更していきたいで す。	継続	●			●		

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ろ も	女 性		
33	1. 栄養・ 食生活	1-a. 次世代の 基本的な食習 慣の形成	関 連 資 料 提 供、読書振興	読書振興 課・図書館	食育に関する図書や資料・ 情報の収集・提供や、出前 講座やイベントなどでテー マや参加者層に応じて関連 図書の紹介や貸出を行って います。また「とよなか食 育プラスワンシート」の活 用や、食育関連資料の展示・ 貸出を行う場合があります。	—	—	実施あり	千里図書館では乳幼児向け出前 講座に離乳食の本を、庄内図書館 では図書館の行事や子育てサロ ンで保護者向けに離乳食・幼児食 の本を紹介しました。 また庄内図書館では、公民館や子 育て支援センターから講座での 関連本やイベントでの絵本貸出 を依頼された際、それだけではな く、参加されている保護者に手に 取ってもらえるよう離乳食・幼児 食の本も一緒に貸出しました。さ らに、東豊中・高川図書館では特 集展示棚で食育の本を、野畑図書 館では野菜料理の本を展示・貸出 しました。また各館で「とよなか 食育プラスワンシート」の活用 や、「食育コラボ みんなでは・ は・は」参加者へ食育関連本の展 示貸出を行いました。	A	次年度も図書館での食育に関 する関連資料の提供などを通 じて、食育への関心を深めて いくとともに、図書館の利用 促進を図っていきたいです。	継続	●	●	●	●			1-d
34	1. 栄養・ 食生活	1-b. 心身の健 康につながる 食生活	健康を支える 食育推進事業	健康推進課	バランスのよい塩分控えめ の食事など、健康につな がる食生活についての普及啓 発を実施します。	①参加者数 ②回答件数	①野菜摂取 量 測 定 会 450 人 ②塩分と健 康に関する アンケート 2,000 件	①野菜摂取量測定イベント ・ 野菜摂取量測定会 9 回、 1,806 人 ・ 簡単食事診断 1 回、149 人 ・ 市内イベント等での野菜摂 取量測定 5 回 545 人 ②塩分と健康に関するアンケ ート 5,750 件	①市内スーパー、商業施設やイベ ントの1ブースなどで、野菜摂取 量測定と栄養士によるアドバイ スを行いました。 ②塩分を何からとっているのか の現状把握と減塩の啓発を兼ね たアンケートを実施しました。	A	①参加者アンケートの結果より、 測定体験後に野菜をとろ う考えた人が多かったことか ら、次年度はより多くの人の 行動変容を促すため、別の会 場も加えて実施します。 ②アンケートで得た現状をふ まえた上での減塩啓発を実施 します。	拡充	●	●	●			1-a 1-c 1-d	
35	1. 栄養・ 食生活	1-b. 心身の健 康につながる 食生活	フレイル栄養 相談会	健康推進課	フレイル予防のための食生 活についての相談会を実施 します。	人数	140 人	141 人	①後期高齢者医療健康診査及び 通いの場の質問票でのハイリス ク者、②18 歳以上に対し、体組成 測定、フレイルチェック、野菜摂 取量測定、SAT システムによる食 事診断の結果を基に栄養相談を 行いました。	A	相談会参加者への効果を評価 できていないため、次年度は 低栄養傾向の見られる方に対 して参加 3 カ月後にアンケー トを実施予定です。	継続		●	●				

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ ども	女 性	
36	1. 栄養・ 食生活	1-b. 心身の健康につながる食生活	「食育月間」「食育の日」の啓発	健康推進課	毎年 6 月を食育月間、毎月 19 日を食育の日として啓発を行っています。	回数	2 回	2 回	豊中市保健所での掲示と豊中市保健所公式 X（旧ツイッター）での啓発をそれぞれ 1 回ずつ実施しました。	A	食育への関心を高める一つの機会として、引き続き啓発を続けていく予定です。	継続	●	●	●			1-a 1-c 1-d
37	1. 栄養・ 食生活	1-b. 心身の健康につながる食生活	特定給食施設等への個別指導	健康推進課	市内にある特定給食施設やそれに準ずる施設で提供される食事が健康につながるものであるよう、電話や訪問等での指導を実施します。	①巡回指導施設数 ②情報提供メール配信数	①33 施設 ②2 回	①33 施設 ②6 回	・施設に訪問しての巡回指導 33 施設、電話指導 18 件、面接指導 1 件を行いました。 ・メールアドレスを把握している施設への情報提供を実施しました。（R7.3.31 現在、221 施設）、 ・健康的な食生活啓発支援として、一部施設に朝食摂取啓発ポスターを送付しました。	A	給食施設での取組みは健康につながる食環境整備として重要と考えるため、引き続き指導を実施します。	継続	●	●	●			1-a 1-c
38	1. 栄養・ 食生活	1-b. 心身の健康につながる食生活	特定給食施設等への集団指導	健康推進課	市内にある特定給食施設やそれに準ずる施設のスタッフ（施設管理者・管理栄養士/栄養士・調理師等）を対象に、研修会を実施しています。	件数	2 回	2 回	①食中毒の予防をテーマに研修会を実施しました。 会場参加、27 施設 後日配信（申込数）39 施設 ②大阪府政令中核市と合同で災害時の給食をテーマに研修会を実施しました（オンデマンド配信）。 申込数 41 施設	A	引き続き、研修会等を通じて市内施設の資質向上を促していきます。	継続	●	●	●			1-a 1-c
39	1. 栄養・ 食生活	1-b. 心身の健康につながる食生活	「減塩協力店」の普及啓発	健康推進課	「減塩協力店」の普及啓発を行っています。 「買ってきた惣菜やお弁当、外食で注文した料理がもともと塩分ひかえめで作られていた」など、自然と減塩につながる環境づくりを推進しています。	店舗数	61 店舗	60 店舗（閉店により 1 店舗減）	・豊中市保健所公式 X（旧ツイッター）で 7 回減塩協力店の紹介と減塩の周知啓発を行いました。 ・登録店舗 60 店のうち 1 メニュー食塩相当量 3 g 未満提供店舗数が 1 店増の 8 店となりました。	A	引き続き、豊中市保健所公式 X（旧ツイッター）での発信をします。店舗の営業時間などの変更はこちらの情報が追いついていなかったことを改善するため、次年度からは年に 1 回郵送にて既存店舗の情報を確認する予定です。	継続	●	●	●			1-a
40	1. 栄養・ 食生活	1-b. 心身の健康につながる食生活	「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及啓発	健康推進課	「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及・啓発を行っています。 野菜たっぷりや、エネルギー控えめ等のヘルシーメニューの提供や、「ヘルシーオーダー」の実施等を推進しています。	—	—	—	令和 6 年度の事業終了を受けて、対象の店舗に対し、減塩協力店や大阪府下の取組である V.O.Sメニューの案内を発送しました。	A	本事業は令和 6 年度で廃止します。 食環境整備については引き続き野菜の摂取を促す、減塩の意識を持ってもらうなど普及啓発を進めていきます。	完了・ 廃止	●	●	●			1-a

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ ども	女 性	
41	1. 栄養・ 食生活	1-c. 安全・安心な食	インデックス付コンパクトサイズの『防災ガイド』の作成	危機管理課 健康推進課	自宅だけではなく、近所・遠方にいるときでも一定の災害対応が実施できるよう、「自助」をベースに災害対応をまとめた持ち歩き可能な啓発印刷物を作成し、配布しています。 災害への備えなどをまとめた「準備編」、災害発生時の対応をまとめた「災害対応編」を掲載しています。	配布数及び地域団体に対する周知回数	配布数：50枚 周知数:20回	前年度の出前講座が2 2 回あったので、防災ガイドの周知については達成できました。 配布については、令和6 年度に入る前に冊子の在庫が切れてしまい配布することができませんでした。	・ 出前講座での防災ガイド周知	A	出前講座での市民に対する周知は十分行えました。また、防災ガイドの配布は実施できなかったが、令和7 年度に増刷を予定しているため、令和7 年度は配布することができません。	継続	●	●	●			
42	1. 栄養・ 食生活	1-c. 安全・安心な食	災害時に備えた食品の備蓄	公立こども園 こども事業課	災害時に備え、こども園にレトルトカレー、レトルト粥、液体ミルクを備蓄し、賞味期限の切れる前にこども園の給食に提供することで、防災教育を行っています。	—	—	9 月、2 月に実施	レトルトカレー、レトルト粥は 9 月にこども園防災の日の献立として提供しました。液体ミルクは 9 月、2 月に通常献立に使用し提供しました。	A	今後も継続していきます。	継続	●			●		
43	1. 栄養・ 食生活	1-c. 安全・安心な食	食品表示に関する指導等	健康推進課	栄養成分表示や広告などの「誇大広告の禁止」などに関して市民に適切な情報の提供を行ったり、食品業者や広告業者などに対する相談や指導を行っています。	指導数	—	23 件	食品業者や広告業者などに対する相談を行いました。	A	引き続き相談に応じていきます。	継続	●	●	●			1-a 1-b
44	1. 栄養・ 食生活	1-c. 安全・安心な食	食品衛生事業	健康危機対策課	市民や食品関連事業者に対し、食品衛生に関する知識を啓発し、食中毒予防対策に取り組むなど、安全な食生活の確保を図ります。	参加人数	500 人	講習会参加人数：946 人 (うち・消費者向け：597 人・事業者向け：349 人)	市民・事業者に対し、講習会や市の広報・ホームページ・SNS 等により、食中毒予防や食品衛生に関する知識の普及・啓発を行いました。	A	今後も継続して実施していく予定です。	継続	●	●	●	●	●	
45	1. 栄養・ 食生活	1-c. 安全・安心な食	生活関連物資課題調査	くらし支援課	(特定非営利活動法人とよなか ESD ネットワークに委託) 豊中市内主要買物施設の食料品等の生活関連物資の表示等に関する調査を実施し、これに基づいて得た適正な情報を市民に提供することにより、市民の生活関連物資に対する信頼性を確保し、適切な商品選択に役立てるとともに、事業者にも適正な表示に基づく安全な商品の提供を促すなど、消費生活の一助になることを目的とします。	—	—	延べ 40 人参加	生活関連物資に記載されているフェアトレードのマーク等の表示についての確認や内容量の調査を行いました。また物の売り買いを体験することで経済について考えるきっかけとなりました。	A	事業開始当初から委託してきた団体が受託できなくなり、事業の実施方法を変更して別団体で実施してきたが、当初目的は達成したことから本計画では完了廃止とします。今後は別目的での事業実施とします。	完了・廃止	●	●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価						対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い ち も		女 性
46	1. 栄養・ 食生活	1-c. 安全・安心な食	消費者啓発講座・セミナー	くらし支援課	①消費生活セミナー：消費生活の基礎知識を学ぶ講座 ②消費者月間行事：消費者月間の 5 月に消費者庁の統一テーマに沿って行う啓発事業として消費生活に関する講座を開催しています。 ③学校における啓発講座：食品表示や食に関する講座を実施し、健康な食生活の啓発をしています。	人数	①－ ②－ ③1,000 人	①消費生活セミナー：2 回、87 人（うち食育関係なし） ②消費者月間行事：862 人 ③学校における啓発事業：36 回（1 クラス 1 回でカウント）、1128 人（うち食育に関するもの 17 回、460 人）	①くらしの中の身近な話題を通して、消費者問題等について学習しました。 ②令和 6 年度は、「デジタルで時代に求められる消費者力とは」をメインテーマに行いました。 ③学校における子どもの消費者教育の推進及び、消費者被害を未然に防ぐために学校現場へ出向き講座を実施しています。今年度は、昨年度に比べ、食に関する講座の申し込みが多かったです。	A	5 月の消費者月間に合わせてセミナーなどを行っているが、認知度が低いことから、その周知が必要です。また、学校における啓発に対して、コロナ後の学校行事の増加に伴い、申し込み数が少なかったため、こちらも周知していきたい、数を増やすための工夫を考えていきたいです。	継続	●	●	●			
47	1. 栄養・ 食生活	1-c. 安全・安心な食	消費生活情報の広報	くらし支援課	消費生活情報誌「くらしの情報」を発行し、くらしかん及び市内公共施設で配布しています。 食品表示や食に関する記事を掲載し、健康な食生活の啓発をしています。	－	－	A4 判 3,000 部発行／2 回 PDF 判 発行／1 回 点字版 B5 判 12 部発行／3 回	消費者への啓発として、詐欺防止のための情報を掲載しています。また、登録グループの紹介も行っており、認知度の向上を進めています。 食に関するものとして、S マーク（標準営業約款制度）を紹介し、消費者が安心してお店を選べる目印があることを掲載しました。	A	若い世代への情報提供が難しく中々手に取ってもらえません。そのため、幅広い年齢層に伝えられる手段が必要です。また、印刷代のコストがかかることから電子化にすることも一つの手段であり、若者にも情報が届く可能性が高くなると考えられます。	継続		●	●			
48	1. 栄養・ 食生活	1-c. 安全・安心な食	水道出前教室	上下水道局 経営部 経営企画課	小学 4 年生を対象に、水道への関心を深め、水道水が安全な飲み物であると理解してもらうことをねらいとして、実験器具の貸出及び学習資料の提供を行い、視聴覚教材（局作成 YouTube 動画）の活用で教員の指導のもと、実験を実施します。	校数	40 校	22 校	実験器具の貸出及び学習資料の提供を行い、視聴覚教材（局作成 YouTube 動画）の活用で教員の指導のもと、実験を実施します。	A	関係各所と連携をはかり、事業参加校を増やします。	継続	●			●		1-a
49	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能な食	生活情報ひろば事業	くらし支援課	くらしかん 1 階の「生活情報ひろば」において、くらしかん登録グループ主体による消費者啓発講座・展示等の中で、食に関する講座・展示を開催しています。 食に関するパネル展示や講座を実施し、健康な食生活を啓発しています。	－	－	パネル展：12 回（うち食育関係 2 回） 地産地消：12 回 講座：5 回	パネル展：「地産地消の推進と大阪産農産物」や「食の安全・安心」に関連した展示を行いました。 地産地消：豊中産・豊能郡高山産の野菜やとよつびーを入れた有機物の畑で育てた季節の野菜などが出されました。 講座：ベトナム料理やインドネシア料理などの海外の料理のお話に加えて、実食してもらいました。	A	パネル展：課題として、幅広い世代への周知ができていないことがある。SNS などを活用し幅広い世代に周知するよう取り組みでいきたいです。 地産地消：グループの高齢化による担い手不足。こちらも若者が担い手となってほしいが、現状は厳しいです。 講座：グループの高齢化による担い手不足が原因で講座の減少につながっています。 若い世代に周知し、担い手の確保が重要です。	縮小	●	●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価						対象となる 年代			再掲		関連する 取組 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ ども		女 性
50	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	料理教室 （再掲：生活 情報ひろば事 業）	くらし支援 課	とよなか消費者協会に委託 し、豊中商工会議所・豊中 市小売商業団体連合会事務 局の協力を得て、料理講習 会を開催しています。	—	—	魚屋さんが教える魚のさばき 方：参加人数 34 人 無添加のみそ作り：参加人数 68 人 ペルーの家庭料理とお話：参加 人数 18 人 インドネシア料理へようこそ： 参加人数 23 人 ベトナムの家庭料理とお話：参 加人数 21 人	海外の料理に触れることができ る料理講演会は昨年度に比べて 多く実施することができました。	A	今年度でとよなか消費者協会 が解散されるということで、 今年度で廃止となります。若 者の参画がなく継続的に行い たいがそのすべがないのが課 題です。	完了 ・ 廃止	●	●	●			
51	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	くらしかん祭 り	くらし支援 課	消費者問題等に取り組むく らしかん登録グループの実 践活動の発表の場としてく らしかん登録グループとと もにくらしかん祭りを実施 しており、グループ間交流 や市民との情報交流を図っ ています。食や栄養に関す るブースを設置し、健康な 食生活の啓発をします。	人数	500 人	507 人	実行委員会に参画している「く らしかん登録グループ」の主体性を 尊重し、それぞれの活動目的を発 揮できるように応援するととも に消費者学習を実践する場とし て、市民主体のまちづくりの実現 を進めるために開催しています。 食に関して、フェアトレードにつ いて学べる催しや地産地消を行 いました。	A	登録グループと連携してこれ まで開催してきたが、メンバ ーの高齢化に伴い、参加者の 減少が懸念されます。地域を 取り込んで、若者を取り入れ、 幅広い世代が楽しめるものに していきたいです。	継続	●	●	●			
52	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	消費者活動支 援業務	くらし支援 課	消費者団体について、登録 制を実施し、定例会の運営 や事業（リユースバザー・ くらしかん祭り・講座等） を市と協働で行うことによ り、活動の促進支援を図っ ています。また、使用申込 を一般申込の 3 か月前から 6 か月前に優遇し、また「生 活情報ひろば」を活動・交 流の場として提供して活動 の支援を行っています。	—	—	登録グループ 8 団体	毎月最終金曜日に登録グループ との定例会の実施しました。 リユースバザーを 10 回開催しま した。 参加者数は 675 人。	A	高齢化に伴い、登録グループ の方々の活動が制限されてい るため、若者による協力が必要 だが、参加がないため次に つながりません。若者の参加 に向けて取り組む必要がある が、ほとんどの方が働きにで ていることから難しいです。	継続		●	●			
53	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	市民による環 境活動への支 援（豊中アジ エンダ 21 の 普及・促進）	ゼロカーボ ンシティ推 進課	「とよなか市民環境会議」 の共同事務局である「NPO 法 人とよなか市民環境会議ア ジェンダ 21」とともに、ネ ットワーク組織としての活 動、ならびに構成団体であ る市民団体・事業者が主体 的に取り組む環境活動の促 進を支援します。	構成団体数	増加 （令和 5 年 度：129 団 体）	129 団体	とよなか市民環境会議の役員会・ 総会を開催しました。また、とよ なかエコ市民賞を実施し、2 団体 を表彰しました。	B	近年、市民環境会議へ新規に 加入する団体がなく、会議体 の活性化が課題です。ネット ワーク組織としての活動、な らびに構成団体である市民団 体・事業者が主体的に取り組 む環境活動の促進を支援しま す。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価						対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ ども		女 性
54	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	とよなか市民 環境展	ゼロカーボ ンシティ推 進課 NPO 法人と よなか市民 環境会議ア ジェンダ 21	豊中市（ゼロカーボンシ ティ推進課）・豊中市教育委 員会・とよなか市民環境会 議・公益財団法人豊中市ス ポーツ振興事業団と共催。 市民、事業者、行政の環境 問題解決に向けての取組み の発表・交流の場。概ね、11 月第 3 もしくは第 4 週に実 施しています。	来場者数	増加 （令和 5 年 度：2,391 人）	3,003 人	とよなか市民環境展 2024 テーマ「Join us! 地球のこと豊 中のこと考えよう」のもと、市民、 事業者、行政が現状の環境問題解 決に向けた取組みの発表や交流 の場を提供しました。	A	環境問題に関心が低い層を巻 き込むため、新たな出展者を 募る手法の検討や子育て世代 や若年層の環境保全活動への 関心の向上につながるよう、 更なる発展をめざします。	継続	●	●	●			
55	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	フードドライ ブの実施	減量計画課	家庭で余っている食べ物を 学校や職場などに持ち寄り それらをまとめて地域の福 祉団体や施設、フードバン クなどに寄付する活動。各 種イベント等にて実施して います。	開催回数	7 回	9 回	市内地域イベント等において 9 回 実施し、合計 248.5 kg の食品が提 供されました。 また、事業者との協働実施とし て、(株)ダイエー市内 4 店舗、生 活協同組合コープこうべ市内 3 店 舗、(株)光洋市内 4 店舗でフード ドライブを実施しました。 合わせて総重量約 6863.5 kg の食 品が集まり、そのすべてが豊中市 社会福祉協議会に提供されまし た。	A	市内から出る食品ロス量（推 計値）は減少しつつありますが、市民・事業者に、より食べ 物の大切さを認識してもら い、さらなるごみ減量を図る ため、引き続き効率的・効果 的にフードドライブを実施し ていく必要があります。また、 地域におけるフードドライブ の活性化に向け、周知啓発を 行っています。	継続	●	●	●			
56	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	とよなか食品 ロス・ゼロハ ンドブックの 活用	減量計画課	市民の「もったいない」の 意識を高め、食品ロスを削 減するために、食べ残しや 手つかずで捨てられる食品 等の食品ロス実態や食の大 切さを情報提供するととも に、ごみをなるべく出さな い調理法や買い物など食品 ロスの削減に関する実践事 例・アイデアについて分か りやすく解説し、実践行動 に移していただくために作 成。周知啓発に活用してい ます。	認定こども園 等年長児保護 者への配布人 数	認定こども 園等年長児 全児童数	3,418 人	4000 冊作成し、市内認定こども園 等の年長児全児童の保護者に配 布するとともに、イベント時等 にも配布しました。	A	市内から出る食品ロス量（推 計値）は減少しつつありますが、市民に、より食べ物の大 切さを認識してもらい、さら なるごみ減量を図るため、環 境学習の一環として小学校入 学直前の年長児及びその保護 者をターゲットとした周知啓 発を継続して行っていしま す。	継続	●	●	●			1-c
57	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	生ごみ・剪定 枝堆肥化事業	公園みどり 推進課	循環型社会を推進するた め、堆肥「とよっぴー」を使 った資源循環啓発を行って います。その取組みの一つ として、農体験学習を実施 しており、健康づくりに寄 与しています。	—	—	No. 64 に記載	No. 64 に記載	No. 64 に記 載	No. 64 に記載	No. 64 に記載	●	●	●			

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代			再掲		関連する取組み分野
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性	
58	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	生ごみ・剪定枝 堆肥の配布・頒布	公園みど推進課、NPO 法人とよなか市民環境会議 アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよなか	学校給食センターから出る調理くずや給食の食べ残しなどに公園や街路樹の剪定枝をチップ化したものを混合し、堆肥化しています。できあがった堆肥「とよっぴー」は、アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよなかにより、土壌改良材として、学校・こども園、市内等の農家ほか、各種イベントなどで配布・頒布しています。	—	—	85t	堆肥「とよっぴー」を配布しました。	A	継続して配布していきます。	継続	●	●	●			
59	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	緑と食品のリサイクルプラザ見学対応	公園みど推進課、NPO 法人とよなか市民環境会議 アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよなか	学校給食センターから出る調理くずや給食の食べ残しなどに公園や街路樹の剪定枝をチップ化したものを混合し、堆肥「とよっぴー」を製造する施設の見学者に対して、有機性資源循環の仕組みと食の重要性の啓発を行っています。	見学者数	500 人	344 人	リサイクルプラザの施設見学に対応しました。	B	今後は参加者数が増えるように周知・啓発を行っていきます。	継続	●	●	●			
60	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	堆肥化講習会	公園みど推進課、NPO 法人とよなか市民環境会議 アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよなか	家庭向け堆肥づくり講習会を行うことにより、生ごみの発生抑制・再資源化及び家庭菜園での堆肥活用を推進しています。	参加者数	200 人	93 人	堆肥化講座を実施しました。	B	今後は参加者数が増えるように周知・啓発を行っていきます。	継続	●	●	●			
61	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	栽培講習会	公園みど推進課、NPO 法人とよなか市民環境会議 アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよなか	有機性資源を活用した上手な野菜づくりの講習会を開催しています。	参加者数	200 人	252 人	栽培講習会を実施しました。	A	継続して実施していきます。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い ろ も	女 性	
62	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	講座型環境学 習	公園みど推 進課、NPO 法 人とよなか 市民環境会 議アジェン ダ 21・花と 緑のネット ワークとよ なか	生ごみの発生抑制や資源循 環を推進するため、米づく り・食品ごみ・地産地消等 をテーマに講座を実施して います。	参加者数	4,000 人 (No. 63. 64 と併せて)	1 回 17 人	講座型環境学習を実施しました。	B	継続して実施していきます。	継続	●	●	●			
63	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	食育フォーラ ム	公園みど推 進課、NPO 法 人とよなか 市民環境会 議アジェン ダ 21・花と 緑のネット ワークとよ なか	栄養など食事の内容だけで はなく、どこでどう作られ たかも含めて食べ物に関す る正しい知識を得るための 講座を実施しています。	－	－	1 回 17 人	食育フォーラムを実施しました。	A	継続して実施していきます。	継続	●	●	●			
64	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	農体験学習	公園みど推 進課、NPO 法 人とよなか 市民環境会 議アジェン ダ 21・花と 緑のネット ワークとよ なか	①希望する小学校等に出向 いて、主に 4 年生・ 5 年生 を対象に、野菜の植え付け・ 収穫、お米づくりなどの農 体験学習を実施しています。 ②親子や児童・生徒等に対 して、「とよっぴー農園」に おいて、野菜の植え付け・ 収穫等の農体験学習を実施 しています。	参加者数	4,000 人 (No. 62. 63 と併せて)	45 回 685 人	農体験学習を実施しました。	B	継続して実施していきます。	継続	●	●	●	●		
65	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	とよっぴーフ ェスタ	公園みど推 進課、NPO 法 人とよなか 市民環境会 議アジェン ダ 21・花と 緑のネット ワークとよ なか	「とよっぴー」で育てた野 菜を使った学校給食の試食 や農園でのいも掘り体験な ど、食と農及び資源循環に ついて楽しく学べる様々な イベントを実施しています。	来場者数	1,000 人	583 人	とよっぴーフェスタを実施しま した。	A	今後は参加者数が増えるよう に周知・啓発を行っていきま す。	継続	●	●	●	●		

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価						対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ち も		女 性
66	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	とよっぴー展	公園みど推 進課、NPO 法 人とよなか 市民環境会 議アジェン ダ 21・花と 緑のネット ワークとよ なか	堆肥「とよっぴー」の製造 に関するパネル展示や糞す り機等の農機具、給食の食 べ残しなどのパンの実物展 示等を行っています。	来場者数	300 人	233 人	とよっぴー展を実施しました。	A ⁻	今後は参加者数が増えるよう に周知・啓発を行っていきま す。	継続	●	●	●			
67	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	生ごみ堆肥化 容器等助成	公園みど推 進課、NPO 法 人とよなか 市民環境会 議アジェン ダ 21・花と 緑のネット ワークとよ なか	家庭での生ごみの堆肥化活 動を支援するため、堆肥化 資材の提供や容器等の購入 費の助成をしています。	—	—	ダンボール資材：48 人 密閉バケツ：1 人 コンポスト：2 人	生ごみ堆肥化容器等の助成をし ました。	A ⁻	継続して実施していきます。	継続	●	●	●			
68	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	堆肥「とよっ ぴー」使用野 菜等の学校等 給食提供	公園みど推 進課、NPO 法 人とよなか 市民環境会 議アジェン ダ 21・花と 緑のネット ワークとよ なか	豊中市内の農家の協力をい ただき、市で製造した堆肥 「とよっぴー」を使って育 てた米や野菜を小学校等の 給食に提供することで、資 源循環の啓発及び地産地消 の取組みを推進していま す。	—	—	69 回 4 種類	とよっぴーを使った野菜などを 学校給食に使用しました。	A ⁻	継続して実施していきます。	継続	●			●		
69	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	絵本「きょう のきょうしよ くな～にかな」の活用	家庭ごみ事 業課	小学校給食の食べ残しを減 らし、食べ物を大切にしてい たいという願いをこめて 職員が作成しました。 なぜ食べ物を残すとダメな のかを、身近な野菜や子ど もたちを登場させること で、感情移入しやすく、言 葉は全てひらがなを使用し ているので理解しやすい内 容になっています。	すべての 公立こども園	すべての 公立こども 園	すべての公立こども園(24 園) に環境学習の案内を送付。令和 6 年度は 18 園で実施すること ができたが、すべてのこども園 で環境学習を実施することを 目標にしています。	【室内編】では絵本「きょうのき ょうしよくな～にかな」を活用し た学習を行います。 【屋外編】ではごみ収集車の乗車 で環境学習を実施していきま す。	A ⁻	幼少期の環境学習は、食に関 する内容を理解してもらえる 最適な時期だと考えていま す。食べ残しをしないことが、 食品ロス削減に繋がるという 内容をよりわかり易く伝えて 行けるよう今後も取組んでい きます。	継続	●			●		
70	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	とよっぴー (生ごみ・剪定 枝堆肥)で作 った市内農作 物を給食食材 として使用す る「食のリサ イクル」の取 組み	学校給食課	とよっぴー(給食から出る 生ごみ・剪定枝堆肥)で作 った市内農作物を給食で使 用しています。	—	—	豊中市立小学校・義務教育学校 (前期課程)39 校の給食で市内 農産物を使用した給食提供を 行いました。	③と同様	B	次年度も継続して使用しま す。	継続	●			●		

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価						対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い ろ も		女 性
71	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	コラボ朝市	地域連携課 産業振興課	市内農業者の協力を得て、 豊中市産野菜等の直売会を 毎月第3水曜日に開催して います。	人数	1,000 人	1,336 人	市内農業者の協力を得て、地産地 消を通して、市民交流の場づくり と千里地域の賑わいづくりに向 けた取り組みの一つとして、豊中 市産野菜等の直売会を毎月第3 水曜日に開催しました。	A	既に昨年度よりも来場者は多 くなっており、徐々に参加者 数が増えていると感じます。 そのこと自体は良いことだ が、野菜が15分程度でかなり 少なくなってしまうことは課 題です。	継続	●	●	●			
72	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	地産地消推進 事業補助事業	産業振興課	安心・安全な豊中産農産物 の提供による地産地消を推 進します。 学校給食等に豊中産野菜の 出荷、豊中産野菜の直売会 を実施します。	地産地消協力 者人数	65 人 3 団体	延べ 74 人 3 団体	学校給食等に豊中産野菜の出荷、 豊中産野菜の直売会を実施しま した。	A	—	継続	●	●	●			
73	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	農業祭	産業振興課	市民の農業に対する理解と 認識を深めるとともに地産 地消を広く PR します。	来場者数	3,000 人	3,401 人	令和6年11月23日 豊島公園多 目的広場で第 45 回豊中市農業祭 を開催しました。	A	—	継続	●	●	●			
74	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	市民農園	産業振興課	市民が土に親しみ余暇を楽 しむ場を提供します。 土に触れ花や野菜を育てる ことでこころの健康にもつ ながります。	利用者の満足 度	75%	69%	19 農園 735 区画で実施	B	市民農園は定員を超える申し 込みがあり、市民の利用ニー ズは高いが、農園開設者の高 齢化等の理由で、市民農園は 減少傾向にあります。市民農 園の開設者側への運営支援を 行い、区画数の充足と、利用 者の満足度の向上を目指す取 り組みを進めていきます。	継続	●	●	●			7-a
75	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	市民農業体験	産業振興課	市民にさつまいもやたまね ぎを栽培する機会を提供す ることにより、豊中での「農 のある暮らし」を実感して もらい、農業への理解を深 めるとともに、都市農業・ 食育の啓発をはかっています。	参加人数	120 人	138 人	・5 月から 10 月 さつまいも栽 培体験（20 世帯 79 人） ・11 月から 3 月 たまねぎ栽培 体験（20 世帯 59 人）	A	より多くの方に参加してもら える機会を増やせるよう、開 催場所や開催内容を見直し充 実を図っていきます。	継続	●	●	●			
76	1. 栄養・ 食生活	1-d. 持続可能 な食	豊中市農業経 営者協会との 協働による 都市農業の振 興	産業振興課	①部会ごとに事業を実施し ています。 ○指導者部会－協議会の基 本事項等について協議。 ○研究部会－豊中まつり、 農業祭において新鮮野菜を 安価で販売。市民農園技術 指導、栽培講習会等を実施。 ②上記事業を実施している 協会との連携・協働によ る地産地消の推進、都市農 業・食育の啓発を行っています。	活動回数	10 回	18 回	・学校給食副食用野菜の出荷 16 農家 ・市民農園の技術指導 令和6年 4月21日（日）9 農園で実施 ・農業祭、ふれあい緑地フェス ティバル、定期開催朝市 9 か所にお ける豊中市産野菜の直売 ・農業先進地技術交流会 令和6 年12月3日（火）実施 行先： 岩津ねぎ栽培地 兵庫県朝来市 （参加者 39 名）	A	協力農家を増やし、より活発 に活動していくことが課題で す。協議会とのより密な連携 をめざします。	継続		●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ろ も	女 性	
77	2. 身体活動 ・運動	2-a. 日常生活 で体を動かし たり、習慣的 に運動・スポ ーツをする人 を増やす	スポーツの日 （体育の日） の事業	スポーツ振 興課	スポーツの日（体育の日） の事業において、健康啓発 等を実施しています。	参加人数	55 人	140 人	市民 140 名が参加し、新体力カテ ストを行いました。	A	参加のきっかけを整理し、引 き続き参加人数の確保に努め ます。	継続	●	●	●			
78	2. 身体活動 ・運動	2-a. 日常生活 で体を動かし たり、習慣的 に運動・スポ ーツをする人 を増やす	生涯スポーツ 振興事業	スポーツ振 興課	市民大会・後援事業の支援・ 生涯スポーツ推進事業など を通して生涯スポーツの振 興を図ります。また、だれ でもどこでもできるラジオ 体操とウォーキングの普及 に努めます。	市民大会の参 加人数	11,300 人	11,499 人	年間を通じて、市民大会、指導者・ 審判養成講習会、生涯スポーツ推 進事業等の各種事業を実施しま した。	A	幅広く市民に参加してもらえ るよう、引き続き広報誌・市 HP 等での周知を行います。	継続	●	●	●			
79	2. 身体活動 ・運動	2-a. 日常生活 で体を動かし たり、習慣的 に運動・スポ ーツをする人 を増やす	地域スポーツ の振興	スポーツ振 興課	ニュースポーツデーや軽ス ポーツ教室の実施によるニ ュースポーツの普及および 小学校区スポーツ振興会・ 総合型スポーツクラブの支 援など、地域におけるスポ ーツの推進を図ります。	ニュースポー ツデーの参加 人数	520 人	705 人	ニュースポーツ普及のため、ニュ ースポーツデーと軽スポーツ教 室を実施しました。	A	地域によって参加人数のばら つきがあるため、広域的にニ ュースポーツを普及する仕組 みを作ります。	継続	●	●	●			
80	2. 身体活動 ・運動	2-a. 日常生活 で体を動かし たり、習慣的 に運動・スポ ーツをする人 を増やす	国内・国際ス ポーツ大会の 参加奨励事業	スポーツ振 興課	国際・国内スポーツ大会に 参加奨励することにより、 スポーツの振興を図りま す。	支給件数	120 件	131 件	大会出場者からの申込みにより、 報奨金を支給しました。 （個人：124 人、団体：7 団体）	A	令和 5 年度より支給実績を市 HP で公表したことで申込み件 数は増加傾向にあります。次 年度以降、引き続き同様の方 法で周知を行います。	継続	●	●	●			
81	2. 身体活動 ・運動	2-a. 日常生活 で体を動かし たり、習慣的 に運動・スポ ーツをする人 を増やす	スポーツ推進 審議会	スポーツ振 興課	豊中市の社会体育の現状と 問題点をふまえ、生涯スポ ーツを実践できる方策につ いて審議を行います。	開催回数	2 回	2 回	審議会を 2 回開催し、「社会体育 団体補助金」、「第 2 期豊中市ス ポーツ推進計画に基づく令和 5 年 度（2023 年度）の取り組み」等の 案件について、市長から諮問し、 答申を受けました。	A	引き続き、第 2 期スポーツ推 進計画に掲げた目標達成に向 けて審議します。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い ろ も	女 性	
82	2. 身体活動 ・運動	2-a. 日常生活 で体を動かし たり、習慣的 に運動・スポ ーツをする人 を増やす	スポーツ団体 の支援と指導 者の育成・確 保	スポーツ振 興課	・スポーツ団体を支援し、 また指導者を育成・確保す ることにより、生涯スポー ツの振興を図ります。 ・大阪府総合体育大会に豊 中市の代表選手を派遣する ことで生涯スポーツの振興 に寄与します。	大阪府総合体 育大会への派 遣人数	350 人	360 人	・スポーツ推進委員研修会、スポ ーツ団体への事業補助金交付 を行いました。 ・大阪府総合体育大会に豊中の代 表選手を派遣することで生涯ス ポーツの振興に寄与しました。	A	社会体育団体による生涯スポ ーツの振興を目指し、引き続 き研修会等の開催を検討しま す。	継続	●	●	●			
83	2. 身体活動 ・運動	2-a. 日常生活 で体を動かし たり、習慣的 に運動・スポ ーツをする人 を増やす	身体活動イベ ント	健康推進課	なわとびやバスケットボー ルを使用したイベントを実 施し、市民に健康への関心 を高めてもらうとともに、 フレイル等についての知識 の周知およびフレイルの認 知度を高めます。	参加組数	140 組	128 組	親子でエクササイズイベントを 1/13（月）と 2/11（火）に実施し、 健康教育及び運動講座（なわとび 編 3 回・バスケット編 1 回）を実施し ました。	A	令和 6 年度からは新たにバス ケット編を創設したところ、バス ケット編の第一希望の割合は 27% と 2 番目に好評だったので、 引き続きなわとびとバスケット を含めた他の協議の可能性 も模索していきながら、運動 を通じたフレイルについての 知識の周知およびフレイルの 認知度の向上に努めていきま す。	継続	●	●	●	●	●	6-c
84	2. 身体活動 ・運動	2-a. 日常生活 で体を動かし たり、習慣的 に運動・スポ ーツをする人 を増やす	健康づくり支 援事業補助金	健康推進課	市民に運動をはじめるきっ かけを提供する事業に対し て補助金を交付します。	延べ参加人数	2,000 人	1,922 人	補助金の交付のほか、「無料運動 講座」として、HP、チラシ、SNS 等 を活用した広報周知を行いま した。	A	交付決定団体の聞き取りによ ると、集客を課題にする団体 が多かったため、引き続き各 事業の周知強化を図ります。	継続		●	●		●	6-c
85	2. 身体活動 ・運動	2-a. 日常生活 で体を動かし たり、習慣的 に運動・スポ ーツをする人 を増やす	とよなか健康 出張セミナー	健康推進課	市民の希望する地域に専門 講師を派遣（運動編はコナ ミスポーツ、栄養・口腔編 は大阪府社会福祉事業団に 委託）し、フレイル予防お よび運動不足の解消や健康 づくりの支援を目的とした セミナーを実施します。	人数	400 人	580 人	【運動編】は主に 6 つのメニュー から、【栄養・口腔編】は主にそ れぞれ 2 つのメニューから選択し てもらい、申込者の実施希望所 に赴いて実施しました。	A	フレイル傾向にある参加者が 多いため、引き続きフレイル に関する普及啓発、アプロ ーチを実施していきます。リビ ーターもいるため、続けて利 用したいと思ってもらえるよ うな内容の充実をはかってい きたいです。	継続		●	●		●	6-c
86	2. 身体活動 ・運動	2-a. 日常生活 で体を動かし たり、習慣的 に運動・スポ ーツをする人 を増やす	健康マイレー ジ事業 （おおさか健 活アプリ「ア スマイル」）	健康推進課 保険給付課	大阪府が実施する健活サポ ートアプリ事業です。健康 管理をサポートするほか、 特典の当たる抽選を実施 し、市民の主体的な健康活 動を促します。	登録者数	18,000 人	17,925 人	市民や医療機関向けにチラシ配 布を実施しました。 ・特定健診受診券送付時 ・母子健康手帳交付時 ・年度未発送（医療機関宛） 市 HP にて各種キャンペーンの周 知を実施しました。	A	現行アプリでの運用継続につ いて注視し、適宜市民へ周知 します。	縮小	●	●	●			6-b

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ろ も	女 性	
87	2. 身体活動 ・運動	2-a. 日常生活 で体を動かし たり、習慣的 に運動・スポ ーツをする人 を増やす	「ミュージッ ク・ケアで心 と体をリフレ ッシュ」	地域連携課	千里文化センター公民連携 事業として、市民活動団体 等と共催で実施しました。 音楽を楽しみながら、歌っ たり、体を動かしたりして、 心と体をリフレッシュしま す。	人数	60 人	47 人	千里文化センター「コラボ」にお いて、市民活動団体・事業者など と連携して事業を実施すること により、地域課題の解消や地域の 賑わいづくりを推進します。	A	事業内容を具体的に PR する ことが課題だと思う。端的に 言うと、なにをやっているの のかわかりにくい事業だと思い ます。提案団体との調整が必要 だと思います。	継続	●	●	●			
88	2. 身体活動 ・運動	2-a. 日常生活 で体を動かし たり、習慣的 に運動・スポ ーツをする人 を増やす	健康づくりに 関する講習会	豊中市社会 福祉協議会	講師を招いて講習会を開催 し、健康づくりに関して学 ぶ機会をつくっています。	人数	30 人/回	モ ル ッ ク 体 験 会：48 人 健康づくりチャレンジ講座：23 人	モルック体験会は、府老人クラブ 連合会の協力を得て実施しまし た。健康づくりチャレンジ講座で は、老人クラブの会員を講師に招 き、介護予防に資する内容を互い に学び合う機会を作ることが出 てきました。	A	府老人クラブ連合会と連携し ながら、高齢者の健康に資す る内容の講座を開催していき ます。	継続			●			
89	2. 身体活動 ・運動	2-a. 日常生活 で体を動かし たり、習慣的 に運動・スポ ーツをする人 を増やす	レクリエーシ ョン大会	豊中市社会 福祉協議会	体操・ゲーム等のレクリエ ーションを行い、介護予防 活動の機会として活用を図 ります。	人数	100 人	高齢者レクリエーション大会： 141 人	レクリエーション推進員やコナ ミスポーツ株式会社と連携し、準 備体操・ニュースポーツ体験会・ 民謡等の多彩なプログラムを提 供し、高齢者の介護予防に資する 機会の提供に務めました。	A	引き続き他団体と連携しなが ら、より多彩なプログラムを 提供できるように務めたいと 考えています。	継続		●	●			
90	2. 身体活動 ・運動	2-b. 運動やス ポーツを習慣 的に行う子ど もを増やす	体力向上推進 事業	学校教育課	「全国体力・運動能力、運動 習慣等調査」、「小学生体 力づくり事業」の実施など により、児童・生徒の体力 向上を図ります。	「全国体力・ 運動能力、運 動習慣等調 査」で「運動 やスポーツが 好き」と答え た児童・生徒 の割合	100%	児童：87.75% 生徒：81.25%	専門的な指導力を備えた指導者 派遣の実施	A	・指導者派遣の拡大 ・運動やスポーツが好きと答 えた児童生徒が令和 5 年度と 比較して増加している。引き 続き増加するように体力向上 事業に関する施策を継続実施 します。	継続	●			●		
91	2. 身体活動 ・運動	2-b. 運動やス ポーツを習慣 的に行う子ど もを増やす	運動部活動指 導協力者派遣 事業	学校教育課	中学校の運動部活動に専門 的技能と指導性を備えた人 材を派遣し、部活動の活性 化と充実を図ります。	部活動指導協 力者の派遣回 数	前年度比派 遣回数増加	2,931 回	部活動指導協力者の派遣	A	部活動指導協力者の継続的な 派遣	継続	●			●		

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い も	女 性	
92	2. 身体活動 ・運動	2-b. 運動やス ポーツを習慣 的に行う子ど もを増やす	とよなか地域 子ども教室	学び育ち支 援課	各小学校区単位で実行委員 会を設置し、週 1 回程度、 土日などの休日や放課後に 子どもたちが地域の大人と 交流しながら、学習やスポ ーツ、文化活動など地域の 特性を活かした取組みを行 います。 放課後子ども総合プランに 基づき、放課後こどもクラ ブと連携し、子どもの居場 所づくりの充実に取り組み ます。	参加児童数	39,000 人	36,678 人	各校区の実行委員会が様々なメ ニユーの教室を実施しました。	B	参加児童数がコロナ禍前の水 準に戻っていません。 学校を通じ、教室の開催状況 についての周知を徹底しま す。 学校運営協議会の場当を活用 し、担い手の発掘・確保に努 めます。	継続	●			●		7-a
93	2. 身体活動 ・運動	2-b. 運動やス ポーツを習慣 的に行う子ど もを増やす	心と体の音楽 遊び	地域連携課	心身の発達を促す音楽療法 「ミュージックケア」を使 い3歳未満の親子を対象に 様々な道具を用いて歌に合 わせて体を動かす遊びを行 います。	人数	180 人	129 人	ミュージック・ケアを通じて音楽 の特性の一部を利用し、子どもの 持っている力を最大限に発揮さ せ、発達の援助を行います。また、 親子で過ごす時間と居場所を提 供す ることで、心身のリフレッシュを 図ります。	A	おおむね来た方全員に満足い ただけています。 音楽遊びでの要である音楽が 飛んでしまったり音源の転換 が遅かったりと気になったこ とがありました。出来るので あれば講師がスピーカーを用 意しているため、毎回使う曲 をきちんと決めておき、携帯 等から Bluetooth で接続して 流せば解決する問題のように 思います。 次年度は今年度同様継続する 予定です。	継続	●		●			
94	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親 しむための環 境づくり・歩 きたくなるま ちづくり	歩道改良整備	基盤整備課	「歩道改良実施計画（令和 3年度改訂版）」に基づき、 市内の主要な道路において 計画的、効率的に歩道改良 整備を実施します。	改良長さ (m)	1,691m	1,691m	計画に基づき、歩道の段差・横断・ 勾配等の改善を図りました。	A	計画に基づき、引き続き歩道 改良を実施します。	継続	●	●	●			
95	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親 しむための環 境づくり・歩 きたくなるま ちづくり	スポーツ施設 情報システム の運用	スポーツ振 興課	スポーツ施設利用の利便性 を図るため、システム（イン ターネット等）を利用し て、利用申込みを行います。	延利用件数	2,000,000 件	2,112,224 件	体育施設利用者の申込みをオン ライン化しています。	A	引き続きシステムを運営し、 スポーツ施設利用の利便性を 図ります。	継続	●	●	●			2-a
96	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親 しむための環 境づくり・歩 きたくなるま ちづくり	体育施設運営 管理	スポーツ振 興課	体育施設の運営管理を指定 管理者制度を導入し行いま す。	定例運営会議 の回数	8 回	8 回	指定管理者の評価・点検、各種調 整業務等を行いました。	A	引き続き、指定管理制度を導 入し、体育施設の運営管理に 努めます。	継続	●	●	●			2-a

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ろ も	女 性	
97	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親しむための環境づくり・歩きたくなるまちづくり	安全安心対策事業	公園みどり推進課	公園施設のバリアフリー化及び改築・更新を行います。	公園数	9 公園	9 公園	9 公園にてバリアフリーに配慮した園路改修や水飲みの置換え、遊具更新を行いました。	A	継続して、公園施設のバリアフリー化及び改築・更新を実施していきます。	継続	●	●	●			
98	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親しむための環境づくり・歩きたくなるまちづくり	公園整備・小改良事業	公園みどり推進課	公園施設の改修を行います。	公園数	8 公園	8 公園	8 公園にて施設の改修等を行いました。	A	継続して、公園施設の改修を実施していきます。	継続	●	●	●			
99	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親しむための環境づくり・歩きたくなるまちづくり	公園維持管理事業	公園みどり推進課	公園樹木の剪定、除草など公園の維持管理を行います。	公園数	478 公園	478 公園	公園樹木の剪定、除草など公園の維持管理を行いました。	A	継続して、公園維持管理を行っていきます。	継続	●	●	●			
100	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親しむための環境づくり・歩きたくなるまちづくり	開発許可制度	公園みどり推進課	開発事業者と帰属公園設置についての協議を行います。	—	—	開発許可により新規に設置された公園はありませんでした。	開発許可により新規に設置された公園はありませんでした。	A	新規の開発案件について、開発事業者と協議を行っていきます。	継続	●	●	●			
101	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親しむための環境づくり・歩きたくなるまちづくり	ふれあい緑地主催事業	公園みどり推進課	たくさんの市民の方に「ふれあい緑地」の存在を知り、愛着を持っていただくことで、ふれあい緑地を拠点とした地域の活性化・地域コミュニティの再生を図り、イベントなどの開催により、憩いの場を提供するものです。	参加者数	1,500 (No.243.244 と併せて)	51 回 2,400 人	自然環境啓発イベントを実施しました。	A	継続して実施していきます。	継続	●	●	●			
102	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親しむための環境づくり・歩きたくなるまちづくり	花畑開放	産業振興課	市内の農地にレンゲの種をまき、開花時に市民が自然とふれあう場の提供及び小学校等の体験学習の場としてレンゲ畑を開放しています。	参加人数	900 人	1,066 人	延べ 17 団体 1,066 人が参加しました。	A		継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価						対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世 代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ ども		女 性
103	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親 しむための環 境づくり・歩 きたくなるま ちづくり	スポーツに親 しめる環境の 整備	学校施設管 理課	学校体育施設を開放するこ とにより、生涯スポーツの 振興を図ります。	—	—	学校教育に支障のない範囲で 学校のグラウンド及び体育館 の開放を実施しました。	学校教育に支障のない範囲で学 校のグラウンド及び体育館の開 放を実施しました。	A	引き続き、学校教育に支障の ない範囲で学校のグラウンド 及び体育館の開放を実施しま す。	継続	●	●	●			2-b
104	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親 しむための環 境づくり・歩 きたくなるま ちづくり	螢池北青少年 運動広場施設 運営	社会教育課	青少年のスポーツ及びレク リエーション活動の促進、 青少年を中心とした交流の 機会を提供します。	利用回数及び 利用者数	利用回数： 280 回 利 用 者： 15,000 人	独占使用の承認を行いました。 ・利用回数：261 回 ・利用者数：14,348 人	青少年のスポーツ及びレクリエ ーション活動の促進、青少年を中 心とした交流の機会を提供しま した。	B	施設の老朽化していることが 課題課題です。 引き続き、青少年のスポーツ 及びレクリエーション活動の 場を提供していきます。	継続	●			●		
105	3. たばこ	3-a. 喫煙をや めたい人がや められる、周 囲の人に吸わ せない	市内禁煙治 療・禁煙サポ ート実施医療 機関調査	健康推進課	禁煙治療・禁煙サポートを 実施する市内の医療機関情 報を提供し、喫煙者の減少 ひいては禁煙環境の整備を 推進します。	受診者数	112 人	124 人	・禁煙治療の実施状況について確 認するアンケート調査を実施し、 掲載の許可をいただけた医療機 関をリスト化して市 HP へ掲載し ました。 ・市 HP 掲載の禁煙治療実施医療 機関へ禁煙支援ノベルティの配 布を行いました。	A	喫煙をやめたい人を禁煙治療 実施医療機関の受診へ確実に つなげるようにします。	継続		●	●			6-b
106	3. たばこ	3-b. 特に健康 への影響が高 い人（20 歳未 満、妊娠婦な ど）が喫煙を しない	たばこの健康 教育	保健安全課	小中学校での喫煙防止教育 を実施します。	—	—	講師派遣依頼無し	—	A	学校薬剤師等が主に当該教育 を実施しているため、必要に 応じて資料等を提供すること で協力していきます。	継続	●			●		
107	3. たばこ	3-c. 受動喫煙 のないまちづ くり	路上喫煙対策 推進事業	美化推進課	路上喫煙禁止区域におい て、周りの人に迷惑となる 路上喫煙を防止し、安全・ 快適な生活環境の確保を推 進します。	①路上喫煙禁 止区域の巡回 数	180 回	193 回 （指導回数 378 回）	市内 11 駅周辺の路上喫煙禁止区 域の巡回パトロールを行い、喫煙 者に対して分煙所内にて喫煙す るよう指導するとともに、路上喫 煙禁止区域の周知啓発を行いま した。	A	路上喫煙禁止区域巡回パトロ ールの実施や灰皿清掃及周边 の清掃を行い、たばこの吸い 殻やポイ捨てなどは減少して いる。1 回あたりの指導人数 は低減傾向にあるため、今後 も路上喫煙禁止区域内の巡回 を継続していきます。	継続		●	●			
108	3. たばこ	3-c. 受動喫煙 のないまちづ くり	受動喫煙に関 する普及啓 発・禁煙表示 の推進	健康推進課	受動喫煙による健康への悪 影響に関する啓発活動や、 学校・医療機関・官公庁施 設・民間施設等での禁煙化 および禁煙表示を推進しま す。	—	—	—	・X(旧 twitter) による健康影響 に関する周知啓発を 4 回行いま した。 ・市管理施設における敷地内全面 禁煙（市以外のものが管理する施 設との共用部分がある施設を除 く）を達成しました。 ・健康危機対策課食品衛生係の協 力のもと、禁煙店に禁煙標識を配 布しました。 ・美化推進課の協力のもと、全 てのこども園・小中学校において 受動喫煙防止対策横断幕の設置が 完了しました。	A	・大阪府受動喫煙防止条例の 努力義務である禁煙標識を、 禁煙の飲食店全てに掲示して いただけるよう周知啓発しま す。 ・こども園・小中学校周辺で の喫煙に関する苦情があるた め、引き続き周知啓発します。	継続	●	●	●			6-b

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い ろ も	女 性	
109	3. たばこ	3-c. 受動喫煙 のないまちづ くり	たばこ施策推 進会議	健康推進課	たばこに関する様々な問題 解決を目的とし、全庁的な たばこ施策について総合的 かつ効果的に推進します。	—	—	1 回	全庁的なたばこ施策について総 合的かつ効果的に推進するた めの情報交換や意見交換を行 いました。	A	問題の即時解決のため、年度 内 1 回の開催から必要であ れば複数回の開催に変更しま す。	継続	●	●	●			6-b
110	4. アル コ ール・薬物	4-b. 特に健康 への影響が高 い人（20 歳未 満、妊産婦な ど）が飲酒を しない	アルコールの 健康教育	保健安全課	小中学校での飲酒防止教育 を実施します。	—	—	講師派遣依頼無し	—	A	学校薬剤師等が主に当該教育 を実施しているため、必要に 応じて資料等を提供すること で協力していきます。	継続	●			●		
111	4. アル コ ール・薬物	4-c. 薬物乱 用、くすりの 不適切な使用 をなくす	薬物乱用防止 啓発事業	保健安全課	学校での薬物乱用防止教室 の開催、健康展など地域の イベントにおける普及啓発 を実施します。	—	—	●薬物乱用防止教室 実施回数：4 回、参加者：121 人 ●市役所第二庁舎で、市販薬に よるオーバードーズ対策及び 薬物乱用防止啓発に関するロ ビー展を実施しました。 ●市内高校と協働で啓発用ク リアファイルを作成し、全市立 中学校の 3 年生を対象に配布 し、啓発を行いました。	学校での薬物乱用防止教室の開 催、健康展など地域のイベントに おける普及啓発を実施しました。	A	市販薬によるオーバードーズ については、使用者だけでは なく、薬局等医薬品販売店に おける濫用等のおそれのある 医薬品の販売方法徹底のため、 販売店を対象とした啓発 も実施していきます。	継続	●	●	●	●		
112	4. アル コ ール・薬物	4-c. 薬物乱 用、くすりの 不適切な使用 をなくす	お薬講座	保健安全課	お薬講座や地域での出前講 座等を通じ、市民に薬の正 しい知識の普及を図ります。 。	—	—	●正しい薬の使い方（出前講 座） 実施回数：2 回、参加者：36 人 ●薬と健康について（街頭キ ャンペーン） 実施数：1 回	お薬講座や地域での出前講座等 を通じ、市民に薬の正しい知識の 普及を図りました。	A	市販薬によるオーバードーズ 等、医薬品による有害事象等 を未然に防止するため、医薬 品の適正使用に関する市民啓 発や医療機関への情報提供を 行っています。	継続	●	●	●			
113	5. 歯や口 の健康	5-a. むし歯 のない子ども を増やす	すくすくよい 歯の教室	おやこ保健 課	生後 8～1 歳 5 か月前後の 乳幼児（の保護者）を対象 に、乳幼児期の歯科保健に 関する知識の普及、啓発を 行います。	人数	—	実施回数：23 回 参加者数：191 人 （オンライン開催含む）	歯科衛生士による個別歯科相談 を実施しました。	A	相談をできる場所として参加 される方が多いため、引き続 き個別相談を実施していきま す。	継続	●			●		
114	5. 歯や口 の健康	5-a. むし歯 のない子ども を増やす	よい歯のコン クール	（一社）豊中 市歯科医師 会	大阪府主催の「全大阪よい 歯のコンクール」の地区審 査会をおやこ保健課と協力 し、3 歳半健診を受診した 幼児と保護者を対象にコン クールを実施しています。	—	—		昨年と同様の規模にて実施で きました。	A	今後も同様に実施したいで す。	継続	●	●		●		
115	5. 歯や口 の健康	5-a. むし歯 のない子ども を増やす	小学校歯の保 健巡回指導	（一社）豊中 市歯科医師 会	児童が歯の健康に関する知 識と関心をもち、歯の健康 の維持と病気の予防を実践 できる能力を身につけるこ とを目的とし、歯科衛生士 専門学校の協力のもと、2 年 サイクルで市立全小学校に 保健巡回指導を実施してい ます。	校数	21 校	21 校	5 年ぶりの実施となりましたが、 従来どおりの校数・内容で実施 できました。	A	今後も同様に実施したいで す。	拡充	●					

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価						対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い ち も		女 性
116	5. 歯や口 の健康	5-a. むし歯の ない子どもを 増やす	食育 コラ ボ みんなでは・ は・は (子どもをとり まく読書環境 整備の取組み)	読書振興課	図書館職員による読み聞かせと 歯科衛生士による子どもの歯の健康 に関するお話を 行う「食育コラボ～みんなでは・は・ は」など、子どもの歯や口の健康に 関する事業を実施しています。図書 館職員による関連本の紹介・展示も 行います。	講座実施回数 (回)	食育コラボ みんなでは・ は・は:7 館	食育コラボ みんなでは・は・は: 6 回	絵本の読み聞かせとおやこ保健課 から歯科衛生士をまねいて、乳幼児 の口や歯の健康についての講話と 質疑応答を行う「食育コラボ みんな では・は・は」を開催しました(東豊 中、岡町、高川、庄内、服部、野畑 図書館各1回)。	A	次年度も「食育コラボ みんなでは・ は・は」を行い、歯科衛生の観点から 食育を推進するとともに、図書館の 利用促進を図ってまいります。	継続	●			●		6-f
117	5. 歯や口 の健康	5-b. 歯周病を 有する人を減 らす	NATS でいい 歯プロジェクト	健康推進課	西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市 の 4 市の歯科衛生士を中心とする 歯科保健担当者が連携し、4 市の 市民がいつまでも健口に食事や会 話を楽しみ、心豊かな生活が送れる ように取組みを展開していきます。	—	—	NATS でいい歯プロジェクト連 絡会開催 5 回	・防災ショート動画を作成し、9/1 の防災の日に 4 市一斉に各市 HP にアップしました。 ・防災リーフレットを作成し各イ ベント等で配布しました。 ・防災をテーマとした吹田市の講演 会を 4 市で配信しました。	A	フロスを啓発する動画や、防災ショ ート動画、各リーフレット等を作成 しましたが、それらを評価する方法 を検討し、今後の展開を考えていき ます。	継続	●	●	●			5-a
118	5. 歯や口 の健康	5-b. 歯周病を 有する人を減 らす	とよなか市民 健康展	(一社)豊中 市歯科医師 会	豊中市医師会・豊中市薬剤師会と ともに主催しています。歯科ブース ではお口と体の健康について啓発 を行っています。	人数	500 人	508	歯科ブースでは新たなコーナーを 増やし、多数の方に体験いただきました。	A	今後もさらに工夫したいです。	拡充	●	●	●			5-c
119	5. 歯や口 の健康	5-c. 口の機能 を正しく獲得 し保持できる 人を増やす	「歯や口の健 康づくり教室」	健康推進課	65 歳以上の市民を対象に、歯や 口の健康づくりについて学びます。 口腔細菌の菌数測定や、口腔機能 を検査や機器で調べます。歯周病 やオーラルフレイルについての指 導や、集団での口腔機能訓練を兼 ねた音楽療法等を行います。	①すべての口腔機能の改善率 ②オーラルフレイルの認知度	①30%以上 ②言葉も内容も知っている群が 40%以上	①各機能の改善率は、咀嚼 26.1%、 嚥下 39.1%、口唇 56.5%、前舌 52.2%、奥舌 56.5% ②オーラルフレイルの言葉も内容 も知っている群が 38.6%	・口腔機能が低下していると判断 された市民に対し、口腔検査や指導 を行い、機能回復や歯科疾患の重症 化予防のための生活習慣の改善に つなげました。 ・受講者に歯周病やむし歯の進行、 口腔機能の低下予防に対する意識 づけを行い、定期的な健康診査の受 診等を勧奨しました。	A	ハイリスク者である対象者の 2 回 目の受講率が低いため、1 回目の 保健指導時に 2 回目受講勧奨を行 います。	継続			●			5-a 5-b 5-d

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ ども	女 性	
120	5. 歯や口 の健康	5-c. 口の機能を正しく獲得し保持できる人を増やす	通いの場への オーラルフレイル教育	健康推進課	とよなかパワーアップ体操 自主グループを対象に歯科 衛生士が出向き、オーラル フレイルの知識や予防対策 について広く周知してい きます。	オーラルフレ イルの認知度	5 言葉も内 容も知って いる 群 が 50%以上	①31 グループ、278 人に実施 ②オーラルフレイルの言葉も 内容も知っている群が 42.8%	・ 自主グループ宛てに希望を募 り、希望のあった自主グループに 歯科衛生士が出向いて、オーラル フレイルに関する説明や予防方 法などを講話、実習しました。 ・ 更に、受講者が得た知識の普及 啓発を各自のコミュニティで展 開しました。	A	引き続きオーラルフレイルの 周知と啓発に努めるととも に、自覚の少ないオーラルフ レイルに気づく機会の拡大に 努めます。	新規			●			5-a 5-b 5-d
121	5. 歯や口 の健康	5-d. かかりつ け歯科医をもち、定期的な 歯科健診を受ける人を増やす	歯 科 健 康 診 査・妊産婦歯 科健康診査	健康推進課	市民に対し、歯科医院など で歯科健康診査を実施して います。	①歯科健診診 査受診率 ②妊産婦歯科 健康診査受診 率	①— ②40%	①3.6% ②30.7%	豊中市歯科医師会等と委託契約 を締結し、医療機関での個別健診 を実施しました。 未受診勧奨の個別通知、SNS やチ ラシを用いた啓発を実施しまし た。	A	引き続き個別健診や受診勧奨 を実施します。未受診勧奨に ついては、R6 年度の評価・分 析を実施し、評価内容を活用 した通知発送を実施します。	継続	●	●	●		●	6-b
122	5. 歯や口 の健康	5-d. かかりつ け歯科医をもち、定期的な 歯科健診を受ける人を増やす	よい歯の高齢 者 8020 表彰	(一社)豊中 市歯科医師 会	80 才以上で 20 本以上自分 の歯がある市民を表彰して います。	—	—	応募者 201 名	今年も多数のご応募をいただき、 表彰は式典と郵送によっておこ ないました。	A	今後も同様に実施したいで す。	継続			●			
123	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-a. けんしん を受け、自分 の健康状態に ついて把握し ている人を増 やす	就学時健康診 断	学務保健課	就学予定者の心身の状況を 把握し、入学後の学校生活 の円滑な実施に資するた め、就学時の健康診断を実 施します。	受診率	100%	98.7%	承諾のあった対象者については、 就学前施設での定期健康診断の 結果を活用しました。未就園児や 希望者等については、計 8 回の集 団健診を実施しました。未受診者 には市立豊中病院で健診を実 施しました。	A	令和 2 年度より感染症予防対 策の一環として就学前施設で の健康診断結果について提供 を受けていましたが、団体と の協議の結果、令和 7 年度よ り提供を受けないこととな りました。よって、次年度より 集団健診のみとし健康診断を 希望する者に対して健康診断 を実施します。	継続	●			●		5-a
124	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-a. けんしん を受け、自分 の健康状態に ついて把握し ている人を増 やす	児童生徒の健 康管理	学務保健課	児童生徒の健康の保持増進 を図り、学校教育の円滑な 実施とその成果の確保に資 するため、毎学年定期に健 康診断を実施します。	学校数	豊中市立学 校全校	55 校(全校)	児童生徒の健康の保持増進を図 り、学校教育の円滑な実施とそ の成果の確保に資するため、毎学 年定期に健康診断を実施しました。	A	未受診者への受診勧奨。受診 可能機関の拡大。	継続	●			●		5-a

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ち も	女 性		
125	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-a. けんしん を受け、自分 の健康状態に ついて把握し ている人を増 やす	特 定 健 康 診 査 ・ 特 定 保 健 指 導	健康推進課	市の国民健康保険加入者対象の健康診査および保健指導を行っています。健診の内容は市民健診と同様です。	①特定健診受 診率 ②特定保健指導実施率	①35.0% ②35.0%(データヘルス 計画より)	①29.3% ②21.7% (法定報告より)	豊中市医師会等と委託契約を締結し、医療機関での個別健診を実施しました。未受診勧奨通知の発送や医療機関からの未受診勧奨、国保加入窓口等でのチラシ配布を実施しました。 健診医療機関に対して特定健診結果説明時の保健指導同日実施の協力依頼の実施や、公募型プロポータルにて次年度以降の保健指導や未利用者勧奨業務の委託業者を選定しました。	A -	引き続き特定健診及び特定保健指導に係る環境整備や受診勧奨を実施します。 特定健診未受診勧奨については、R6 年度の評価・分析を実施し、評価内容を活用した通知発送を実施します。 特定保健指導については、LINE での申し込みや、キャンピングカーの活用、オンライン面談の活用等、利用しやすい環境づくりを行います。	継続		●	●				1-b 4-a 6-b
126	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-a. けんしん を受け、自分 の健康状態に ついて把握し ている人を増 やす	市民健康診査	健康推進課	市民への健康診査を実施しています。 (内容) 身体測定・血圧測定・尿検査・血液検査・医師診察	—	—	受診者数：2,354 人	豊中市医師会等と委託契約を締結し、医療機関での個別健診を実施しました。	A -	引き続き医療機関での個別健診を実施します。	継続	●	●	●				
127	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-a. けんしん を受け、自分 の健康状態に ついて把握し ている人を増 やす	がん検診	健康推進課	市民への各種がん検診を実施しています。 (内容) 大腸がん・胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん・前立腺がん	—	—	【各検診受診者数】 大腸がん：22,909 人 胃がん：3,782 人 肺がん：15,312 人 乳がん：5,961 人 子宮がん：10,910 人 前立腺がん：9,211 人	豊中市医師会等と委託契約を締結し、医療機関での個別検診を実施しました。 個別の未受診勧奨通知の発送やけんしん会場や各種イベントでのチラシ配布等を実施しました。	A -	引き続き医療機関での個別検診や未受診勧奨通知発送、チラシ配布を実施します。 未受診勧奨通知については、R6 年度の評価・分析を実施し、評価内容を活用した通知発送を実施します。	継続		●	●		●		
128	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-a. けんしん を受け、自分 の健康状態に ついて把握し ている人を増 やす	保健事業（疾病予防費）	保険給付課	人間ドック・脳ドックの費用の 7 割を助成します。 国民健康被保険者の健康の保持・増進を支援するための事業。	—	—	人間ドック：2,055 件 脳ドック：115 件 セット：834 件	国民健康保険被保険者が受診した人間ドック・脳ドック費用の 7 割を助成しました。	A	次年度も継続して実施します。	継続		●	●				
129	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-a. けんしん を受け、自分 の健康状態に ついて把握し ている人を増 やす	介護保険制度等の啓発	長寿社会政策課	介護保険制度パンフレット等の作成・配布、地域説明会の開催などにより、介護保険制度等の啓発を行います。 パンフレット「やさしい介護と予防」に市民健診など、健康に関する事業を掲載しています。	—	—	パンフレット「やさしい介護と予防」20,000 部発行 地域説明会 7 回実施（205 人参加）	「やさしい介護と予防」市内公共施設に設置。 市民等に介護保険制度の内容を説明し、理解と協力を得るために開催。	A	介護保険制度の周知をより効果的に図るため、地域説明会の開催に注力し、理解促進を強化してまいります。	継続			●				6-c

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ ども	女 性	
130	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣 病を発症しな い・重症化さ せない	被保護者健康 管理支援事業	福祉事務所	生活保護受給者等で日常生活において健康管理が困難な者に対する病状の把握と、生活習慣や通院・服薬に関する助言・指導等を行うとともに、適切な制度の活用を促すことにより、被保護者の生活の質の向上と健康寿命の延伸を図ります。 令和 3 年 1 月から必須事業化された「被保護者健康管理支援事業」に基づき、生活保護受給者等への生活習慣病対策を進めます。 【ア】健診受診勧奨事業 【イ】医療機関受診勧奨事業 【ウ】保健指導 【エ】重症化予防 【オ】頻回受診対策	【ア】市民健診受診割合・各がん検診受診割合 【イ】市民健診要医療者（生活習慣病に限る）の治療開始割合 【ウ】①「子どもフェイスシート」の実施数 ②積極的支援・動機づけ支援のプログラム実施数 ③フレイルチェック実施数 ④健康管理支援員による個別支援の支援目的達成割合 【エ】糖尿病重症化予防に向けたプログラム実施数 【オ】頻回受診改善割合	【ア】市民健診：8.0%以上 がん検診：一般と同等 【イ】100% 【ウ】①100% ②5人 ③ ④ 95%以上 【エ】2人 【オ】100%	【ア】市民健診：6.8% がん検診：大腸がん 5.9% 肺がん 3.9% 胃がん 2.0% 子宮がん 6.7% 乳がん 3.1% 【イ】69.2% 【ウ】①53.5% ②3人 ③実施済、返信率 46.5% ④90.6% 【エ】3人 【オ】81.0%	【ア】全世帯へ健診受診勧奨チラシを送付しました（年 4 回）。新規生活保護開始者へ対面等による健診受診勧奨を行いました。また、ターゲット層（30 歳になる年度生まれ対象）へ詳細な受診先の紹介をした文書を送付しました。 【イ】市民健診で「要医療」となった被保護者のうち、未受診者に対して受診勧奨を実施しました。 【ウ】各ライフコースに応じた実態調査と保健指導を実施しました。 【エ】糖尿病治療中の被保護者に対して重症化予防プログラムの実施を行いました。 【オ】頻回受診者に対し、適正受診指導を行いました。	A	健康課題がある被保護者の割合は高いため、引き続き健康管理支援事業を展開していきます。特に、生活習慣を獲得する世代（子ども）からの保健指導を強化します。	拡充	●	●	●	●	●	4-a 6-a 6-c 6-d 6-f
131	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣 病を発症しな い・重症化さ せない	健康教育（成人保健）	健康推進課	健康に関する講座などの教育事業です。出前講座・健康づくり推進員主催講座・老人会・地域のサロンなどに専門職（保健師・歯科衛生士・栄養士）が出向き啓発を行います。職種により健康・口腔・栄養などの内容で実施しています。	—	—	1,774 人	出前講座・内臓脂肪測定会・地域のサロンなどで専門職（保健師・歯科衛生士・栄養士）が講座をひらき、予防啓発活動を行いました。	A	引き続き啓発媒体を活用しながら健康教育を実施し啓発活動を行います。	継続		●	●			1-b 4-a 5-b
132	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣 病を発症しな い・重症化さ せない	健康相談（成人保健）	健康推進課	健康に関する相談事業です。 電話や面接などで専門職（保健師・歯科衛生士・栄養士）が相談に応じます。	—	—	4,443 人	電話や面接などで専門職（保健師・歯科衛生士・栄養士）が健康に関する相談に応じました。相談内容に応じて担当部署につなぐなどして対応しました。	A	引き続き健康に関する相談に応じます。また、専門職や担当部署につなぎ対応します。	継続		●	●			1-b 5-b
133	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣 病を発症しな い・重症化さ せない	訪問指導事業（成人保健）	健康推進課	健康に関する訪問指導事業です。 専門職（保健師・歯科衛生士・栄養士）による生活習慣病予防や介護予防などの指導を行います。	—	—	6 人	専門職（保健師・歯科衛生士）が訪問し、生活習慣病予防や口腔衛生指導を行いました。	A	引き続き健康に関する訪問指導を行います。	継続		●	●			1-b 5-b

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ ども	女 性		
134	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣 病を発症しな い・重症化さ せない	糖尿病性腎症 重症化予防事 業	健康推進課	Ⅱ型糖尿病で糖尿病性腎症 病期 2～3 期の対象に新規 透析に至らないよう病態を 維持、改善できるよう主治 医の指示の下、栄養指導を 主とした生活習慣改善指導 や療養支援を実施していま す。	指導対象候補 者の指導実施 率（データハ ルス計画よ り）	16%	8.7%	Ⅱ型糖尿病で腎症病期 2～3 期の 対象者に新規透析に至らないよ う病態を維持、改善できるよう主 治医の指示の下、栄養指導を主と した生活習慣改善指導や療養支 援を実施しました。	A-	対象者抽出方法と参加者数に 課題があります。R6 年度は指 導対象候補者が増えたこと で、参加者が 19 人と微増しま したが、指導実施率が低下し ました。R7 年度は対象者抽出 条件を精査し、参加者が増え るよう、引き続き医療機関連 携・市民啓発に努めます。	継続			●	●			
135	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣 病を発症しな い・重症化さ せない	食育プラスワ ンシートの活 用	(一社)豊中 市薬剤師会	①血糖値が気になる人のた めのプラスワンシート ②血圧が気になる人のため のプラスワンシート ③コレステロールが気にな る人のためのプラスワンシ ート ④健康増進のためのプラス ワンシート ①～④を市内 87 薬局（薬剤 師会会員店舗）に設置する デジタルサイネージに掲載 し、内容を閲覧した市民か らの相談に薬剤師が即時対 応できる体制を整えていま す。	即時対応	市民からの 相談・アド バイスにお 応えするこ と	デジタルサイネージを設置し ている 87 薬局では開局時間内 であれば、市民はいつでもこの 情報を確認することができ、必 要があれば薬剤師に相談でき ます。	情報に接した市民がさらに具体 的な相談をしたいと考えた時に、 その場で薬剤師が対応していま す。	A-	多くの患者様が来局されてい るときにはお一人お一人への 対応時間を十分にとることが できない可能性がありますが一 引き続き即時に薬剤師に相談 できるという利点を活かして いきたいと考えます。	継続			●	●			
136	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣 病を発症しな い・重症化さ せない	健康講演会	一般財団法 人豊中市医 療保健セン ター	生活習慣病やがん等、疾病 や予防に関する医師等の講 演を行っています。	人数	対面講演会 実施回数 3 回 参 加 人 数 120 人 オンライン 講演会 実施回数 3 回 視 聴 人 数 180 人	対面講演会 実施回数 3 回 参加人数 155 人 オンライン講演会 実施回数 3 回 視聴人数 2,243 人	市民が医師など専門家による正 しい情報を得る場を提供してい ます。	A	参加者の年齢層が高齢に偏っ ているため、幅広い年齢に参 加してもらえよう、内容の 周知活動を行いたい。リピー ターにとどまらず、新規受講 者の拡大に繋がるよう、旬の テーマを取り上げていきたい です。	継続	●	●	●				4-a 6-c

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価						対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い ろ も		女 性
137	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣 病を発症しな い・重症化さ せない	電話・面接健康相談	一般財団法人豊中市医療保健センター	(団体自主事業) 電話もしくは面接で、健康に関する相談に対応しています。相談の対応は、医師会・歯科医師会及び薬剤師会の会員が行い、食育や口の健康に関する内容も相談できます。市民健康展会場での相談では、栄養相談の窓口も設けています。	件数	8 科目健康相談 実施回数 5 回 相談件数 65 件 14 科目健康相談 (市民健康展にて実施) 実施回数 1 回 相談件数 150 件	8 科目健康相談 実施回数 5 回 相談件数 41 件 14 科目健康相談 (市民健康展にて開催) 実施回数 1 回 相談件数 68 件	医師・歯科医師・薬剤師などの専門家が直接相談に応じます。	A	科目によって相談件数に偏りがあるので、均等に相談してもらえるよう、チラシなどを活用し、周知・広報活動を実施していきます。リビート利用してもらえるよう、アンケートの満足度を高めていきたいです。	継続	●	●	●			1-b 5-b
138	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣 病を発症しな い・重症化さ せない	健康づくり推進員会事業	一般財団法人豊中市医療保健センター	健康講演会、校区健康教室を開催し、市民の健康に関する知識等の周知啓発活動を行っており、市が行う保健福祉等に関する事業を市民の立場から支援しています。	人数	校区健康教室 参加人数 700 人 校区健康づくりサポート事業 参加人数 5,235 人 全市事業 参加人数 3,500 人 全市事業 参加人数 200 人	校区健康教室 参加人数 753 人 校区健康づくりサポート事業 参加人数 5,235 人 全市事業 参加人数 204 人	イベントの企画・開催、各種検診の推進、校区健康教室の実施など幅広く健康に係る活動を通じて、市民の健康管理意識の高揚と健康増進事業を行っています。	A	担い手の高齢化と後継者不足が課題であるが、座学の講演会だけでなく、大道芸人による笑い与健康を題材にした講演会など目新しい企画で、幅広い世代にアピールし、新規会員の獲得を目指します。また、保健所主催のイベント等に参加し、豊中市の健康施策に寄与します。	継続	●	●	●			1-b 2-a 6-a 7-a
139	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣 病を発症しな い・重症化さ せない	個人栄養食事指導事業	市立豊中病院栄養管理部	医師の指示による、疾病別の個人栄養食事指導を実施しています。	人数	2,370 件	1,797 件	医師の指示のもと個人に即した栄養食事指導を実施しました。	B	引き続き必要に応じて、医師の指示のもと個人に即した栄養食事指導を実施していきます。	継続	●	●	●			
140	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣 病を発症しな い・重症化さ せない	糖尿病教室	市立豊中病院栄養管理部	糖尿病の進展予防について、医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、理学療法士、臨床検査技師と共に、糖尿病教室を 5 回シリーズで開催しています。	—	—	開催回数：50 回、参加人数：167 名	「糖尿病の食事療法」の講義を実施しました。	A	引き続き「糖尿病の食事療法」の講義を実施していきます。	継続		●	●			
141	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣 病を発症しな い・重症化さ せない	とよなか倶楽部 (糖尿病患者の会)	市立豊中病院栄養管理部	糖尿病患者会の活動を通じて、医師等と共に糖尿病の知識等の啓発を行ったり、患者間の交流の場を提供しています。	—	—	・糖尿病センターと共催で糖尿病講演会(市民向け)を実施。 ・食事会(外食時の食事の調整について説明、ミニレクチャー「フットケアについて」)を実施。	総会・講演会は前年同様集合型で実施し、患者同士の交流や糖尿病への理解を深めていただきました。	A	引き続き、継続可能な事業を実施し、糖尿病への理解を深めていただけるよう活動していきます。	継続		●	●			
142	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣 病を発症しな い・重症化さ せない	糖尿病透析予防指導	市立豊中病院栄養管理部	糖尿病腎症患者に対し、透析導入を予防するためにチーム医療(医師、看護師、栄養士)で指導を行っています。	—	—	開催回数：6 回、人数：12 名	透析導入を予防するための食事療法について指導を実施しました。	A	引き続き透析導入を予防するための食事療法について指導を実施していきます。	継続		●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価						対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い ち も		女性
143	6. 疾病予防・ 健康管理	6-b. 生活習慣病を発症しない・重症化させない	慢性腎臓病教室	市立豊中病院栄養管理部	医師と栄養士が各々「腎臓の働きと慢性腎臓病について」「慢性腎臓病の食事療法の実際」の講義を担当しています。	—	—	開催回数：2 回、参加人数：9 名	「慢性腎臓病の食事療法の実際」の講義を実施しました。	A	引き続き「慢性腎臓病の食事療法の実際」の講義を実施していきます。	継続		●	●			
144	6. 疾病予防・ 健康管理	6-c. 生活機能の維持・向上	フレイル啓発事業	健康推進課	パンフレットや SNS を活用し、市民にフレイルについて周知啓発することで認知度を高め、運動・栄養・健口・つながりのフレイル予防に向けた行動変容を促します。	フレイルの認知度	35%	38%	市民向けに LINE で「健康に関するアンケート」を実施し、市民の健康意識やフレイルの認知度等についてアンケートをとった。またフレイルパンフレットやフレイルチェック票を活用しながら、イベントや健康教育等でフレイルやその予防行動について周知啓発を行いました。	A	引き続きパンフレットや SNS、フレイルチェック票を活用しながら、啓発する機会も増やしていき、更なる周知啓発に努めます。	継続	●	●	●			1-b 2-a 5-c 7-a 7-b
145	6. 疾病予防・ 健康管理	6-c. 生活機能の維持・向上	働く世代からの認知症予防事業（認知症リスク因子の予防）	健康推進課	予防可能な危険因子が中年期の難聴や高血圧、肥満など、生活習慣病や生活行動に関わることでことから、市民特に働く世代（中年期 40～50 代）および若年層（20～30 代）に向け、認知症危険因子など認知症にかかる正しい知識を知ってもらい、リスクを軽減できるよう生活改善の方法や認知症への理解を深めてもらうとともに、健康増進への意識を高め、生活習慣の改善など行動変容を促すための効果的な周知啓発を行います。 VR（バーチャルリアリティ）機材を活用した認知症体験イベントや市民向け講演会等を実施します。	—	—	—	VR 認知症体験イベントを 7～12 月にかけて計 16 回実施しました。また、11/17 に、大阪大学大学院教授を招き市民向け講演会を実施しました。 そのほか、市 HP、SNS 等で動画等を活用して周知啓発を行いました。	A	VR 認知症体験イベントについては引き続き実施するとともに、より多くの市民に周知啓発できるようパンフレットの配布や SNS 等を活用して周知啓発を図ります。	継続		●	●			
146	6. 疾病予防・ 健康管理	6-c. 生活機能の維持・向上	ヒアリングフレイル事業	健康推進課	ヒアリングフレイルに関する啓発、聴こえのチェックを含め予防イベントの実施、耳鼻科・補聴器専門店、言語聴覚士等関係機関と連携したフォローアップ体制の構築を進めています。	参加人数	—	主催イベント：127 名 他部署ブース：200 名 サポーター養成講座：27 名	啓発として主催イベントを 6 回、他部署ブースで 2 回、出前講座を 6 回。ハイリスク者や耳鼻科から紹介の人向け脳活教室を 3 回。ヒアリングフレイルサポーター養成講座を 1 回。その他、関係機関との連携会議やワーキングチーム、研修等を実施しました。	A	ヒアリングフレイルの認知度を上げるため市民への啓発を継続。イベント等で受診勧奨をしても、耳鼻科受診や補聴器使用につながる人が少ないため、紹介状を作成し、受診率増加を目指します。 補聴器以外の聴覚支援機器の啓発も必要です。聴こえ専門 ST が少ないため、市主催の研修を計画しています。	継続		●	●			6-d

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い ろ も	女 性	
147	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能 の維持・向上	骨粗しょう症 検査	健康推進課	40～70歳の節目年齢の女性 を対象に、個別の医療機関 で骨密度測定を行っています。 ○エックス線での測定 ○超音波によるかかとの測 定	—	—	受診者数：1,521 人 (R7.5.13 時点)	豊中市医師会等と委託契約を締 結し、医療機関での個別検診を実 施しました。 女性のがん検診（乳がん検診、子 宮がん検診）を実施している医療 機関を含め、啓発ポスターの掲示 を依頼しました。	A ⁺	引き続き医療機関での個別検 診や未受診勧奨通知発送を実 施します。	継続		●	●		●	7-c
148	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能 の維持・向上	熱中症対策	健康推進課	環境省等からのポスターデ ータ等を活用し、暑熱順化 や熱中症の予防行動等の啓 発を市 HP や SNS 等で周知 します。 また、大塚製薬と連携し、 熱中症啓発ポスターを作成 して公共施設等に掲示しま す。	—	—	—	保健所 X で熱中症予防啓発動画を 計 5 回発信しました。保健所 1 階 の掲示ブースで 7 月の間、熱中症 予防にかかる啓発物を掲示しま した。また熱中症特別警戒情報の 新設に伴い、市 HP も更新しま した。ERCA 主催の熱中症にかか る研修に参加しました。	A	引き続き SNS や保健所 1 階で の周知啓発及び研修の受講を 継続していきます。また環境 省作成の啓発リーフレットを 印刷し、夏場にかけて他事業 でイベントを出展する際に啓 発リーフレットの配布を依頼 し、より多くの市民に熱中症 予防についてアプローチでき るよう努めます。	継続	●	●	●			
149	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能 の維持・向上	がん患者のた めのアビアン スケア助成	健康推進課	がんと診断され、がん治療 を受けた又は現に治療を受 けている者に対し、ウィッ グや乳房補整具の購入費用 について助成金を交付しま す。	—	—	・申請件数 (ウィッグ) 169 件 (乳房補整具) 63 件 ・申請金額 (ウィッグ) 3,326,470 円 (乳房補整具) 1,167,581 円	市 HP への掲載、チラシ・ポスタ ーの配布（医療機関、自治会掲示 等）、SNS (X、Instagram) での周 知を実施しました。	A ⁺	引き続き SNS やチラシ・ポスタ ーでの周知啓発を継続して いきます。	継続	●	●	●			
150	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能 の維持・向上	骨髄バンクド ナー支援助成	健康推進課	骨髄又は末梢血管細胞の提 供を完了した者（「ドナー」 という）及びドナーが所属 する事業所の事業主に対 し、助成金を交付します。	—	—	・申請件数：3 件 ・申請金額：420,000 円	市 HP への掲載、チラシ・ポスタ ーの配布（医療機関、自治会掲示 等）、SNS (X、Instagram) での周 知を実施しました。 第一庁舎 1 階にて骨髄バンクドナ ー展示会（2024.10.1～10.31）を 実施しました。	A ⁺	引き続き SNS やチラシ・ポスタ ーでの周知啓発、10 月の骨 髄バンク推進月間に合わせた 展示会をを継続していきま す。また、若年層に向けた啓 発も実施します。	継続	●	●	●			
151	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能 の維持・向上	難病事業（個 別援助）	医療支援課	難病患者等の QOL の向上の ために、面接や訪問等で療 養生活上の支援を行いま す。	—	療養相談件 数 3,200 件	療養相談件数：延 2,839 件	保健師等が訪問、面接、電話で相 談に応じています。	A ⁺	訪問、面接、電話等で難病患 者の多様なニーズを把握し、 個別支援の充実を図ります。	継続	●	●	●			
152	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能 の維持・向上	難病事業（集 団援助）	医療支援課	難病患者等が疾病の正しい 知識をもち、よりよい療養 生活を送るために、講演会 の開催や交流会の支援を行 います。	—	—	4 回	北ブロック保健所（池田・茨木・ 吹田市・高槻市・豊中市）で協力 し、患者及び家族向け講演会を開 催しました。	A	難病患者等が疾病の正しい知 識をもち、よりよい療養生活 を送るために、北ブロック保 健所で協力し、講演会を開催 します。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ろ も	女 性	
153	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能 の維持・向上	難病事業（地 域ケアシステ ムの構築）	医療支援課	医療・保健・福祉等の関係 機関と、連携会議や、研修 会を通して、機関相互の連 携を深め、難病患者支援シ ステムの質の向上に努めま す。	—	—	・ 難病事業支援対策会議事務 局会議：1 回、難病事業検討会 議：1 回 ・ 大阪北部地域神経難病ネ ットワーク会議：1 回、研修会： 1 回 ・ 医療機関連携会議：2 回 ・ 関係機関向け研修会：2 回	・ 難病事業支援対策会議事務局会 議、難病事業検討会議を実施しま した。 ・ 北部地域の保健所（池田・吹田 市・豊中市）で大阪北部地域神経 筋難病ネットワーク会議および 研修会を開催しました。 ・ 医療機関との連携として、市立 豊中病等と連携会議を開催しま した。 ・ 関係機関向け研修会を 2 回開催 しました。	A	関係機関との連携により医療 提供体制や療養生活支援体制 の充実に取り組みます。	継続	●	●	●			
154	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能 の維持・向上	難病事業（医 療費助成）	医療支援課	指定難病等の医療費助成事 業の申請受付事務を行いま す。	—	—	新規申請：661 件 変更申請：1,011 件 更新申請：3,602 件	指定難病等の医療費助成事業の 申請受付事務を行いました。	A	引き続き、円滑な申請受付進 達業務の遂行に努めます。	継続	●	●	●			
155	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能 の維持・向上	地域保健医療 等申請受付進 達業務	医療支援課	肝炎医療費助成、石綿健康 被害救済給付、被爆者援護 事業に係る申請受付進達業 務を行います。	—	—	肝炎医療費助成：364 件 石綿健康被害救済給付：1 件 被爆者健康診断受診者：第 1 回 （6 月）対象者 191 人中 28 人、 第 2 回（10 月）対象者 191 人中 30 人	肝炎医療費助成、石綿健康被害救 済給付、被爆者援護事業に係る申 請受付進達業務を行いました。	A	引き続き、円滑な申請受付進 達業務の遂行に努めます。	継続	●	●	●			
156	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能 の維持・向上	自立訓練	障害福祉課	地域生活を希望する障害者 が、自立した日常生活又は 社会生活を営むことができ るよう、身体機能又は生活 能力の向上のために必要な 訓練その他の便宜を行いま す。	—	—	利用者数：延 685 人	地域生活を営むうえで必要とな る身体機能、生活能力の維持・向 上を図る必要がある障害者に支 援決定をしました。	A	引き続き必要な障害者が訓練 等を受けられるように支援し ます。	継続	●	●	●			
157	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能 の維持・向上	診察・看護・訓 練（児童発達 支 援 セ ン タ ー）	おやこ保健 課	障害や発達に課題のある子 どもの心身機能の医学的な 見立てを行うことにより、 医学的リハビリテーション の実施や専門医療機関の紹 介等適切な治療につなげて いきます。	—	—	毎日実施	診察・看護・訓練を実施しました。	A	引き続き事業を実施していき ます。	継続	●			●		

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ろ も	女 性	
158	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能 の維持・向上	保健事業 （保健衛生普 及費）	保険給付課	被保険者に医療費をお知らせする医療費通知や、被保険者の健康増進を図るためのプールなどの公的体育施設の利用料を補助する、はつらつ健康事業等を行います。 国民健康被保険者の健康の保持・増進を支援するための事業です。	—	—	はつらつチケット交付者数：927 人	国民健康保険被保険者からの申請により、はつらつチケットを交付しました。	A	次年度も継続して実施します。	継続	●	●	●			
159	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能 の維持・向上	重度障害者医療費助成事業	保険給付課	重度身体障害者などに対し医療費の一部を助成します。 重度身体障害者などの健康の保持及び福祉の増進を図る事業です。	—	—	件数：196,719 件 助成額：767,032,546 円	・申請に基づき対象者に対し医療証の交付及び医療費の助成を行いました。	A	医療費の一部を助成し、安心して医療を受ける環境を整えることにより、受診機会の多い重度障害者の経済的負担を軽減できており、今後も事業を継続します。	継続	●	●	●			
160	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能 の維持・向上	図書館活動・ すべての人への 資料提供事業	読書振興課	暮らしの課題解決支援サービスの一つとして、岡町図書館に医療・健康情報コーナーを設置し、市民の身近な施設、図書館において、医療や健康に関する情報提供を行っています。また医療や健康に関する講座、健康レクチャーを関係各課と連携し実施するとともに、関連の講座で資料の貸出やバスファインダーによる情報等を提供しています。	講座実施図書館数	認知症サポーター養成講座 実施 図書館 4 館	認知症サポーター養成講座 実施図書館 5 館	認知症サポーター養成講座を長寿安心課、豊中市キャラバン・メイト連絡会と共催しました。千里図書館・東豊中図書館・野畑図書館・庄内図書館・岡町図書館を会場に実施しました。	A	次年度も認知症サポーター養成講座を地域館規模の図書館（千里・野畑・庄内・岡町）をメイン会場に、前向きに実施する方向で検討したい思います。また、認知症サポーター養成講座に限らず、健康レクチャーを関係各課と連携して実施し、関連資料の貸出による情報提供を目指します。岡町図書館の医療・健康情報コーナーをはじめ、市内各図書館の同分野の資料の充実、図書館の使命として最優先で取り組みます。	継続	●	●	●	●	●	7-a
161	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-d. 地域で適切に受診する 人を増やす	認知症医療体制の充実・強化	医療支援課	かかりつけ医を起点として認知機能低下の気づきを早期に把握し、適時適切に介護予防・福祉サービス等切れ目のない支援につなぐ仕組みを構築します。	—	—	かかりつけ医の相談先となる認知症相談医を市内に 10 名配置しました。	認知症の早期発見・早期対応のため、かかりつけ医の相談先となる認知症相談医を市内に配置するなど、かかりつけ医の機能強化に向けた取組みを実施しました。	A	認知症相談医の配置に関するかかりつけ医への周知や、今後の認知症医療施策に関する関係者による意見交換会を実施します。	継続		●	●			
162	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-d. 地域で適切に受診する 人を増やす	在宅医療体制の充実	医療支援課	市医師会等の関係団体と連携し、在宅でも希望した医療を受けられる体制の構築に取り組んでいます。	—	—	在宅医療に必要な連携の拠点である市と市医師会が協働し、豊中市在宅医療連携会議を立ち上げ 2 回開催しました。	今後の医療需要増大に備え、豊中市在宅医療連携会議を開催し、持続可能な在宅医療提供体制の強化に取り組みしました。	A	次年度も引き続き、豊中市在宅医療連携会議を開催し、在宅復帰・通院困難時等の新規患者受入体制の整備等に取り組みます。	拡充	●	●	●			
163	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-d. 地域で適切に受診する 人を増やす	ACP 啓発事業	医療支援課	ACP 啓発のために開発したツールを用い、より幅広い年齢層の市民に対する啓発に取り組めます。	—	—	ACP 啓発のために開発したエンディングゲームを活用したイベントや出前講座を実施しました。要綱を定め、エンディングゲームの貸出しを開始しました。	ACP について気軽に話し合うきっかけとなることを目的として、エンディングゲームの貸出しや出前講座を実施します。	A	次年度も引き続き、エンディングゲームの貸出しや出前講座を実施します。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い も	女性	
164	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-d. 地域で適切に受診する 人を増やす	地域保健等諸 活動団体支援 事業	保健安全課	豊中市医師会、豊中市歯科 医師会、豊中市薬剤師会、 豊中精神保健福祉協議会、 豊中公衆衛生協力が地域 のために行う保健・医療・ 福祉の連携、健康教育、健 康情報の発信、会員の資質 向上等の活動に係る経費の 一部を補助します。	—	—	【補助実績】 豊中市医師会 7,071 千円、豊中 市歯科医師会 2,992 千円、豊中 市薬剤師会 1,109 千円、豊中精 神保健福祉協議会 151 千円、豊 中公衆衛生協力が 80 千円	左記団体が地域のために行う保 健・医療・福祉の連携、健康教育、 健康情報の発信、会員の資質向上 等の活動に係る経費の一部につ いて補助を行いました。	A	地域保健の向上に資するよう 引き続き事業を実施します。	継続	●	●	●			
165	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-d. 地域で適切に受診する 人を増やす	二次救急医療 対策事業	保健安全課	豊能圏域（豊中市・吹田市・ 箕面市・池田市・豊能町・能 勢町）における二次救急医 療体制の円滑な運営および 整備を図ります。	—	—	—	救急告示病院 21 病院による病院 群輪番制事業を実施しました。ま た、救急告示病院のうち小児科を 標榜する5病院による小児医療支 援事業を実施しました。	A	地域医療の向上に資するよう 引き続き事業を実施します。	継続	●	●	●			
166	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-d. 地域で適切に受診する 人を増やす	豊能広域こど も急病センタ ー負担金	保健安全課	豊能圏域（豊中市・吹田市・ 箕面市・池田市・豊能町・能 勢町）における休日夜間等 における小児一次救急の拠 点としての豊能広域こども 急病センターの円滑な運営 を行います。	—	—	—	豊能圏域における休日夜間等 における小児一次救急の拠点とし ての豊能広域こども急病センタ ーの円滑な運営を行いました。	A	地域医療の向上に資するよう 引き続き事業を実施します。	継続	●			●		
167	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-d. 地域で適切に受診する 人を増やす	フレイル処方 箋事業	健康推進課	後期高齢者医療健診での質 問票（フレイルチェック） を活用し、フレイル処方箋 というツールを用いて、医 療機関が把握する介護予防 が必要な高齢者を地域（包 括）につなぐ取組みです。	協力医療機関 数	—	・協力医療機関を 35 機関に拡 大し、計 161 名に処方箋を発 行。	協力医療機関を拡大するため、後 期高齢者健診実施医療機関に個 別訪問を実施しました。	A	協力医療機関のある圏域に処 方箋発行者が偏る傾向があ る。協力医療機関の少ない圏 域を重点的に個別訪問を行 いました。	継続			●			6-c
168	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-d. 地域で適切に受診する 人を増やす	外国人向け健 康セミナー	人権政策課	年 1 回、健康に関するテー マの学習会および無料健康 相談会を開催しています。	回数	1 回	1 回	今年は性教育をテーマに実施し ました。	B	講座を開催しても参加する人 数は限られるため、外国人が 集まる他事業にでかけて行っ て情報提供するなど工夫をし たいです。	継続	●	●	●			
169	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-d. 地域で適切に受診する 人を増やす	外国人のため の多言語相談 サービス事業	人権政策課	地域の外国人が安心して生 活できるよう、健康や受診 に関する相談にも対応して います。10 言語対応（英語、 中国語、韓国語、スペイン 語、ポルトガル語、タイ語、 フィリピン語、ベトナム語、 インドネシア語、ネパール 語）	窓口設置日数	244 日	244 日	専門相談員と多言語スタッフが 情報提供、相談対応を行います。	B	専門相談員の勤務曜日が限ら れているため、よりスムーズ な相談対応が可能になる体制 を検討していきたいです。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価						対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ろ も		女 性
170	6. 疾病予防・ 健康管理	6-e. 感染症に 備える	感染症予防事 業	健康危機対 策課	(普及啓発) HIV などの性 感染症やその他の感染症などについて、予防や治療に必要な正しい知識の普及啓 発を行います。 (検査・相談) 感染症の予防・治療などについて、医師・保健師が相談に応じます。 (HIV・梅毒の検査を実施しています。) (発生時対応) 感染症発生時、患者や接触者の状況を把握し、感染拡大を防ぐための対応を行います。	検査、相談件 数等	HIV/梅毒即日抗 体検査：受験者 260 人	HIV/AIDS 啓発：6 月検査普及週間、12 月世界エイズデーに保健所 SNS 掲載やロビー展示、阪急豊中駅前・千里コロボ前の横断幕掲出、市内関係機関、阪急・北大阪急行駅に啓発ポスターの掲示。18 歳成人年齢全数に 3700 人ウエットティッシュ配布。 HIV/AIDS 電話・来所相談：393 人 HIV/梅毒即日抗体検査：23 回、受験者 266 人 風しん抗体検査：903 人	性感染症、その他感染症について知識の普及啓発を様々な媒体を用いて行いました。 性感染症については 2 回/月 HIV・梅毒の即日検査、相談を実施しました。 赤ちゃんの先天性風疹症候群予防のため、妊娠を希望する者、そのパートナー等に対して風しん抗体検査を実施しました。	A	梅毒では 20～24 歳の報告数が最も多い。感染拡大を予防するためには啓発が重要であるため、10 歳代含め、引き続き啓発・検査・相談事業を実施します。 その他感染症についても知識の普及、発生時の対応等を実施し、感染拡大を防止します。	継続	●	●	●			
171	6. 疾病予防・ 健康管理	6-e. 感染症に 備える	結核予防事業	健康危機対 策課	(普及啓発) 結核の予防ならびに結核の早期発見と治療に必要な正しい知識の普及啓発を行います。 (患者支援) 結核患者等に医療費公費負担の申請、療養相談、日常生活について医師や保健師などが相談に応じます。家族・接触者への健診を行うことで結核のまん延防止に努めます。	相談対応件数	—	結核予防週間に市役所、市内私鉄各駅に結核ポスターの掲示。市内医療機関や薬局、高齢者施設に啓発チラシを配布。生活保護受給者へ啓発チラシを配布。家族・接触者健診：家族 46 人、接触者 336 人 患者療養支援：電話・面接・訪問 1,143 人	結核の予防ならびに結核の早期発見と治療に必要な正しい知識の普及啓発を行いました。 結核患者等に医療費公費負担の申請、療養相談、日常生活について医師や保健師等が相談に応じました。家族・接触者への健診を行うことで結核のまん延防止に努めました。	A	高齢者、生活保護受給者の結核患者の割合は高いです。高齢者施設やかかりつけ医による市民への検診勧奨等の理解が深まるように、他課等と連携し、機会を捉えて説明会や研修会を実施します。	継続	●	●	●			
172	6. 疾病予防・ 健康管理	6-e. 感染症に 備える	風しん予防接種費用助成事業	健康危機対 策課	赤ちゃんの先天性風しん症候群予防のため、妊娠を希望する女性やその配偶者等に対して、風しん予防接種の費用の一部を助成します。	助成者数	—	助成者数：648 人	赤ちゃんの先天性風しん症候群予防のため、妊娠を希望する女性やその配偶者等に対して、風しん予防接種の費用の一部を助成しました。	A	MR ワクチンについては、安定供給を目指した取り組みが図られているものの、接種者のもとにワクチンが届くまでの供給の接続が上手くいっていない状況です。予防接種ワクチン内容について検討予定です。	継続		●			●	

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価						対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ろ も		女 性
173	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-e. 感染症に 備える	予防接種関連 事業	健康危機対 策課	感染症の発症及び蔓延を予 防するための定期の予防接 種の実施、及び定期の予防 接種事業を円滑に遂行する ため啓発活動などを行いま す。	接種者数 接種率	高い予防接 種率の維持 と安全な予 防接種の実 施	【子どもの定期接種】 ワクチン名：延接種者数（接種 率） ・ ロタウイルス：6,401 人 （95.6%） ・ B 型肝炎：8,119 人（97.7%） ・ 肺炎球菌（小児）：10,966 人 （97.7%） ・ Hib：3,115 人（27.8%） ・ 三種混合：1 人（0.0%） ・ 四種混合：3,637 人（32.2%） ・ 五種混合：7,841 人（69.4%） ・ ポリオ：5 人（0.0%） ・ BCG：2,789 人（100.7%） ・ 麻しん風しん（MR）：5,928 人 （90.7%） ・ 麻しん：0 人（0.0%） ・ 風しん：0 人（0.0%） ・ 水痘： 5,451 人（91.1%） ・ 日本脳炎：13,125 人（94.9%） …特例対象者接種者数 495 人含まず ・ 二種混合：2,981 人（76.7%） ・ HPV（子宮頸がん予防）： 15,356 人（53.4%）…キャッチ アップ接種対象者含む 【高齢者の定期接種】 ・ 肺炎球菌（高齢者）：1,112 人 （25.6%） ・ インフルエンザ：51,915 人 （49.4%） ・ 新型コロナウイルス感染症： 20,113 人（19.1%）	【定期接種の実施】 市内取扱医療機関にて個別接種 【啓発活動等】 個別案内通知送付 各種 SNS、市広報誌での啓発 医療機関への情報提供 等	A	接種率の維持に向け、継続し た啓発及び医療機関との連携 を継続していきます。	継続	●	●	●	●		
174	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-e. 感染症に 備える	小中学校環境 衛生	学校施設管 理課	小学校および中学校の環境 衛生の向上を図るため、各 種学校環境衛生検査を実施 し、適切な環境の維持に努 めます。	—	—	薬剤師会と連携し、適切に実施 しました。	学校環境衛生基準に基づき、飲料 水・貯水槽外観検査・プール水質 検査・教室の照度及び空気検査を 学校薬剤師により実施しました。	A	引続き、適切に実施してい きます。	継続	●			●		

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ち も	女 性	
175	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	母子健康手帳 の交付	おやこ保健 課	母子健康手帳の交付の機会 を通じ、すべての妊産婦等 と面接をすることにより 個々の妊婦が持つ不安や悩 みを把握し、必要な保健指 導や諸サービスの紹介等の 支援を行います。(パー トナーや家族向け小冊子や マタニティーバッチ交付)	①母子健康手 帳交付数(件) ②保健指導実 施率(%)	①ー ②100%	①2,775 件②100%	妊娠届出時に母子健康手帳の交 付、個別に応じた面接と保健指導 を行いました。	A	R6 年度、オンライン予約や電 子申込システムを利用した、 希望者へのオンライン面談を 開始しました。	継続		●			●	3-b 4-b 7-c
176	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	妊産婦健康診 査	おやこ保健 課	妊産婦の健康管理として母 子健康手帳の交付時などに 受診券を発行し、かかりつ け医にて個別健診を行いま す。	①妊婦健診延 受診者数 (人) ②産婦健診延 受診者数 (人)	ー	①35,901 人 ②5,086 人	母子健康手帳交付時に受診券を 発行し、受診勧奨を行いました。	A	妊産婦の健康管理のため、引 き続き受診勧奨を実施しま す。	継続		●			●	
177	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	マタニティー クラス	おやこ保健 課	妊娠中の過ごし方について 助産師・歯科衛生士・栄養 士が講話をします。	参加者数(人)	ー	52 人	妊娠期の過ごし方等について、助 産師・歯科衛生士・栄養士が講話 を行いました。参加者同士の交流 の時間も導入しました。	A	引き続き事業を実施していき ます。	継続	●			●	●	1-a 5-a
178	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	両親教室	おやこ保健 課	初妊婦とそのパートナーを 対象に、妊娠・出産・育児に ついてお話します。来所型 とオンライン型で開催して います。 (大阪府助産師会に委託)	教室参加者数 (組)	ー	839 人 (425 組)	来所型とオンライン型で開催し ました。	A	来所型の参加者希望が多く、 R7 年度から開催回数の調整を 行います。	継続		●		●	●	ー
179	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	乳幼児健康診 査	おやこ保健 課	乳幼児の疾病や障害の予防 や早期発見・治療につな げるなど乳幼児の健康の保持 増進とその家族の不安解消 や必要な支援につなげるた め、乳幼児に対して健診を 行います。 また、職員のスキルアップ を図るため従事者研修も開 催します。	①4 か月児健 診受診率 (%) ②1 歳 6 か月 児健診受診率 (%) ③3 歳 6 か月 児健診受診率 (%)	①、②、③ 100%	①95.5% ②95.1% ③93.0%	受診者に対して必要に応じた指 導等を行いました。未受診者につ いても全数把握を行いました。	A	健診従事者のさらなるスキル アップのため、従事者研修等 の実施も検討します。	継続	●	●		●	●	5-a
180	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	二次健診	おやこ保健 課	疾病や障害の早期発見・治 療へつなげるとともに、乳 幼児の健全育成をめざすた め、医師や心理相談員によ る二次健診を行います。(に こりちゃん歯科健診、医師 クリニックなど) また、乳 幼児健診や二次健診の結果 、精密検査が必要な乳幼 児に紹介状を発行し、医療 機関の受診を促します。	①にこりちゃ ん歯科健診対 象者数 (人)、受診 者数(人) ②二次健診受 診率(①以 外)(%)	ー	①対象者：1,370 人、受診者： 564 人 ②88.8%	乳幼児健診や相談等から二次健 診が必要な児に対して健診を行 いました。医師等の判定により精 密検査等につなげました。	A	疾病等の早期発見・治療や療 育につなげるため、引き続き 必要な児への健診を実施しま す。	継続	●	●		●	●	5-a

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ ども	女 性	
181	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	相談（母子保 健）	おやこ保健 課	妊産婦・乳幼児の保護者等 の電話や来所による相談に 対して、保健師・栄養士・歯 科衛生士・助産師等が応じ ます。また、健診後に育児 状況などの確認が必要と思 われる対象者に対し、保健 師等が保健指導を行いま す。身体障害や小児慢性特 定疾病・高度医療などの児、 養育医療申請者を含む未熟 児等とその家族の電話や来 所による相談に保健師が応 じます。	相談率（参加 者数÷育児相 談対象者数× 100）（％）	—	88.4%	乳幼児健康診査後の経過観察や 電話相談などで指導が必要と思 われる乳幼児の保護者を対象に、 保健師・栄養士による個別相談 (育児、栄養、発達)などを行いま した。	A	引き続き相談事業を実施して いきます。	継続	●	●		●	●	1-a 5-a 7-b
182	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	訪問指導事業 (母子保健)	おやこ保健 課	安心して妊娠出産を迎え育 児をスタートするために妊 産婦や新生児に訪問を行 い、家庭の状況に合わせた 必要な保健指導を行いま す。（妊産婦新生児低出生 体重児訪問指導等）未熟 児や身体障害児・小児 慢性特定疾病や高度医療 児等とその家族に対して訪 問を行い、家庭の状況と障 害の状況に合わせた必要 な保健指導を行います。	①訪問件数 ②防災プラン 作成率（％）	①— ②100%	①実 5,260 件、延べ 6,810 件 ②100%	支援が必要な妊産婦、新生児、乳 幼児に対して専門職が訪問指導 を実施しました。 対象となる医療的ケア児につ いては、防災プランを作成する とともに、災害時の支援につ いて関係機関と連携を図りま した。	A	引き続き関係機関との連携を 図るとともに、MC S を活用 した災害時の安否確認体制を 整備していきます。	継続	●	●		●	●	7-b
183	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	こどもアレル ギー講演会、 こどもアレル ギー専門相談	おやこ保健 課	15歳未満でぜん息やアトピー 性皮膚炎などのアレルギー 症状があり適切な治療 を受けていない人に対して医 師・保健師・栄養士が相談 に応じ、正しい情報提供を 行います。（アレルギー講 演会・アレルギー専門相談） 乳幼児健康診査時に、アト ピー性皮膚炎・ぜん息等の 有症状児に保健指導を行 います。（アレルギー素因ス クリーニング）	①アレルギー 専門相談実施 回数・相談者 数 ②アレルギー 講演会実施回 数・参加者数	—	①6 回・32 人 ②1 回・64 人	アレルギー専門相談や講演会で、 相談が必要な方に、相談指導、情 報提供を行いました。	A	引き続き相談事業を実施して いきます。	継続	●			●		
184	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	思春期教育	おやこ保健 課 健康危機対 策課	学校保健とおやこ保健課・ 健康危機対策課が連携し、 中学校での性教育などを 行います。	実施校数	希望校に全 数実施	市内中学校：4 校 受講人数：640 人	主に中学3年生を対象に思春期教 育を実施し、性感染症・予期せぬ 妊娠について健康教育を行いま した。	A	望まない妊娠、性感染症を予 防するために、正しい知識を 学ぶ必要があり、学校保健と 連携して健康教育を実施して いきます。	継続	●			●		

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価						対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い ち も		女 性
185	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	母子医療費助 成事業	おやこ保健 課	国庫補助事業である小児慢性 特定疾病医療費助成事業、 未熟児養育医療給付事業、 結核児童療育給付事業、 不育症治療費等助成事業 (検査)を実施しています。 また、市独自事業として、 不育症治療費等助成事業 (治療)、不妊症治療費等 助成事業を実施しています。	・小児慢性特 定疾病医療費 助成事業承認 者数 ・未熟児養育 医療給付事業 承認者数 ・結核児童療 育給付事業承認者数 ・不妊症治療 費等助成事業 助成件数 ・不育症治療 費等助成事業 助成件数	—	・小児慢性特定疾病医療費助 成事業承認者数：418 件 ・未熟児養育医療給付事業承認 者数：85 件 ・結核児童療育給付事業承認 者数：0 件 ・不妊症治療費等助成事業助 成件数：840 件 ・不育症治療費等助成事業助 成件数：12 件	医療費等の負担軽減を図るため、 申請に応じ審査、受給者証等の発行、 助成金の交付等にかかる事務 を行いました。	A	引き続き、医療費助成事業を 実施します。	継続	●	●			●	
186	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	助産制度	子育て給付 課	生活保護等の経済的理由により 入院助産を受けることが できないと認められる妊 産婦を対象に、指定の助産 施設(病院)への入所、助産 を行います。	入所者数	—	14 人	生活保護受給等の経済的な理由 で入院出産ができない人を対象 に、指定する病院で出産できるよう にするものです。	A	妊産婦の健康維持、子どもの 健全な育成につながるよう、 今後も継続して本制度を実施 します。	継続	●	●		●	●	
187	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	子ども医療費 助成事業	子育て給付 課	0 歳から高校 3 年生まで(18 歳年齢到達後の最初の 3 月 31 日まで) の子どもを対象 に各種医療保険の自己負担 額から一部自己負担額を除 く医療費を助成します。	(医療費) 件数： 助成額： (入院時食事 療養費) 件数： 助成額：	—	(医療費) 件数：986,870 件 助成額：1,896,488,632 円 (入院時食事療養費) 件数：3,806 件 助成額：22,048,095 円	健康保険の診療対象となる医療 費の自己負担分の一部を助成す ることにより、子どもの健全な育 成を支援しました。	A	子どもの健全な育成と児童福祉の 向上を図ることを目的として、 今後も継続して医療費助成を 実施します。	継続	●			●		
188	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	ひとり親家庭 等医療費助成 事業	子育て給付 課	ひとり親家庭を対象に、各種 医療保険の自己負担額から 一部自己負担額を除く医療 費を助成します(所得制限有)。	件数 助成額	—	件数：79,784 件 助成額：199,704,999 円	現物給付、現金給付により医療費 を助成し、ひとり親家庭等の生活 の安定と児童の健全な育成を支 援しました。	A	今後も継続して医療費助成を 実施し、健康維持に寄与して いきます。	継続	●	●		●		
189	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	重層的支援体 制整備事業	こども支援 課	①子育て支援センターほっ ぺでは、子どもの視点に立 った子ども施策の企画調 整、子育て・子育て情報の 受発信や相談、地域の子育 てを支援する人材の育成等 を行い、様々な子育て・子 育て支援活動をサポートし ています。 ②地域福祉計画の保健・福祉・ 医療の関係機関と連携して 全市的な子育て支援の ネットワークづくりを進め ています。	講座参加者数	2,000 人	2,770 人	0 歳～1 歳半までを対象とした交 流の場(ほっこりひろば)を行 いました。その中でふれあい遊 びを実施し、親子で身体を動か す機会を設けました。	A	実施場所を確保し、身体を動か す機会を保障していきます。	継続	●	●		●		7-a

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い も	女 性	
190	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	とよなか子育て・子育て 応援 BOOK「みんな で」	こども支援 課 子育て支援 センター ほっぺ	妊娠がわかってから就学前 までの子育て情報を掲載し た、とよなか子育て・子育 て応援 BOOK「みんな で」を発行し、乳幼児健康診査、 離乳食講座・食の講座など の情報を提供しています。	発行部数	15,000 部	15,000 部	「とよなか子育て・子育て 応援 BOOK『みんな で』」を発行し、妊 娠期から子育て期における手続 きや支援制度・子どもの健康・地 域の子育て支援等の情報を提供 しました。	A	今後も引き続き情報提供を行 います。	継続	●	●		●		7-a
191	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	乳幼児の子育 て相談	こども支援 課 子育て支援 センター ほっぺ こども支援 課	育児、食育、健康などにつ いての相談指導（電話、面 接、訪問、出前相談）を子育 て支援センターほっぺ・地 域支援保育士が行っていま す。 公立こども園地域子育て支 援センターでは相談（電話・ 面接）を、地域支援員が行 っています。	相談件数	7,000 件	6,934 件	保護者のニーズに合わせた専門 職（保育教諭・看護師等）が対 応し、関係機関と連携した支援 を行いました。	A	保護者のニーズに沿った情報 提供を心掛け、引き続き支援 を行っていきます。	継続	●	●		●		1-a 7-a
192	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	子育てに関す る情報提供の 充実	こども支援 課 子育て支援 センター ほっぺ	豊中市ホームページにおい て、子育てに関する様々な 情報を公開するとともに、 最新情報を定期的に更新し ています。	「ほっぺちゃ ん通信」フォ ロワー数	2,500 人	2,750 人	豊中市ホームページ及びはぐく みセンター公式 X「ほっぺちゃん 通信」において、子育てに関する 情報提供を行いました。	A	はぐくみセンター公式 X につ いては引き続き周知し、様々 な媒体で情報提供を行ってい きます。	継続	●	●		●		7-a
193	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	ファミリー・ サポート・セ ンター事業	こども支援 課	子育てをしているすべての 家庭を支援するため子育て の援助が必要な人と子育て の援助ができる人とを結び つける会員制の育児支援ネ ットワークです。 親のリフレッシュ目的での 利用などもあり、親の心の 健康にも繋がっています。	活動回数	2,354 回	2,160 回	会員登録説明会を市内各所、休日 開催する等で新規会員の獲得に 努めたほか、各種講習会・交流会 を実施しました。	B	援助会員が不足しているた め、引き続き普及啓発及び登 録説明会を市内各所で実施す る等の工夫を行います。	継続	●	●		●		7-a
194	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	子育て短期支 援事業	こども支援 課	保護者の疾病その他の理由 により家庭において養育を 受けることが一時的に困難 となった児童について一週 間以内や日帰りで施設に受 け入れます。	日数×児童	ショートス テイ ：延 516 日 トワイライ ト ：－	ショートステイ：延 440 日 トワイライト：－	新たな形態での事業実施を検討 し、新たな委託先として里親が加 わりました。	A	委託先不足に対する新たな委 託先の検討を進めます。	継続	●	●		●		
195	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	外国人向け市 政案内・相談 窓口	人権政策課	来庁する外国人市民へ基本 的な行政情報を提供すると ともに、行政サービスに関 する相談（通訳）を行って います。通訳業務において は、母子手帳、予防接種手 帳の交付などに必要に応じ て付き添います。	－	－	案内・相談 2,229 件。うち、 保健に関するものは出産・子育 てが 326 件、医療(予防接種等 含む) が 18 件	母子手帳、予防接種手帳の交付な どの手続きにおいて通訳を行 いました。	A	適切に通訳を行うことができ ました。今後も継続して支援 していきます。	継続	●	●		●	●	

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価						対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い も		女 性
196	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	国際化施策の 推進	人権政策課	豊中市多文化共生指針に基づき、事業を展開しています。とよなか生活ガイドブック（英語、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語）では、母子保健に関わる行政手続きや、外国人向け医療情報などを発信しています。	—	—	1 回	母子保健に関わる行政手続きや、外国人向け医療情報などを発信しました。	A	生活ガイドブックを通して必要な情報を発信することができました。今後も誰もが読みやすく、情報入手できるような内容にしていきます。	継続	●	●	●	●	●	
197	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	児童虐待相談 事業	こども安心 課	児童虐待の通告及び相談の受理、調査、支援を実施しています。	児童虐待相談 件数	1,500 人	1,634 人	児童虐待の通告及び相談の受理、調査、支援を実施しました。	A	豊中市児童相談所の設置に伴い、児童相談所と家庭児童相談支援の一体的な対応を通じた支援の充実に取り組みます。	継続	●			●		
198	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	子どもを守る 地域ネットワ ーク	こども安心 課	児童虐待予防・発見・早期支援のための関係機関の連携・協力体制の確立に取り組んでいます。	子どもを守る 地域ネットワ ーク開催数	17 回	代表者会議：2 回 実務者会議：15 回（運営会議を含む） ケース会議：188 回	豊中市子どもを守る地域ネットワークを活用し、切れ目のない総合的な支援や虐待予防・対応に取り組みました。	A	豊中市児童相談所の設置に伴い、従来以上に予防的な取り組みが実施できるよう家庭児童相談のあり方について検討します。	継続	●			●		
199	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	各種負担金・ 補助金	学務保健課	豊中市学校保健会の充実発展に向け、総会・専門委員会研修会等を開催します。	開催数	総会：1 回 専門委員会 研修会：3 回 部 会 研 修 会：3 回	総会：2 回開催 専門委員会研修会：3 回開催 部会研修会：2 回開催	豊中市学校保健会の充実発展に向け、総会・専門委員会研修会等を開催しました。	A	対象者が研修に参加しやすくなるよう、オンライン形式での開催回数を増加します。	継続	●			●		
200	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	小学校医療費 援助	学務保健課	学校保健安全法第 24 条で指定する感染症又は学習に支障を生ずるおそれのある疾病で、政令で定めるものの治療のための医療に要する費用について必要な援助を行います。	発行件数	—	195	学校保健安全法第 24 条で指定する感染症又は学習に支障を生ずるおそれのある疾病で、政令で定めるものの治療のための医療に要する費用について必要な援助を行いました。	A	対象者は年々減少してきているものの、左記の法律に基づき、引き続き対象者に必要な援助を行います。	継続	●			●		

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い も	女 性	
201	6. 疾病予防・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	中学校医療費 援助	学務保健課	学校保健安全法第 24 条で 指定する感染症又は学習に 支障を生ずるおそれのある 疾病で、政令で定めるもの の治療のための医療に要す る費用について必要な援助 を行います。	発行件数	—	157	学校保健安全法第 24 条で指定す る感染症又は学習に支障を生ず るおそれのある疾病で、政令で定 めるものの治療のための医療に 要する費用について必要な援助 を行いました。	A	対象者は年々減少してきてい るものの、左記の法律に基づ き、引き続き対象者に必要な 援助を行います。	継続	●			●		
202	6. 疾病予防・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	健康教育	おやこ保健 課	専門職が、乳幼児の保護者 に乳幼児の成長や事故予防 や歯や口に関するテーマを 取り上げ正しい知識の啓発 を行っています。	受講者数	—	1192 人	専門職が保護者に、乳幼児の健康 や事故予防・歯や口に関するテー マ・乳幼児の栄養について正しい 知識の啓発を行いました。	A	引き続き健康教育事業を実施 していきます。	継続	●			●		
203	6. 疾病予防・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健康 づくり	すくすくあか ちゃんタイム (子どもをと りまく読書環 境整備の取組 み)	読書振興課	図書館職員による読み聞か せと保健師によるお話や育 児相談を行う「すくすくあ かちゃんタイム」など、子 どもの体や健康に関する事 業を実施しています。図書 館職員による関連本の紹 介・展示も行います。	講座実施回数 (回)	すくすくあ かちゃんタ イム：8 館	すくすくあかちゃんタイム：7 回	絵本の読み聞かせと、おやこ保健 課から保健師をまねいて子ども の発育や家庭内の事故防止に関 する講話や質疑応答を行う「すく すくあかちゃんタイム」を開催し ました(庄内・千里・東豊中・高 川・岡町・服部・野畑図書館各 1 回)。	A	次年度も「すくすくあかちゃ んタイム」を行い、子育て・子 育てを支援するとともに、図 書館の利用促進を図っていき たいです。	継続	●			●		5-a
204	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	放課後こども クラブ運営	学び育ち支 援課	放課後、帰宅しても保護者 が仕事などで家庭に不在の 本市に居住する小学校 1 年 生から 4 年生(支援学級在 籍児童及び本市に居住する 支援学校在籍児童は 6 年 生)までの児童に、遊びや 学習などを通じて、自主的 かつ自発的な生活態度や習 慣を養うために必要な保護 及び指導を行い、児童の健 全育成を図ります。	令和 6 年 5 月 1 日の在籍人 数	—	5,121 人	市内 39 小・義務教育学校すべて で実施しました。	A	次年度も事業継続します。	継続	●			●		2-b
205	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	地域教育協議 会 (すこやかネ ット)	学び育ち支 援課	市内の全中学校区に地域教育 協議会を設置し、各校区 でフェスタや子育て講演 会、学校教育への支援など、 学校・家庭・地域のネット ワークを深める事業展開を 行い、地域教育の活性化を 図ります。	参加児童数	16,000 人	15,302 人	各校区の協議会がフェスタや子 育て講演会等を実施しました。	B	参加児童数がコロナ禍前の水 準に戻っていません。 学校を通じ、教室の開催状況 についての周知を徹底しま す。 学校運営協議会の場当を活用 し、担い手の発掘・確保に努 めます。	継続	●	●	●	●		
206	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	いばき主催事 業	社会教育課 (青少年交 流文化館い ばき)	青少年に学習機会や主体的 な活動の場を提供します。	参加者・参加 校数等	参 加 者 11,185 人 参加校等 34 校 8 団体	参加者 12,149 人 参加校等 40 校 4 団体	自習室や高校生以上のバンド活 動、高校生等の活動成果の機会な どを提供しました。	A	前年度同様取り組んでいきま す。	継続	●			●		

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ち も	女 性	
207	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	図書活動	社会教育課 （青少年交 流文化館い びき）	ほんのひろばを地域に開放 し、貸し出し、自由閲覧、た のしいつどいなど、図書に 親しむ機会を提供します。	人数	8,275 人	9,862 人	ほんのひろばを地域に開放し、貸 し出し、自由閲覧、たのしいつど いなど、図書に親しむ機会を提供 しました。	A	前年度同様取り組んでいきま す。	継続	●			●		
208	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	創造活動（不 登校支援）	児童生徒課	青少年交流文化館いびきに おける創造活動は、不登校 児童生徒が、自らの興味・ 関心を行動にうつし、その 活動過程で成長がはかれる ように、必要な援助を組織 的・継続的に行うことによ り、不登校児童生徒が学校 復帰や社会的自立をめざす ことを目的とします。	回数	50 回	クッキング 24 回 体を動かそう 26 回	創造活動係（青少年交流文化館い びき内）におけるクッキング（284 回）、体を動かそう（26 回）等の プログラム活動のほか、館外活 動、乗馬体験活動なども実施しま した。	A	不登校児童生徒が増える傾向 の中、プログラム参加者の年 齢に幅があります。多くの児 童生徒に満足してもらえるよ う内容の充実をはかります。	継続	●			●		1-b 2-b
209	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	スクールソー シャルワーカー 活用事業	児童生徒課	いじめ、不登校、暴力行為 及び児童虐待など生徒指導 上の様々な課題に対応する ため、教育分野と社会福祉 等の専門的な知識・技術を 用いて、児童生徒の置かれ た様々な環境に働きかけて 支援を行うスクールソーシ ャルワーカーを全小学校及 び義務教育学校に配置し、 中学校に事業対応派遣を行 います。	人数	1,500 人	1,506 人	市立小学校 38 校・義務教育学校 1 校に配置、中学校に対しては要望 に応じた事業対応派遣を行い、ケ ース会議、教員・保護者等との面 談、教室訪問（児童生徒の観察） 等を行いました。	A	スクールソーシャルワーカー が関わる児童生徒の課題が多 岐に渡る為、福祉などの他分 野との連携を進める必要があ ります。学校・教育委員会と の情報共有を円滑に図り、支 援の充実に活かすため、SSW 支 援システムを安定的に稼働し ます。	継続	●			●		
210	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	育児支援家庭 訪問事業 （こどもは赤 ちゃん事業	こども支援 課	児童の養育支援が必要であ りながら、自ら出向くこと が困難な状況にある家庭を 訪問して育児に関する相談 や助言等の支援を行います。 生後 4 か月までの乳児のい る全家庭を訪問し、子育て 支援に関する情報提供を行 うとともに、親子の心身の 状況や養育環境等の把握に 努め相談や助言等の支援を 行います。	育児支援家庭 訪問数 乳児家庭全戸 訪問面談率	600 回 100%	489 回 100%	保育教諭等の専門職が家庭訪問 し、保護者に寄り添った相談支援 を実施しました。 また、こどもには赤ちゃん訪問 の実施により、子育てに関する情報 提供等を行いました。	A	保護者のニーズに沿った情報 提供を心掛け、引き続き支援 を行っていきます。	継続	●			●		6-f
211	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	重層的支援体 制整備事業 地域福祉ネッ トワーク会議 （こども部 会）事務局	こども支援 課	地域福祉ネットワーク会議 （こども部会）では、公立 こども園が中心になって CSW とともに各小学校区 の地域活動を支援するた めに、関係機関や団体との連 携を図りネットワークづ くりを進めています。	開催校区数	41 校区	41 校区	地域の課題や今後の連携につい て関係者間で理解を深め、ネッ トワークづくりを進めました。	A	こどもを取り巻く支援体制の 見直しを行い、児童福祉・母 子保健・学校教育が一体とな った支援体制の構築を目指 し、ネットワークづくりを進 めていきます。	継続	●	●		●		6-f

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い ろ も	女 性	
212	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	児 童 発 達 支 援・放課後等 デイサービス 事業 (児童発達支 援センター)	おやこ保健 課	小集団親子教室において は、子どもの発達特性にあ った関わりを通して人や 物、遊び等の興味を育てま す。また、保護者の子ども の育ちや特性の気づきを促 すとともに適切な関わりに ついて支援します。親子通 所・単独通所においては、 人間関係の土台作りや基本 的な生活習慣の獲得等を支 援します。	—	—	毎日実施	児童発達支援・放課後等デイサ ービス事業を実施しました。	A	引き続き事業を実施してい きます。	継続	●			●		
213	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	ブックスター 事業 「えほんはじ めまして」	読書振興課	4 か月児健診において対象 者一人一人に言葉かけをし て絵本を手渡し、家庭です ぐに絵本を開いて保護者と 赤ちゃんが楽しみながらゆ ったりとしたコミュニケー ションの時間を持つてきつ かけとしています。また乳 幼児と気軽に利用してもら える施設として、近隣の図 書館や子ども文庫などを案 内。ボランティア、図書館、 おやこ保健課の三者が連携 することで、地域で子育て を支援していることを伝え る機会ともなっています。	絵本配布率	100%	絵本配布率 98.3% (配布冊数 2723 冊)	絵本をプレゼントするとともに、 コロナ禍により休止していたボ ランティアスタッフによる絵本 の読み聞かせを再開しました。	A	子どもに絵本やおはなしを届 けるにあたって、押さえてお くべき理論と実践を研修で学 ぶことで、戸惑うことなく読 み聞かせ活動を行うことがで きるボランティアの確保と増 員につながりました。また職 員も、担当者だけではなく全 職員に研修をしました。今後 もボランティアスタッフ・職 員がともに無理なく活動を続 けていけるようにしたいで す。	継続	●			●		
214	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	介護予防地域 教室事業	長寿安心課	地域住民の心身の健康の保 持と生活の安定のために、 必要な援助を行い、保健医 療の向上・福祉の増進を包 括的に支援します。	84 回	84 回	77 回	地域住民の心身の健康の保持等 を図るために介護予防地域教室 を実施します。	A	・平均寿命が延びるなか高齢 者が健康を維持し、安心して 在宅生活を送ることができる よう、介護予防及び権利擁護 などをテーマとした教室を開 催します。	継続				●		

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ろ も	女 性		
215	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があることで人と つながる	子ども・若者 育成支援事業	くらし支援 課	市の関係機関や家庭、地域 等との連絡調整、情報の共有、 連携をはかることにより青少年 が社会的自立を果たすことができ るよう支援をつなげるとともに、 必要となる支援があれば関係部 局と調整を図ります。	—	—	・若者支援総合相談窓口 相談件数：121 件 ・ユースホーム事業「できるカ ン パニー」 登録人数：15 人	「不登校からの社会的自立」～不 登校経験者と保護者の体験から 考える～(1 回) 豊中市子ども・若者支援協議会 (2 回)	A	若者等に対する相談窓口をは じめ、各種保護者向け説明会 や講演会を実施し、チラシ等 で情報提供を行うことで、対 象者に情報が行き届くよう工 夫していきたいです。	拡充	●			●			
216	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があることで人と つながる	シルバー人材 センター補助 金業務	くらし支援 課	シルバー人材センターに対 する補助事業を実施し、高 年齢者の能力を生かした活 力ある地域社会づくりに寄 与します。 対象者の健康づくりに寄与 するものと考えます。	—	—	・補助金額：33,100,000 円	シルバー人材センターの財政的 な自主運営を目的として、市の 労働政策と整合を図ったシルバ ー人材センターの事業運営に対 する補助を行いました。	A	補助事業を通じて、高齢者が 培ってきた経験や能力を生か すことのできる就労機会の創 出や生涯にわたり健康で生き がいをもって暮らせる環境づ くりに寄与していきたいと考 えています。	継続			●				
217	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があることで人と つながる	高齢消費者の 見守り体制と の連携（地域 福祉ネットワ ーク会議）	くらし支援 課	高齢者の消費者被害の未然 防止、早期発見に向け、地 域の見守りネットワーク等 と連携しています。 高齢者が安心して暮らせる ことで精神的な安定につな がります。	—	—	・地域福祉ネットワーク会議： 14 回	高齢者の消費者被害の未然防止、 早期発見に向け、地域の見守りネ ットワーク等と連携しました。 高齢者が安心して暮らせること で精神的な安定につながりまし た。	A	—	継続			●				

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ろ も	女 性	
218	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	地域就労支援 事業	くらし支援 課	生活情報センターくらしか ん並びに豊中しごと・くら しセンター内に地域就労支 援センターを設置し、障害 者、母子家庭の母親、中高 年齢者などの就労困難者 に対する相談をはじめ、各種 講座の実施や紹介、求人情 報の提供等を行います。 対象者の心の健康づくりに 寄与するものと考えます。	—	—	・相談件数：3,699 件 ・就労決定：198 人	就労困難者に対して相談・就労訓 練などを行い、就労へ導きまし た。	A	就労困難者等に対する相談を はじめ、各種講座の実施や紹 介、求人情報の提供等を行う ことで、対象者の心の健康づ くりに寄与していきたいと考 えています。	継続		●				
219	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	無料職業紹介 事業	くらし支援 課	平成 15 年 8 月に「地域就労 支援センター」を設置し、 様々な理由により就労が困 難な市民を対象に、相談や カウンセリング、教育訓練 などの就労支援を行ってき ましたが、これらの機能を さらに拡充し、求職者の居 住地の近隣での就職を実現 するとともに、市内事業所 の求人活動等を応援するこ とを目的に、平成 18 年 11 月から無料職業紹介を行っ ています。 対象者の心の健康づくりに 寄与するものと考えます。	—	—	・新規求人数：1,498 人 ・就職件数：159 件	市内外の事業所の求人獲得、地域 就労相談者など求職者の求人事 業所への紹介、各種（若者、障害 者向け等）、面接会、面接対策講 座等を実施しました。	A	求職者に対し、各種講座や職 業体験、合同面接会、職業紹 介などの就労支援を行い、就 職を実現させることで、対象 者の心の健康づくりに寄与し ていきたいと考えています。	継続		●				
220	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	中小企業勤労 者互助会事業	くらし支援 課	豊中市中小企業勤労者互助 会に中小企業勤労者互助会 に対する補助を実施し、市 内の中小企業で働く勤労者 及びその家族の福利厚生 の充実を図り、併せて中小 企業の振興に寄与します。 対象者の心の健康づくりに 寄与するものと考えます。	—	—	補助金額：5,520 千円	中小企業勤労者互助会の予算の うち、福利厚生事業費や一般事務 管理費を補助することにより、市 内の中小企業で働く人やその家 族への福利厚生の充実を図り、併 せて中小企業の振興に寄与しま した。	A	豊中市中小企業勤労者互助会 への補助を通じ、引き続き市 内の中小企業で働く勤労者及 びその家族の福利厚生の充実 を図っていきたいと考えてお ります。	継続		●				

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価						対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い ろ も		女 性
221	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	くらしかんの ホームページ	くらし支援 課	くらしかんホームページにより、消費生活情報を提供しています。	—	—	市ホームページで消費生活情報を提供しました。	国民生活センターから提供された情報をホームページに掲載するなどを行い、消費者啓発に努めました。	A	情報をただホームページに掲載するのではなく、より多くの市民の方に見てもらえるように工夫していくことが重要です。	継続	●	●	●			
222	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	協働推進の公募制度	コミュニテ ィ政策課	市民公益活動団体から自由な企画提案を募る協働事業市民提案制度を活用し、市と市民公益活動団体の協働を推進します。	成案化事業件 数	3 件	1 件	募集説明会には 4 団体が参加しました。うち 2 団体と、関係課との事前意見交換を実施し、1 団体（件）の成案化に至りました。この他に 2 件の事業を継続実施しています。	B	行政からの課題提示について、平易な表現を用いるとともに提案しやすい課題とし、また多くの市民や団体に興味を持っていただけるように、課題に関する経過やこれまでの取り組みの概要を記載しました。	継続	●	●	●			
223	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	市民公益活動 推進助成金制 度	コミュニテ ィ政策課	公募により、市民公益活動事業に必要な経費の一部を助成します。市民公益活動団体の自律的・継続的な発展を支援することにより、市内の市民公益活動全体の推進を図る制度です。	・助成事業数 ・助成金額	・ 13 事業 ・ 3,500,000 円	・ 初動支援コース 8 団体 662,000 円 ・ 自主事業コース 8 団体 1,769,000 円	初動支援コースに 10 団体、自主事業コースに 9 団体の申し込みがあり、応募書類とプレゼンテーションに基づいて審査を行い交付を決定しました。	A	市民公益活動における新たなアイデアや工夫による取組みを支援できるよう、初動支援コースの助成限度額を 10 万円から 15 万円に引き上げました。	継続	●	●	●			
224	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	市民公益活動 支援センター 運営管理事業	コミュニテ ィ政策課	市民公益活動のための情報発信及び交流の場の提供、市民公益活動の推進に関する情報の収集・提供、相談、講座の開催、啓発の実施などを行います。	・来場者数 ・団体情報掲 載団体数	・10,000 人 ・150 団体	・来場者数 18,003 人 ・団体情報掲載団体数 159 団体	市民公益団体と市の施設の協働を図るために、マッチング交流会を 4 回実施しました。市民活動出前講座メニューを自治会へ送付し、多くの利用や連携につなげました。また市内の高校・大学を訪問し、市民活動について若者世代の取り組みを支援しました。	A	学生や若者団体同士のつながりづくりを継続的に行っていくと同時に、市民公益活動団体に伴走しながら、さらなる市民公益活動の推進を図ります。	継続	●	●	●			
225	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	にほんご交流 活動	人権政策課	地域で暮らす外国人が日本人市民ボランティアと出会い交流する場を創出する。	回数	399 回	399 回	月曜、木曜、金曜、土曜、日曜	B	在住外国人の数が急増しているため、ボランティアの確保と受け入れ態勢の整備が必要です。	拡充	●	●	●		●	
226	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	被爆者援護事業	地域共生課	被爆者に対する健康相談等の相談事業を実施しながら会員の福祉向上を図るとともに、被爆体験の伝承を通じて、核兵器と戦争のない平和な社会の実現をめざします。	—	—	被爆者健康相談を定期的に実施し、小学校等からの依頼により被爆体験の伝承を行いました。 被爆者相談対応件数：延 324 件 被爆伝承活動：7 件	被爆者健康相談を定期的に実施し、小学校等からの依頼により被爆体験の伝承を行っています。	A	引き続き被爆者に対する健康相談等の相談事業を実施しながら会員の福祉向上を図るとともに、被爆体験の伝承を通じて、核兵器と戦争のない平和な社会の実現をめざします。	継続		●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価						対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い ろ も		女 性
227	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	民生・児童委 員協議会	地域共生課	民生・児童委員大会の開催 や民生・児童委員協議会に 対して支援を行います。 見守り活動や相談に応じ、 必要な支援を通じて住民の 福祉の増進を図っています。 す。	—	—	民生・児童委員大会の開催や民 生・児童委員協議会に対して支 援を行いました。 役員会開催数：44 回	民生・児童委員大会の開催や民 生・児童委員協議会に対して支援 を行いました。 役員会開催数：44 回	A	引き続き民生・児童委員大会 の開催や民生・児童委員協議 会に対して支援を行います。	継続	●	●	●			
228	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	地域活動支援 センター事業	障害福祉課	・活動支援型：創作的活動、 生産活動、社会との交流促 進、食事・入浴等の日常生 活における便宜の供与、機 能訓練・社会適応訓練等。 ・相談支援型：創作的活動、 生産活動、社会との交流促 進、福祉サービス・社会資 源を活用するための支援、 施設や病院から地域に戻る ための支援、ピアカウンセ リング、権利擁護のための 援助、自立支援協議会の運 営、障害当事者活動の育成、 地域住民ボランティアの育 成、啓発活動等。 （地域活動支援センターク ム、サポートセンターる～ びに委託）	—	—	・活動支援型：延べ 392 人 ・相談支援型：延べ 12522 人	障害者が地域において自立した 日常生活や社会生活を営むこ とができるよう、必要な便宜の供与 を行うことができました。	A	施設や病院等における地域移 行の取り組みと連携しつつ、 住居の確保その他地域におけ る生活に移行するための活動 に関する相談などに応じま す。	継続	●	●	●			
229	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	相談支援事業	障害福祉課	専門職を配置し、障害福祉 サービスの利用調整をはじ め、様々な日常生活上の相 談に応じます。	—	—	全体会議：4 回	相談支援事業所のネットワー クを構築し、連携を深めること で、障害者が安心して地域生活を送 れるよう支援を行うことができ ました。	A	複雑な相談内容に対応できる 体制づくりについて障害者自 立支援協議会で意義を深め連 携強化を図っていきます。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ろ も	女 性	
230	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	障害者相談員 事業	障害福祉課	身体障害者相談員、知的障 害者相談員、精神障害者相 談員がそれぞれの立場に立 って、各手帳の取得や障害 者の身近な問題についてい ろいろな相談に応じます。	—	—	相談件数：延べ6件	当事者や家族といった相談員が 身近な問題について相談に応じ ました。	A	今後も各手帳の取得や障害者 の身近な問題について相談に 応じます。	継続	●	●	●			
231	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	花とみどりの 相談所主催事業	公園みどり 推進課	花とみどりの相談業務や講習 会、緑化リーダーの養成 講座、豊中緑化リーダー会 への活動支援を行うもの で、草花鑑賞や人との交流、 活動の機会の提供により、 健康づくりに寄与していま す。	—	—	花とみどりの相談件数:345 人、 423 件 花とみどりの講習会:35 回、726 人 養成講座：24 回、修了者 38 人	花とみどりの相談業務や講習会、 緑化リーダーの養成講座、豊中緑 化リーダー会への活動支援を行 いました。	A	参加者数が増えるように周知 を行います。	継続		●	●			
232	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	みどりの交流 会運営事業	公園みどり 推進課	市民との協働により、地域 での花だん活動や小学校等 での「みどりのカーテンづ くり」を支援するとともに、 各種緑化啓発イベントを開 催するもので、活動の機会 のほか、潤いや安らぎ、憩 いの場を提供しています。	参加者数	200 人	みどりのフォーラム参加者数 1 回 148 人	みどりのフォーラムやみどりの つどいなどのイベントを実施し ました。	A	事業の在り方を検討します。	縮小	●	●	●			
233	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	緑化推進事業	公園みどり 推進課	公共施設の緑化、自治会等 が取り組む緑化活動への資 材等の提供などを行うもの で、活動の機会のほか、潤 いや安らぎ、憩いの場を提 供しています。	配布本数	7,000 本	市民協同緑化樹の配布 999 本 生垣緑化助成金の交布 2 件 87 本 沿道緑化助成金の交布 3 件 14 本	市民協同緑化樹の配布、生垣緑化 助成金の交布、沿道緑化助成金の 交付を行いました。	B	継続して実施していきます。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い ろ も	女 性	
234	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	花いっぱい運 動事業	公園みどり 推進課	駅前等の草花やバラ園、花 しょうぶ園の維持管理、イ ベント等における種子・球 根の配布など、花いっぱい 運動の啓発、市民との協働 による地域での花苗の育成 や草花の育成管理を行うも ので、活動の機会のほか、 潤いや安らぎ、憩いの場を 提供しています。	—	—	草花種子配布数 1,398 袋	市有花壇の維持管理並びに公共 性の高い場所のでの花壇活動へ の支援を行いました。 花いっぱい運動の拡充を検討し ました。	A+	花いっぱい運動を拡充した 「とよなか花いっぱい大作 戦」を推進します。	拡充	●	●	●			
235	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	みどりのカー テンづくり	公園みどり 推進課	市民との協働により取組み を進める豊中みどりの交流 会において、小学校やこど も園、授産施設等でみどりの カーテンづくり（ゴーヤ の栽培）の取組みを支援し ています。収穫したゴーヤ は、小学校等において食育 として活用されています。	参加団体数	70 団体	52 団体	みどりのカーテンづくりの支援 を行いました。	B	市民協働によるゴーヤの苗の 育成が困難なため、種の配布 による支援に変更します。	継続	●	●	●			1-d
236	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	ヒメボタル保 全事業	公園みどり 推進課	希少なヒメボタルを保全す るために、生息地である「春 日町ヒメボタル特別緑地保 全地区」の保全・啓発活動 を行っています。その取組 みの一つとして、ヒメボタ ル学習会・観察会や観察路 の整備などを実施しており、 健康づくりに寄与して います。	参加者数	200 人	2 回 81 人	ヒメボタル学習会・観察会の開催 をしました。	A+	継続して実施していきます。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世 代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ろ も	女 性	
237	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人につながる	自然環境啓発事業	公園みどり推進課	自然環境啓発に関するイベントの開催などを行っています。その取組みの一つとして、自然観察会及び自然体験で学ぶ環境学習を実施しており、健康づくりに寄与しています。	参加者数	1,500 人 (No. 106. 24 4 と 併 せ て)	18 回 371 人	自然環境学習を実施しました。	A	継続して実施していきます。	継続	●	●	●			
238	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人につながる	自然環境保全事業	公園みどり推進課	里山の保全・再生及び民有地の樹木等の保全の支援などを行っています。その取組みの一つとして、里山の保全・再生活動及び自然観察会を実施しており、健康づくりに寄与しています。	参加者数	1,500 人 (No. 106. 24 3 と 併 せ て)	16 回 342 人	島熊山緑地にて市民との協働による保全活動、自然観察会を実施しました。	A	継続して実施していきます。	継続	●	●	●			
239	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人につながる	男女共同参画推進活動への支援	人権政策課	((一財) とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理) 人間関係や仕事に「しんどさ」を感じている女性のために気軽にしゃべりができる「カフェタイム」「シェアタイム」を実施しています。 その他、グループ・団体活動の情報収集・提供、自主グループ活動育成・支援、グループ活動活性化のための講座の開催、グループ活動リーダー養成、ワークスペース・機器等の提供、交流ネットワークの機会提供、ネットワーク協議会の組織化などを行っています。	人数	—	108 人	孤独感を抱く 50～60 代の女性が気軽に集まり、社会の規範に縛られずに自分の思いや考えを安心して話すことで自分を肯定し、エンパワメントします。	A	自分の思いや考えを言葉にして話し聴き合うことで、自己肯定感を高め、エンパワメントにつながる場となりました。次年度は、別施設での出張開催など拡充していきます。	拡充	●	●	●			
240	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人につながる	こどもの学び・居場所事業	人権政策課 人権平和センター豊中	小中高校生を対象に、誰もが安心して過ごせる居場所を提供し、学習や体験活動を通じて人との関わり・つながりの中で自分らしく生きる力を育みます。	事業回数	400 回	407 回	居場所・学習の支援・食事の提供・課外活動や体験活動の提供をしました。	A	家庭状況等がしんどい、学校に行きづらい等の課題を抱えた子ども達の利用があるが、保護者との関係づくりが課題です。令和 7 年度よりこども支援課へ移管	継続	●			●		
241	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人につながる	地域交流事業	人権政策課 人権平和センター豊中	様々な地域の交流事業を促進し、共に生きる地域社会の実現を地域の機関・団体等と協働して進めています。	参加人数	200 人	144 人	”ひと・まち・であい” 人権文化のまちづくりフェスタを開催しました。	B	センター内サークルや他協力団体との協力体制・関係作りが難しいです。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い も	女性	
242	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	相談及び人権 平和啓発事業	人権政策課 人権平和セ ンター豊中	人権相談や総合生活相談事 業、人権及び非核平和に関 する生涯学習事業、高齢者 の生きがいづくり事業など を推進します。	相談件数	500 件	337 件	人権相談・総合生活相談の実施を しました。	B	広報が発行される 4～5 月は 相談件数が多いですが、以降 は減少傾向にあります。定期 的なチラシ配布や SNS の活用 などで周知する必要があります。	継続	●	●	●	●		7-b
243	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	こども多世代 ふれあい事業	人権政策課 人権平和セ ンター螢池	小中高校生を対象に、誰も が安心して過ごせる居場所 を提供し、学習や体験活動、 多世代での交流を通じて人 との関わり・つながりの中 で自分らしく生きる力を育 みます。	事業回数	650 回	522 回	居場所・18 時以降学習できる場・ 食事の提供・課外活動や体験活動 の提供・多世代交流を実施しまし た。	B	家庭状況等がしんどい、学校 に行きづらい等の課題を抱え た子ども達の利用がありますが、 保護者との関係づくりが 課題です。令和 7 年度よりこ ども支援課へ移管。	継続	●		●	●		2-b
244	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	福祉なんでも 相談	地域共生課	相談事業、地域福祉の活動 拠点の運営や福祉サービス 等の情報の受発信を行いま す。	設置校区数	42 校区	福祉なんでも相談窓口の設置 校区：38 校区	安心・安全なまちづくりの推進を 図るため、住民の身近な相談窓口 の運営支援を行いました。また相 談員になられる民生委員・校区福 祉委員を対象に研修を実施しま した。	A	相談拠点だけではなく、地域 の身近な交流拠点として今後 とも概ね週 1 回実施していき ます。	継続	●	●	●			
245	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	社会福祉協議 会事業補助	地域共生課	社会福祉協議会に対して事 業補助を行います。	—	—	社会福祉協議会の対象事業の 支援を行いました。 CSW 配置事業支援相談件数:501 件	社会福祉協議会の対象事業の支 援を行いました。 CSW 配置事業支援相談件数:501 件	A	公益性の高い取り組みについ て事業補助を行います。	継続	●	●	●			
246	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	健康福祉サー ビス苦情調整 委員会	地域共生課	健康福祉サービス受給にか かる市民等から苦情や相談 を受け、調整を行います。	—	—	相談件数:45 件	健康福祉サービスの提供に関す る苦情について、助言・調整・あ っせん等をおこない、その解決を 図っています。	A	各分野に苦情窓口がある中 で、申立者の訴えを聞き、希 望に沿って適切に案内するこ とを心がけて実施します。	継続	●	●	●			
247	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	公民分館活動 への支援	中央公民館 螢池公民館 庄内公民館 千里公民館	公民分館による春秋講座運 営に際して、情報提供や指 導助言を行っています。	人数	1,250 人	1,349 人	骨盤底筋体幹 YOGA など 55 講座、 延べ 88 回実施しました。	A	公民分館への情報提供や指導 助言を継続して行います。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い ろ も	女 性	
248	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	公民館登録グ ループ活動支 援	中央公民館 螢池公民館 庄内公民館 千里公民館	①料理グループなどに活動 場所の確保を行っていま す。 ②グループ活動成果の社会 還元として、グループ体験 講習会への支援および公民 館講座への講師登用を行っ ています。	人数	300 人	324 人	登録グループの体験講習会を 70 講座 81 回実施し、食育関連とし ては、『作って食べよう子どもが 喜ぶこぎつねごはん』の体験講習 会を 1 回実施し、16 人が参加しま した。	A	登録グループの活動場所を確 保するとともに、グループへ の支援を継続して行います。	継続	●	●	●			
249	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	公民分館事業	中央公民館	公民分館が実施する文化 祭・体育祭や各種講座、分 館だよりの発行や市ホーム ページを活用した取組み内 容の発信など、分館活動全 般への支援を行います。	人数	110,000 人	118,814 人	体育祭、文化祭、社会見学、講座 など延べ 336 回、実施しました。	A	公民分館活動全般への支援を 継続して行います。	継続	●	●	●			
250	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	次世代育成講 座	中央公民館	次世代育成に係る講座や講 演会を実施します。	人数	4,000 人	2,251 人	「おまわりさんにきいてみよう」 ほか、次世代育成講座を 39 講座 延べ 90 回実施しました。	A	次世代育成に係る講座や講演 会を継続実施します。	継続	●	●		●		
251	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	公民館登録グ ループ支援	中央公民館	公民館登録グループに対 して活動場所の確保や、公 民館まつり、グループ体験 講習会など活動成果の発表 の場を提供するとともに、 教養の向上、生きがいづく りを支援します。	回数	60 回	81 回	登録グループの体験講習会を 70 講座 81 回実施しました。	A	登録グループの活動場所を確 保するとともに、グループへ の支援を継続して行います。	継続		●	●			
252	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	課題別講座	中央公民館	環境学習事業、健康づくり 推進事業、人権啓発関係事 業などを開催します。	人数	5,000 人	6,794 人	環境学習事業、健康づくり推進事 業、人権啓発関係事業など 35 講 座延べ 160 回実施し、食育関連と しては、「ヨーグルトのひみつ講 座」を 1 回実施し、25 人が参加し ました。	A	環境学習事業、健康づくり推 進事業、人権啓発関係事業な ど、社会課題について把握し、 関係事業などを開催します。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い ろ も	女 性	
253	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	豊中市千里ニ ュータウン地 区住環境保全 に関する基本 方針による行 政指導	都市整備課	住宅の新築や建替えに際し、豊中市千里ニュータウン地区住環境保全に関する基本方針に基づく行政指導を行い、千里ニュータウンの良好な住環境の継承を図ります。 基本方針でプレイロット（コミュニティスペース）の確保を指導しています。	プレイロット 整備確保率	100%	100%	住宅団地の建替えに合わせてプレイロット（コミュニティスペース）を確保するよう指導を行い、確保を行いました。	A	令和 7 年度も、プレイロットの確保に向けて指導を行います。	継続	●	●	●			
254	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	とよなか子ど も食堂ネット ワーク	豊中市社会 福祉協議会	市内でこども食堂やこどもの居場所づくりに取り組んでいる団体同志をネットワーク化し、情報提供や研修会を実施します。	—	—	R6 年度新規加入数：8 団体 計ネットワーク参画数：50 団体	豊中南ロータリークラブと協同で、子ども食堂ネットワークに呼びかけイベントを実施しました。定期的に情報提供や寄付物品の配布を行いました。	A	今後も内容の充実を図っていきます。	継続	●	●	●	●		1-a
255	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	世代間交流	豊中市社会 福祉協議会	世代をつなぐ学習や交流を促進する場。いも掘り、もちつき、料理教室等を通して食文化の伝達と交流を行うプログラムを実施しています。	回数/延べ参 加者数	39 校区 2 回/年	32 校区/131 回/15,640 名	校区福祉委員会が学校と連携し、昔遊び、工作、芋掘りなど高齢者と子どもの交流に務めました。	A	核家族世帯が多いので、高齢者と子どもの交流はそれぞれとても喜ばれています。現状維持を目指します。	継続	●	●	●	●		1-d
256	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	子どもの居場 所づくり事業	豊中市社会 福祉協議会	相互交流と情報交換をはかることにより、子どもたちが安心して過ごすことのできる居場所づくりを充実していくとともに子どもを見守ることができる地域づくりを目指します。	開催校区数/ 延べ参加者数	39 校区 1 回/月	14 校区/6,303 名	校区福祉委員会が、子ども食堂や学習支援を実施しました。	A	核家族・共働き世帯が多いので、親御さんたちから大変に喜ばれ、地域の大人と子どもが顔見知りになり、遠目の見守りとなっています。現状維持を目指します。	継続	●			●		
257	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	子育てサロン	豊中市社会 福祉協議会	親の出会いの場・学習・交流の場づくりとして、校区福祉委員会と民生・児童委員が連携して実施。食育に関する相談も行っています。	回数/延べ参 加者数	39 校区 1 回/月	37 校区/447 回/8,106 名	校区福祉委員会が就園前の親の居場所や交流の場として子育てサロンをほぼ毎日実施しました。	A	共働きの世帯は 1 才から預けるため 0 才児親子の参加となり参加者は減っている校区もあるが、北部は参加者は多く、現状維持を目指します。	継続	●	●		●		
258	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	子ども見守り 宅食事業	豊中市社会 福祉協議会	コミュニティソーシャルワーカーが相談を受けている子育て世帯などを対象に見守り宅食や寄付食品による支援を通じて情報提供や生活支援を行います。	—	—	実施回数：47 回（1,706 食） 対象：193 世帯 延べ配布 1,006 世帯	コミュニティソーシャルワーカーが相談を受けている子育て世帯などを対象に見守り宅食や寄付食品による支援を通じて情報提供や生活支援を行いました。	A	今後も内容の充実を図っていきます。	継続	●			●		1-a
259	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	親子農業体験 事業	豊中市社会 福祉協議会	豊中あぐり事業農園における子ども野菜収穫・稲刈り・芋ほり体験をします。	回数/延べ参 加者数	39 校区 2 回/年	5 校区/1,817 名 本部 6 回/339 回	豊中あぐり事業農園における子ども野菜収穫・稲刈り・芋ほり体験をしました。	A	子どもが農業体験を通じて、自然とふれあい創造力や社会性の育成と地域の交流となっています。現状維持を目指します。	継続	●	●	●	●		1-a 1-d

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ろ も	女 性	
260	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	豊中あぐり事 業	豊中市社会 福祉協議会	市内土地を活用して農業を 通じた男性の社会参加の場 の取組みを行います。	回数/延べ参 加者数	39 校区 1 回/月	324 日/2,166 名	市内土地を活用して農業を通じ た男性の社会参加の場の取組み を行いました。	A	定年後の社会参加、コミュニ ティーづくり、地域福祉の啓 発を目指します。	継続	●	●	●			1-a 1-d
261	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	大会開催事業	豊中市社会 福祉協議会	ゲートボール大会・囲碁大 会・将棋大会・謡曲大会・カ ーリンコン大会等を開催し ます。	人数	30 人/回	ゲートボール大会:60 人(2 回) 囲碁大会:83 人(2 回) 将棋大会:79 人(2 回) 謡曲大会:74 人(2 回) カーリンコン大会:150 人(1 回) グラウンドゴルフ大会:126 人 (1 回) ワナゲ大会:37 名(1 回) 健康ウォークラリー大会:90 人 (1 回)	各大会ともに、老人クラブ連合会 の役員が中心になって開催し、ク ラブ員だけでなく、多くの一般高 齢者にも参加いただけ、高齢者の 交流と社会参加の場を提供する ことが出来ました。	A	ゲートボール大会・囲碁将棋 大会・謡曲大会は参加人数が 減少傾向にありますが、その 他の大会は一定数の参加があ ります。また、令和 6 年度は 新たにワナゲ大会を開催し、 好評を得ています。今後も参 加者のニーズに合わせて、大 会内容の検討を行いたいと思 います。	継続			●			
262	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	ボランティア センター事業	豊中市社会 福祉協議会	ボランティア体験プログラ ム等の継続により、ボラン ティア育成にも努めていま す。	体験プログラ ム参加者数	体験プログラ ム参加者 95 名	体験プログラム参加者 95 名	ボランティア体験プログラム等 の継続により、ボランティア育成 にも努めました。	A	ボランティアをはじめのきつ かけとなり、施設・地域とつ ながり、地域福祉啓発を目指 します。	継続	●	●	●	●		
263	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	コミュニティ ソーシャルワ ーカー配置事 業	豊中市社会 福祉協議会	制度の狭間を担う専門職と して、介護保険の生活圏域 ごとに 2 人ずつ配置。福祉 なんでも相談のバックアッ プや、地域福祉ネットワ ーク会議の開催などに取り組 んでいます。	—	—	なんでも相談窓口件数:1,451 件 CSW 相談支援件数:411 件 延べ活動人数:3,490 回 地域福祉ネットワーク会議:14 回(1,196 人)	制度の狭間を担う専門職として、 介護保険の生活圏域ごとに 2 人ずつ 配置し、福祉なんでも相談のバック アップや、地域福祉ネットワ ーク会議の開催などに取り組みま した。	A	地域福祉ネットワーク会議の 内容について見直しを行い、 次年度も内容の充実を図って いきます。	継続	●	●	●			
264	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	地域福祉活動 支援センター 事業	豊中市社会 福祉協議会	市内の 5 か所へ設置された 地域福祉活動支援センター において、ボランティアに 関する講座などを実施。また、 コミュニティソーシャルワ ーカーを配置し、様々な 福祉相談に応じていま す。	回数/延べ参 加者数	77 回/249 名	77 回/249 名	5 か所の地域福祉活動支援セン ターにおいて、スマートフォン講座 や介護予防に関わる講座を実施 しました。	A	生活圏域で講座を実施し、仲 間づくりと地域福祉啓発をは かります。	継続	●	●	●			
265	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	くらしささえ あい事業	豊中市社会 福祉協議会	専門家による職業としての 援助ではなく、互助の精神 を基盤とした市民による有 償の社会奉仕活動で、家事 援助や話し相手や見守りな ど、個々の要望に応じた活 動を実施しています。	安心サポーター 登録者数・ 生活支援・便 利屋・安心見 守り派遣・安 心コール	安心サポーター実数登録者目標 800 名 対応件数 生活支援 2500 件 安心派遣 100 件 安心コール 1,200 件 便利屋 300 件	安心サポーター実数登録者 765 名 生活支援 2260 日 安心見守り 派遣 78 件 安心コール 1094 件 便利屋 204 件	専門家による職業としての援助 ではなく、互助の精神を基盤とし た市民による有償の社会奉仕活 動で、家事援助や話し相手や見守 りなど、個々の要望に応じた活動 を実施しました。	B	依頼内容が細かく拘りが強い 方の対応は難しいです。 事業の広報と対応件数を増や すことを目指します。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価						対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ろ も		女 性
266	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	ひとり暮らし 老人の会の組 織化	豊中市社会 福祉協議会	「孤独感の解消」、「一人より みんなと」をスローガンに小学校区 単位にひとり暮らし老人の会を組 織化し、会食会などの開催を通じ て、会員同士のつながりを構築し ています。会活動として食事会な どを実施しています。	校区数/登録 数	26 校区	26 校区/624 名	「孤独感の解消」、「一人よりみ んなと」をスローガンに小学校区 単位にひとり暮らし老人の会を組 織化し、会食会などの開催を通 じて、会員同士のつながりを構築 しました。会活動として食事会な どを実施しました。	A	独居の会の役員も高齢の為、 休会がありますが、ひとり暮 らし老人の会への支援は継続 します。	継続				●		
267	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	老人文化祭事 業	豊中市社会 福祉協議会	市内高齢者より作品を募集 し、2 日間にわたり文化作 品を会場に展示し、文芸作 品は作品目録に掲載し配布 します。（豊中市老人クラ ブ連合会との共催）。	人数	300 人/日	高齢者文化祭：680 人（2 日間）	老人クラブ連合会の役員が中心 になって開催し、クラブ員だけで なく、多くの一般高齢者にも参加 いただけた。また、令和6年度より 地域の子育て世帯や保育園等 に参加を呼びかけ、高齢者だけで なく、世代間交流の場として開催 することが出来ました。	A	令和 6 年度は世代間交流を試 行的に始めたが、参加者から は好評であり、今後も交流を 広げていきたいと考えていま す。	継続	●	●	●	●		
268	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	小地域福祉ネ ットワーク事 業	豊中市社会 福祉協議会	地域住民同士のなかまづく りを目的として、ミニデイ サービス、ふれあいサロン や子育て中の親子向けに子 育てサロン、また世代を超 えた交流の場として三世代 交流を 39 校区福祉委員会 で実施しています。 活動のボランティアスタッ プとして協力していくこと で、ボランティア自身の健 康増進にもつながります。	39 校区/ボラ ンティア実数 合計	39 校区	39 校区/5,174 名	地域住民同士のなかまづくりを 目的として、ミニデイサービス、 ふれあいサロンや子育て中の親 子向けに子育てサロン、また世代 を超えた交流の場として三世代 交流を 39 校区福祉委員会で実施 しました。 活動のボランティアスタッフと して協力していくことで、ボラン ティア自身の健康増進にもつな がりました。	A	小地域ネットワーク活動をつ づけ、地域のニーズにあった 事業展開を目指し、地域のコ ミュニティづくりの強化を目 指します。	継続		●	●			
269	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	ミニデイサー ビス	豊中市社会 福祉協議会	虚弱高齢者を対象に手作り ミニデイサービスを実施し ています。食育に関する相 談も行っています。	校区/回数/人 数	1 校区/11 回	1 校区/11 回/110 名	虚弱高齢者を対象に手作りミニ デイサービスを実施しました。	A	時間が短くなりサロン扱いの 予定です。	継続				●		
270	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所がある ことで人と つながる	ふれあいサロ ン	豊中市社会 福祉協議会	なかまづくり・健康増進、 いきがいづくりの場として 開催校区福祉委員会民生・ 児童委員が連携して実施。 食育に関する相談も行っ ています。	39 校区 1 回/月	39 校区 1 回/月	39 校区/延べ参加者 16,283 名	なかまづくり・健康増進、いきが いづくりの場として開催校区福 祉委員会民生・児童委員が連携 して実施しました。	A	全校区で実施し、高齢者同士 のつながりと交流を目指し、 現状を維持していきます。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い ろ も	女 性	
271	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	子どもの居場 所づくり	社会教育課 （青少年交 流文化館い ぶき）	地域で子どもたちが遊び、 憩い、学び、つながる場が 必要とされています。この ことから、地域とともに気 づき、学べる場として、土 曜日・日曜日や長期休業中 の地域における子どもたち の居場所づくりを行い、「子 ども文化」をキーワードに 未来に生きる子どもたちを 健やかで心豊かに育ていく 場を創出・提供していき ます。	人数	前年度数値 の評価がな か っ た の で、目標値 は定めてい ません	3,205 人	事前申し込みが必要な講座や休 館日を除く毎週日曜日等に事前 申し込み不要のほんのひろばや 卓球台開放等を行いました。また 毎週土曜日には高校生年代の若 者向けの居場所の提供を行いま した。	A -	日曜日向け講座は前年度同様 取り組んでいきます。 土曜日事業に関しては、高校 生年代を中心とした若者世代 への周知と興味を引く企画を 行い、参加者増に努めるよう 委託事業者に求めています。	継続	●			●		
272	7. こころの 健康・ つながり	7-b. こころの 不調への対応	自殺予防に関 する知識等の 普及啓発	医療支援課	自殺予防に関する知識や相 談窓口等情報の普及を目的 に、広報誌・ホームページ・ パネル展等による情報の発 信や、相談窓口を掲載した 啓発リーフレットの配布等 を実施します。	枚数	12,000 枚	12,000 枚	自殺予防週間（9 月）、自殺対策 強化月間（3 月）において ①ポスター掲示 公共施設 ②広報誌やホームページへの記 事掲載 ③市所有の車両（公用車・パッカ ー車）に啓発用マグネットシール を貼り、市内を走行 ④市役所本庁舎・保健所庁舎に啓 発横断幕の掲示 ・「こころのちのちを守る相談窓 口のご案内」を作成し転入世帯や 市有施設窓口や市内医療機関等 に配布（12,000 部）。 ・広報・ホームページ・SNS 等の 媒体を活用して啓発	A	引き続き自殺予防に関する知 識の普及啓発や相談窓口等の 情報の発信を行うことで、誰 かに相談する大切さや、精神 的な不調に早期に気づき、適 切な支援につながるよう周知 啓発に取り組みます。	継続	●	●	●			
273	7. こころの 健康・ つながり	7-b. こころの 不調への対応	自殺予防のた めの人材育成 事業	医療支援課	自殺の危険性の高い人の早 期発見・早期対応を図るた め、相談窓口担当職員や地 域で活動するボランティア 団体・一般市民等を対象に、 自殺や自殺関連事象に関す る知識を普及するとともに、 自殺の危険性を示すサイ ンへの気付きやその対応 に関する研修会などを実施 します。	令和 4 年度か ら令和 9 年度 までの累計受 講者数	10,000 人	6,804 人	こころの不調や悩んでいる人、自 殺を考えている人に気づき、適切 な相談窓口へつなぐことができ る人材養成の講座を実施しまし た（ここサボ研修は入門編初級編 中級編上級編のステップアップ 方式）。令和 4 年度から令和 9 年度までの累計受講者数 10,000 人 をめざします。	A	こころの不調に早期に気づ き、傾聴し、適切な支援につ なぐことが重要であることか ら、引き続きここサボ研修に よる気づきを高め、ゲートキ ーパーの養成を行います。	継続	●	●	●			
274	7. こころの 健康・ つながり	7-b. こころの 不調への対応	精神保健福祉 相談	医療支援課	こころの健康問題・不調を 抱える人に対して、個別相 談を行い、健康の回復を図 るとともに、精神疾患の早 期発見、早期治療に向け て支援を行います。	相談対応件数	—	6,497 人	こころの健康問題や不調のある 本人や家族等の相談対応、関係機 関からの精神保健に関する相談 支援の課題についての専門的助 言や援助を実施しました（面接、 訪問、電話等）。	A	メンタルヘルスに関する相談 や支援のニーズも拡大・多様 化し、様々な分野でメンタル ヘルス問題への対応が求めら れていることなどから、引き 続き関係機関と連携し相談支 援を行っていきます。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価						対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野	
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世代	高 齢 世代	こ い ろ も		女 性
275	7. こころの 健康・ つながり	7-b. こころの 不調への対応	精神保健福祉 講座	医療支援課	こころの健康づくり（精神 疾患・障害の予防）、ならび に精神疾患の早期発見と回 復に必要な正しい知識の普 及啓発を行います。	参加者人数	—	2,576 人	こころの健康づくり、精神疾患の 早期発見・予防、回復支援を目的 とした講座や講演会等を実施し ました。	A	メンタルヘルスリテラシーの 向上により、自分や周囲の人 のこころの不調に気づき、セ ルフケアや適切な支援につな がることから、引き続きここ ろの健康づくりなどの講座等 を行っていきます。	継続	●	●	●			
276	7. こころの 健康・ つながり	7-b. こころの 不調への対応	こころの健康 に関する研修	医療支援課	市民のこころの健康にかか わる関係機関職員に対し て、正しい知識の普及啓発 等のための研修を行いま す。	参加者人数	—	1,913 人	ゲートキーパー養成、災害時のこ ころのケア、依存症等の研修を開 催しました。	A	こころの不調の早期発見・早期 支援につなぐことが重要で あることから、関係機関向け 研修を実施し、支援者への正 しい知識の普及啓発によりメ ンタルヘルスリテラシーの向 上に取り組みます。	継続	●	●	●			
277	7. こころの 健康・ つながり	7-b. こころの 不調への対応	流産・死産を 経験した方へ のグリーフケ ア	おやこ保健 課	流産・死産を経験された方 に、個別相談や必要なサー ビスにつなぐための支援を 行います。	—	—	—	流産・死産を経験された方に、個 別相談や必要なサービスにつな ぐための支援を行いました。	A	引き続き、個別相談や支援を 実施していきます。	継続	●				●	
278	7. こころの 健康・ つながり	7-b. こころの 不調への対応	男性のための 相談	人権政策課	（（一財）とよなか男女共 同参画推進財団による運 営・管理）男性の様々な悩 みに寄り添い、自ら課題に 向き合えるよう支援しま す。	—	—	交際相手との関係や、幼少期か らの両親との関係について の内容が多く、ひとりで抱え込 みがちな男性のために電話相談 でサポートしました。 相談件数：68 件	男性のための電話相談	B	「電話がつながっても相談ま で至らず、世間話で終わって しまう」という状況は、相談 へのハードルの高さや、安心 感・信頼関係の不足が背景に あるのかもしれないため、寄 り添うことを意識したいで す。	継続		●	●			
279	7. こころの 健康・ つながり	7-b. こころの 不調への対応	「スクールカ ウンセラー活 用事業」	児童生徒課	学校における教育相談体制 の充実を図るために、学校 に児童生徒の臨床心理に関 して高度に専門的な知識及 び経験を有する者等をスク ールカウンセラーとして配 置し、児童生徒のいじめ・ 不登校・問題行動等の解決 につなげます。	—	—	市内全小中学校・および義務教 育学校（前期・後期）に各 1 人 のスクールカウンセラーを配 置し、中学校は 1 回 6 時間・年 間 35 回、小学校は 1 回 6 時間・ 年間 12 回の相談活動等を、ほ ぼ行うことができました。	児童・生徒へのカウンセリングや 教職員及び保護者に対する助言・ 援助、児童・生徒のカウンセリング 等に関する情報収集・提供等 を行いました。	A	教育相談体制の充実を図るた め、引き続きスクールカウ ンセラーを配置します。	継続	●			●		
280	7. こころの 健康・ つながり	7-b. こころの 不調への対応	こども総合相 談窓口	こども安心 課	18歳になるまでの子どもと 家庭に関する様々な相談を お聞きし、問題解決に向け て一緒に考えたり、情報提 供をします。	こども総合相 談件数	7,000 件	6,452 件（電話相談・来所相談 含む）	18 歳になるまでの子どもと家庭 に関する様々な相談をお聞きし、 問題解決に向けて一緒に考えた り、情報提供をしました。	A	365日24時間体制で、子 どものことや、子育てに関す る悩み・不安、子ども自身の 友人や家族関係等の相談を受 け、保護者や子どもを支援し ます。	継続	●				●	●
281	7. こころの 健康・ つながり	7-b. こころの 不調への対応	子育て心の悩 み相談事業	こども安心 課	子育ての悩みや不安、子ど もとの関係についての相談 を受け、必要な場合は支援 サービスにつなぐための調 整を行います。	心の悩み相談 件数	1,000 件	599 件（電話相談・来所相談含 む）	子育ての悩みや不安、子どもとの 関係についての相談を受け、必要 な場合は支援サービスにつなぐ ための調整を行いました。	A	子育ての悩みや不安、子ども との関係についての相談や心 理的問題に関する相談を受 け、支援を行うとともに関係 機関との調整を行います。	継続	●				●	●

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ れ も	女 性	
282	7. こころの 健康・ つながり	7-b. こころの 不調への対応	労働相談業務	くらし支援 課	市内の勤労者、事業主など からの労働問題に関する相 談に応じ、適切な助言、指 導を行います。 対象者の心の健康づくりに 寄与するものと考えます。	—	—	相談件数：366 件	週 3 回 10 時～16 時に専門員によ る労働相談を実施しました。	A	労働問題に関する相談を通 じ、引き続き対象者の心の健 康づくりに寄与したいと考 えております。	継続		●				
283	7. こころの 健康・ つながり	7-b. こころの 不調への対応	住居確保給付 事業	くらし支援 課	「住居確保給付金」は、離 職者であって就労能力及び 就労意欲のある方のうち、 住宅を喪失している方また は喪失するおそれのある方 を対象として、住宅の確保 （住宅喪失の予防）及び就 労機会の確保を支援するこ とを目的とした制度であ り、就職支援を受けながら 賃貸住宅の家賃のための給 付金の支給を受けることが できます。 対象者の心の健康づくりに 寄与するものと考えます。	—	—	・住居確保給付金支給人数：延 122 人	離職者であって、就労能力及び就 労意欲のある方のうち、住宅を喪 失している方又は喪失するおそ れのある方に対して給付金を支 給するとともに、就労支援を行 いました。	A	引続き、くらし再建パーソ ナルサポートセンターにおい て、さまざまな生活の困りご との新規相談を受け、対象者 の早期発見及び生活再建に向 け支援を行う、くらし再建パ ーソナルサポートセンター事 業に取り組んでいきます。	継続		●	●		●	
284	7. こころの 健康・ つながり	7-b. こころの 不調への対応	労働相談苦情 処理	くらし支援 課	個別労働紛争において権利 侵害を受け、訴訟等による 解決を希望する場合に訴訟 等の理由が労働法令・社会 通念に照らして合理的であ り、かつ資金の貸付が適当 であると認められた市民に 対して、当該訴訟等の費用 の貸付を行います。 対象者の心の健康づくりに 寄与するものと考えます。	—	—	貸付件数：0 件	申請があれば審査の上、労働訴訟 にかかわる費用貸付を行います が、令和 6 年度は申請がありませ んでした。	A	申請があれば審査の上、労働 訴訟にかかわる費用貸付を行 い、対象者の心の健康づく りに寄与していきたいと考 えています。	継続		●				

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ろ も	女 性	
285	7. こころの 健康・ つながり	7-b. こころの 不調への対応	消費生活相談 業務	くらし支援 課	契約や販売方法、品質などの消費者トラブルに対する苦情相談及び問合せに対する情報提供をしています。相談する場があることで精神的に安定することにつながります。	—	—	相談件数：2,896 苦情：2,551 問い合わせ：345	契約などによる消費者トラブル問題解決のために、適切な助言・あっせんを行う消費生活相談を行いました。	A	認知度の向上に加えて、高齢者の被害が多いが、高齢者に伝えるべきがないです。デジタルを活用して、啓発を行いたい、高齢者に伝わらないため、そのほかの方法も模索していきたいです。	継続		●	●			
286	7. こころの 健康・ つながり	7-b. こころの 不調への対応	多重債務者生 活相談業務	くらし支援 課	多重債務者の債務や生計の状況などを聴取し、債務整理のための法律専門家への誘導をするともに、関係部局が連携して多重債務者の早期発見及び生活再建に向け支援します。相談する場があることで精神的に安定することにつながります。	—	—	270 人	債務整理のために必要に応じて法律専門家への誘導を行うとともに、関係部局と連携しながら生活再建に向けた支援を行いました。	A	引続き、くらし再建パーソナルサポートセンターにおいて、さまざまな生活の困りごとの新規相談を受け、多重債務者の早期発見及び生活再建に向け支援を行う、くらし再建パーソナルサポートセンター事業に取り組んでいきます。	継続		●	●			
287	7. こころの 健康・ つながり	7-b. こころの 不調への対応	依存症対策	医療支援課	第2期豊中市メンタルヘルス計画の重点テーマにアルコールや薬物、ギャンブルなどの「依存症対策」を位置づけ、市民並びに関係者のリテラシー向上に向けた取組みを推進します。	—	—	—	メンタルヘルス対策推進会議専門部会に「依存症対策」部会を設置し、専門医による支援者向け研修会の実施と関係機関と共に課題などの情報の共有をしました。	A	引き続き支援者のネットワークの構築や人材育成を進めていきます。	新規		●	●			4 - a
288	7. こころの 健康・ つながり	7-c. 女性特有 の悩みや健康 課題への対応	女性のメンタル ヘルス対策	医療支援課	豊中市メンタルヘルス計画に基づきメンタルヘルス対策推進会議を設置、進行管理を行う「調整会議」と取組みを推進する「ネットワーク会議」で構成し、重点テーマについて連携協働し、市民と関係者のリテラシー向上とネットワークづくりに向けた取組みを推進します。	—	—	—	メンタルヘルス対策推進会議の専門部会「女性のメンタルヘルス対策」について、支援機関と共に課題などの情報の共有をしました。	A	女性のメンタルヘルスについて、女性特有の困難と、それに対する社会的支援の視点から「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に基づき、女性への包括的な支援を担う関係部局と連携した取組みが必要です。	継続	●	●	●	●	●	

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和 6 年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ い ろ も	女 性	
289	7. こころの 健康・ つながり	7-c. 女性特有 の悩みや健康 課題への対応	産後ケア事業	おやこ保健 課	お産と育児の疲れから体調 がよくない、出産後自宅に 帰っても手伝ってくれる人 がいないなど、出産後、育 児などの支援が必要な人を 対象に宿泊型及びデイサー ビス型産後ケア事業を実施 しています。	①実利用者組 数 ②延べ利用日 数	—	①721 組 ②デイ①：704 日、デイ②：665 日、宿泊：957 日	出産後、育児など支援が必要な方 に宿泊型及びデイサービス型産 後ケア事業を実施しました。	A	引き続き実施していくととも に、アウトリーチ型導入につ いて検討していきます。	継続	●				●	
290	7. こころの 健康・ つながり	7-c. 女性特有 の悩みや健康 課題への対応	産前産後サポ ート事業	おやこ保健 課	助産師等がぶれまま＆育児 ママ相談室など、妊産婦等 に妊娠・出産・子育てに関 する相談に対して、必要な 支援を行います。	①ぶれまま＆ 育児ママ相談 室参加者数	—	290 人	助産師等がぶれまま＆育児ママ 相談室など、妊産婦等に妊娠・出 産・子育てに関する相談に対 して、必要な支援を行いました。	A	引き続き事業を実施していき ます。	継続	●				●	
291	7. こころの 健康・ つながり	7-c. 女性特有 の悩みや健康 課題への対応	男女共同参画 計画の推進	人権政策課	第3次男女共同参画計画に 掲げる事業の進行管理を行 います。 ワーク・ライフ・バランス を推進する一環として、育 児に関する制度等の情報提 供を行います。	—	—	経営者・管理職セミナー：4 回 一般社員向けセミナー：4 回 アドバイザー派遣：17 社 女性活躍推進認証事業者：13 社	就労継続・職場風土改善やワー ク・ライフ・バランスなどを効果 的に推進するよう事業所に対す る経営者や一般社員を対象とし たセミナーを開催しました。また 事業者へアドバイザー派遣を行 うことで、女性活躍推進事業者 認証制度への申し込みが増加し ました。	B	アドバイザー派遣において は、認証制度と連携して、豊 中市の事業者規模に合わせた 支援ができるよう工夫してい く必要があります。	継続	●	●	●		●	
292	7. こころの 健康・ つながり	7-c. 女性特有 の悩みや健康 課題への対応	女性のこころ とからだ健康 関連の展示	人権政策課	（（一財）とよなか男女共 同参画推進財団による運 営・管理） 乳がん、更年期、冷え、メン タルケア等に関連して女性 の健康を維持するに資する 展示を行います。	—	—	—	女性のからだ（乳がん、更年期、 メンタルケア、リプロダクティ ブ・ヘルスライツ）に関する資料 を展示し、情報提供を行います。	A	定期的に関連資料を展示する ことで、利用者へ情報提供を 行いました。	継続		●	●		●	
293	7. こころの 健康・ つながり	7-c. 女性特有 の悩みや健康 課題への対応	女性の生き方 総合相談	人権政策課	（（一財）とよなか男女共 同参画推進財団による運 営・管理） 女性の抱える心理的な悩み を女性自身が解決できるよ う支援します。	—	—	女性の生き方総合相談：年間 1,762 件（電話 1,109 件、面接 653 件でした。DV、離婚、夫婦 関係、親子関係、職場の人間関 係など、10～70 代の女性の悩み や心理不安を電話と面接でサ ポートしました。	主に 10 代～70 代の女性を対象と した生き方の悩み電話相談とカ ウンセリング	A	前年度に比べて、対応した相 談件数はわずかに減少しまし た。 まだ「すてっぷ相談室」の存 在をご存じない女性の方も多 くいらっしゃるため、より多 くの方に知っていただけるよ う、周知の工夫が必要だと感 じています。	継続		●	●		●	
294	7. こころの 健康・ つながり	7-c. 女性特有 の悩みや健康 課題への対応	女性のからだ と心と性の相 談	人権政策課	（（一財）とよなか男女共 同参画推進財団による運 営・管理） 女性特有の身体の悩みにつ いて、専門家が相談を受け ます。	—	—	女性のからだと心の相談」は、 年間 11 件の対応となりました。 一方で、グループ相談会の 参加者は 6 名でした。このこ とから、個別相談のほうが参加 のハードルが高いと考えていま す。	更年期や婦人科系の病気など、女 性特有のからだの悩みについて の相談	B	2025 年度は、グループ相談会 を年 2 回（2 期）開催し、個別 相談は奇数月のみの実施とす る予定です。 まずはグループ相談会に参加 してもらい、その中で安心感 や信頼関係を育むことで、個 別相談への流れを自然に作っ ていくことを目指します。	継続		●	●		●	

No.	主な分野と取組み テーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる 年代			再掲		関連する 取組み 分野
	分野	取組み テーマ				事業評価 指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び 次年度方向性	実施 状況	次 世代	就 労 世 代	高 齢 世 代	こ れ も	女 性	
295	7. こころの 健康・ つながり	7-c. 女性特有 の悩みや健康 課題への対応	女性のこころ とからだ健康 関連の講座	人権政策課	(一財)とよなか男女共 同参画推進財団による運 営・管理) 女性の心と身体の健康づく りのために、からだを動か すことやメンタルヘルスに ついて学ぶことでエンパワ ーと自己解放をめざしま す。	人数	15 人	13 人	セルフケアを学ぶことで、こころ と身体の不調を軽減し、深刻なメ ンタル不調を予防し、エンパワメ ントを促します。	A	「生涯を通じた健康支援」は、 男女共同参画を推進するうえ で不可欠であり、すてっぴが 取り組む事業であることを説 明し、参加者と共有しました。	継続		●			●	2-a

令和 6 年度(2024 年度)豊中市健康づくり・食育推進計画
年次報告書

令和 7 年(2025 年)11 月

豊中市 健康医療部 健康推進課

〒561-0881 豊中市中桜塚 4-11-1

TEL 06-6858-2879 FAX 06-6152-7328